小学校第3・4学年社会科副読本

令和6年度改訂版

わたしたちの小国町

小国町教育委員会

巻頭言

3･4年生のみなさんへ

小国町教育委員会 教育長　**遠　藤　啓　司**

みなさんは，恵まれた大自然につつまれながら，「未来を創る人間力」を身につけた小国人をめざして，いきいきと学び，のびのびと遊んで，たくましく成長しています。

この副読本を，みなさんの学習のなかで大いに活用し，新しい発見をしながら多くのことを学んでください。そして，小国町や山形県の自然，歴史・文化等を知ることで，そこに暮らす人々の思いや人と人とのつながり，大切に伝えてきた知恵と技について考え，ふるさとをほこりに思う心を大きくふくらませてください。

みなさんは，未来につながる「小国の宝」です。この副読本での学習が，未来にむけてたくましく生きる力を育み，「白い森の国おぐに」のあかるい町づくりと教育につながることを期待します。

小国町を愛する「おぐにっ子」に！

小国町小学校長会　会長　**浅　井　　和**

この度，「わたしたちの小国町」がデジタル版として新しくなりました。タブレットの操作になれているみなさんですから，きっとその便利さを感じてくれていることでしょう。

今，社会は変化のはげしい時代をむかえているといわれています。みなさんにとって一番近い社会ともいえる小国町も，かわったことやかわろうとしていることがたくさんあります。一方で，昔からかわらないこともあるはずです。

そんな小国町のことをこの副読本を使いながら，たくさん学習してください。そして，小国町のことにくわしい，小国町を大すきな「おぐにっ子」になってほしいと思っています。

この副読本は，多くの方々にごきょう力をいただき，ご苦労をおかけして作られました。そうした方々への感しゃの気持ちを持ち，しっかりと学習に取り組んでいきましょう。

白い森の国“おぐに”

町民の花：「オオヤマザクラ」

町民の鳥：「ウグイス」

町民の木：「ブナ」

小国町中心部のようす

▲白沼地区のようす

▼叶水地区のようす

▲伊佐領地区のようす

▲玉川地区のようす

▼小玉川地区のようす

▼足中地区のようす

▲北部地区のようす

▼沖庭地区のようす

わたしたちの小国町

小国町町民歌

小国　わが愛の町

きたひろし　作詞
服部　公一　作曲

一、輝く山脈、清らかな水のささやき
ぶなは天をつき
岩魚が沢に光る
たくましい大地が
明るい未来をはぐくむ　この町よ
今声高くうたう　小国、わが愛の町

二、飯豊は紅葉、かもしかは雪をけたてる
人は湯の香したい
ひととき　いこい楽しむ
きびしい季節が
あたたかい心を育てる　この町よ
今声高くうたう　小国、わが愛の町

三、朝日連峯、たちこめた霧の上にたつ
ふたたび春はめぐり
とねりこに蝶はおどる
人と自然が
豊かに　とけあう　この町よ
今声高くうたう　小国、わが愛の町

小国こどものうた

きたひろし　作詞
服部　公一　作曲

小国のこどもは　かじかと仲良し
谷間のせせらぎ　かくれんぼ
ちょろりんちょろりん岩かげちょろりん
つかまらない　みつからない

小国のこどもは　とんぼと仲良し
赤いしっぽと　かけくらべ
すーいすーいとんでくすーい
夕焼空に　とけこんだ

小国のこどもは　うさぎと仲良し
白いお山で　おにごっこ
ぴょんぴょんぴょんぴょん
早いよぴょんぴょんぴょん
雪のスロープ　ひとすべり

小国町教育委員会

もくじ

社会科の学び方 1

1 わたしたちの町 3
- 1 小国小学校のまわりのようす …… 5
- 2 小国町全体のようす …… 19
- 3 各地区のようす …… 23

2 はたらく人とわたしたちのくらし 41
- 1 店ではたらく人 …… 42
- 2 しぜんをいかした仕事 …… 57
- 3 工場ではたらく人 …… 69

3 安全なくらしを守る 81
- 1 火事からくらしを守る …… 83
- 2 事故や事件からくらしを守る …… 93

4 わたしたちの町の歩み 103
- 1 くらしのうつりかわり …… 105
- 2 町のうつりかわり …… 113

山のめぐみ 川のめぐみ

つる細工

豊かな自然

赤芝峡（あかしばきょう）

森林セラピー®基地「温身平（ぬくみだいら）」

いわな

よい町をつくる

花植え（はなうえ）

しゃくなげまつり

伝統をうけつぐ

舟渡の獅子踊り

さいず焼き

町内一斉清掃（ちょうないいっせいせいそう）

5 わたしたちの県のようす 123
- 1 日本の中の山形県 …… 123
- 2 山形県の地形 …… 125
- 3 山形県の土地利用のようす …… 126
- 4 山形県の市や町、村 …… 127
- 5 山形県の交通 …… 128
- 6 山形県の主な産業 …… 129

6 住みよいくらしをつくる 133
- 1 水はどこから …… 133
- 2 ごみのしょりと利用 …… 141

7 郷土の伝統文化と先人たち 147
- 1 残したいもの伝えたいもの …… 147
- 2 用水を開いた人々 …… 155
- 3 じまんできる先人をさがそう …… 163

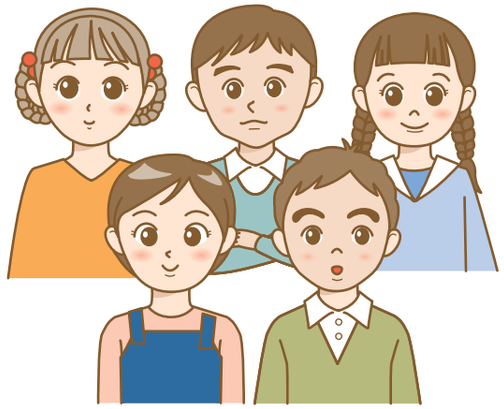
8 自然災害からくらしを守る 167
- 1「羽越水害」を知っていますか …… 167
- 2 被害のようす …… 168
- 3「羽越水害」を調べてみよう …… 169
- 4 災害からくらしを守る …… 171

9 特色ある地域と人々のくらし 175
- 1 県内の人々のくらし …… 175
- 2 ホタルを保護するまち・米沢市小野川 …… 177
- 3 まつりを受けつぐまち・新庄市 …… 179
- 4 国際交流にとりくむまち・酒田市 …… 181
- 5 将棋の駒のまち・天童市 …… 183

世界とつながる山形県 186

●社会科の学び方●

小国町・山形県の一員として…



社会科の見方・考え方

時期・うつりかわり
いつ？

場所・広がり
どこ？

くふう・かかわり

くらべる
ちがいは？

分ける・まとめる

かんれんづける
- かんれんするところに着目しよう。
- どのようなつながりがあるのかな？
- つなげて考えると？

総合する 調べたことをまとめると？

つかむ

1. 学習の中や生活の中をよく見つめ，ぎもんを見つけよう。
2. ぎもんや気づいたことを整理して学習問題をつくろう。
3. 根きょをもって予想を立てよう。
4. 予想をもとに学習計画を立てよう。
（調べること，調べ方）

調べる

1. いろいろな方法でじょうほうを集めよう。
   - 実さいに行く。（見学・体験・インタビューなど）
   - 手紙やメール，電話でしつ問する。
   - 図書館でしりょうを集める。
   - インターネットでしりょうを集める。
2. 「社会科の見方・考え方」をつかって，じょうほうを整理しよう。

まとめる

1. 学習問題について，調べてわかったことを整理しよう。
2. 学習問題について，自分の考えを表そう。
3. みんなでおたがいの考えを交流し，さらに考えを深めよう。
4. 学習の進め方をふり返ろう。

つなげる・いかす

1. よりよいくらしのために，今の自分にできることをやってみよう。
2. よりよいくらしのために，これからの自分にできることを考えよう。

1 わたしたちの町

かおりさんたちは，山に登って，町のようすをながめています。

「あそこに，わたしたちの学校があるよ。」

「わあ，まわりが山にかこまれているよ。」

「手前に，横川が見えるよ。」

「遠くに，大きな工場が見えるね。」

かおりさんたちは，この町のようすを，くわしく調べてみたくなりました。

はてな?
わたしたちの町は，どんなようすでしょう。

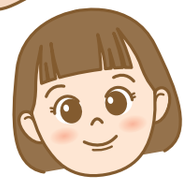
調べよう
町の東西南北のとくちょうを，高い所に上がって見てみましょう。

1　小国小学校のまわりのようす

(1)　東西南北を知ろう

みんなで，校しゃの高い所に上がって，町のようすを見てみることにしました。

「おぐに開発総合センターが見えるよ。」



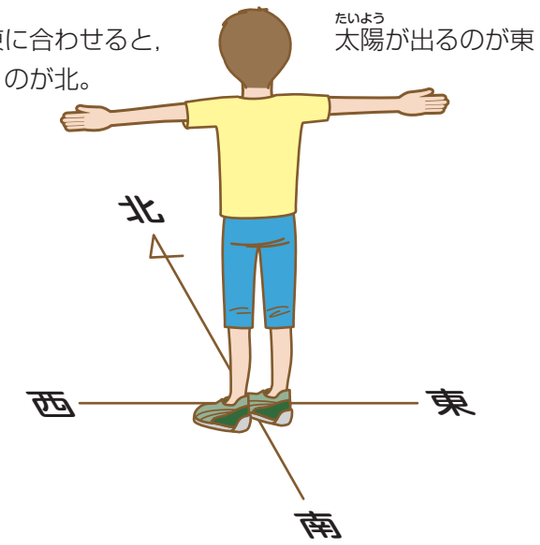
「体育館や小国中学校もよく見えるね。」

まわりに見える目立ったものを，それぞれ絵カードに書きこみました。

先生が，東西南北の方位を使って表す方ほうを教えてくださいました。

「方位は，自分が立っている場所を中心にして考えます。」

右手を東に合わせると，顔を向くのが北。



太陽が出るのが東

北

西

▲方位じしん
色がついた方のはりの先を，北に合わせます。

東

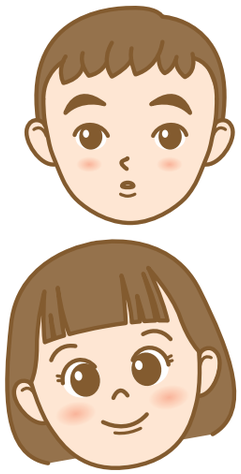
南

正かくな方位を知りたいときには，方位じしんを使います。

４まいの絵カードにも，だいたいの方位を書きたしました。

やってみよう

町の地図に目じるしになるものをかき入れて，町のだいたいのようすをとらえましょう。



(2)　まず，計画を立てよう
大きな地図を広げて

メディアルームで先生がじゅんびしてくださった大きな地図を広げました。

その地図を見ながら，絵カードにかいたものがどの場所にあるのか，みんなで話し合いました。

「場所がわかっているものは，地図にかき入れてみよう。」

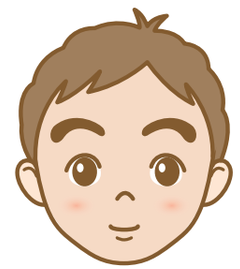
「わたしたちの家がある場所に，シールをはっておこうよ。」

みんなで，地図の中に，目じるしを入れていきました。

「校舎から見ただけでは，正しい場所はわからないね。」

「町のようすを，もっとくわしく調べてみたいな。」

自分たちの住む町を，もっとよく見つめるために，みんなで『町たんけん』をして，調べることにしました。

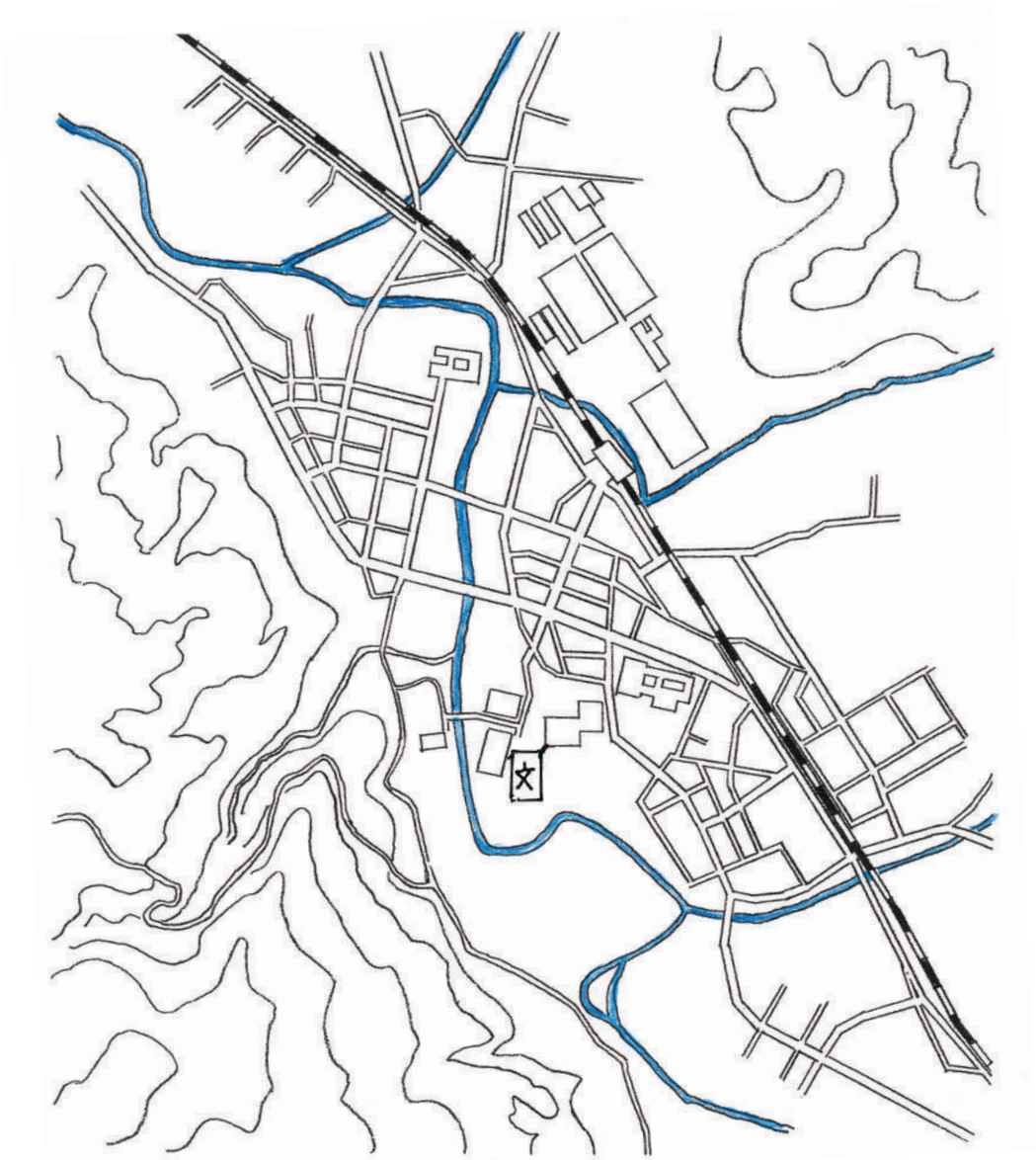


話し合おう
たんけんコースや，調べてくることなどを話し合いましょう。

(3)　どこへ行こうかな…

「たんけんコースのまわりには，どんなものがあるのかな。」

「町の人たちのようすも，調べてみたいな。南は，川と山なので行けないね。」



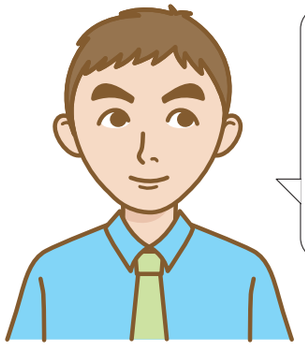
先生が，みんなに，地図とたんけんカードを配ってくださいました。

①方位べつのコースに分かれてたんけんしよう。

北と東と西のようすを調べる。

②調べたことを絵地図にまとめよう。

３つのコースを絵地図にまとめて，気づいたことを話し合う。



調べることや，調べ方をカードにメモしておくと，たんけんがしやすいよ。
たんけんカードには，見たものをスケッチしたり，感じたことを書きこんだりするんだよ。

たんけんメモ

調べること

◆道の両がわのようす
- たて物のようす
- 土地の使われ方

◆交通のようす
- 道の広さや車の量（りょう）
- 鉄道や駅，バス，ふみきり

◆そのほか
- 川や土地のようす
- 土地の高い・低い

たんけんのやくそく

◆持ち物
- 地図・えんぴつ
- 方位じしん・デジカメ
- ぼうし・ハンカチ
- ちり紙

◆気をつけること
- 自分勝手（かって）な行動をしない
- 交通ルールを守る
- きけんな場所には近よらない

調べよう
町の北がわのようすをかんさつしながら，たんけんしましょう。

町の中の！や？をたくさん見つけて，たんけんカードにかきこもう。

！ びっくり　？ はてな

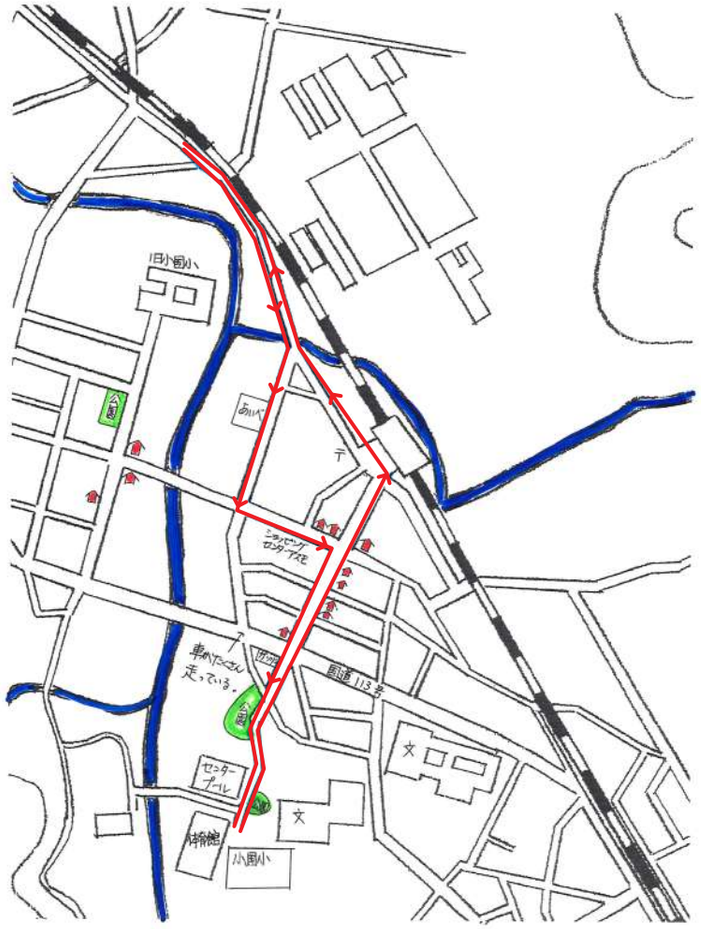
‼ 大発見　★ おすすめ

小国駅

小国郵便局

(4)　さあ，町たんけんに出発だ！

①北コースのたんけん



学校を出たあと，まっすぐに行くと，小国駅につきました。

「列車がはしっているんだよね。」

「目の前には郵便局(ゆうびんきょく)もあるよ。」

クアーズテック

「わたしのお父さんは，クアーズテックではたらいているよ。」

郵便局から西にまっすぐすすんでいくと，大きなたて物が見えてきました。クアーズテックの工場がありました。

クアーズテックから引きかえして，三角公園のこうさ点を右に曲がると，多目的運動場(たもくてきうんどうじょう)「あいべ」がありました。

あいべ

「あいべ」をすぎて，中央通りにはショッピングセンターアスモがあります。

「ぼくは，お母さんとアスモに来て買い物をしたことがあるよ。」

ショッピングセンターアスモ

諏訪神社

調べよう
町の東がわのようすをかんさつしながらたんけんしましょう。

②東コースのたんけん

学校を出たあとまっすぐ進み，ショッピングセンターアスモの交さ点を右にまがると，諏訪神社が見えてきました。

大日堂(だいにちどう)ふみ切り

総合スポーツ公園

「ここでは秋にお祭りがあり，ぼくも行列に参加したよ。」

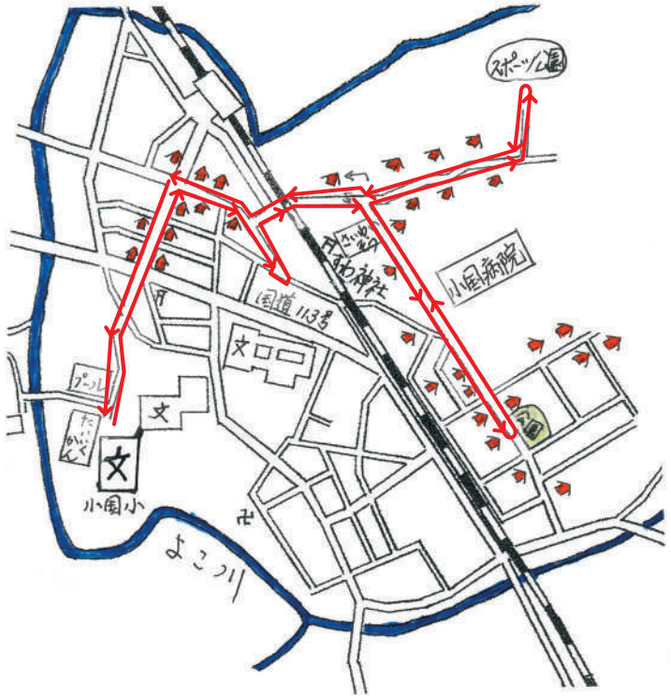
「ふみ切りをわたる時，小国駅のホームが見えてきたよ。」

まわりをながめながらまっすぐ進みました。

「ゆるやかな登り坂になっているね。ちょう上にはスポーツ公園があるよ。」

諏訪神社の近くに住んでいる方の話

この神社は大昔，長野県の諏訪神社から分かれて小国にきたものなんだよ。毎年，9月下旬(げじゅん)に神社のお祭りを氏子(うじこ)の人たちでおこなっています。



話し合おう
まわりの土地はどのように利用されているか話し合いましょう。
住たく・田畑・道路・高い・低いなど。

あけぼの地区

さっき登った坂をくだって左に曲がりました。

「近くに新しい家がたくさん建っているね。あけぼの地区と言うんだよ。」

「近くにさいわい荘(そう)や小国病院もあるわ。まわりにはほかにもたくさんの施設(しせつ)があるみたいね。」

「公園もあるわ。この間，友達と遊んだよ。」

さいわい荘

小国町立病院

調べよう

町の西がわのようすをかんさつしながら，たんけんしましょう。

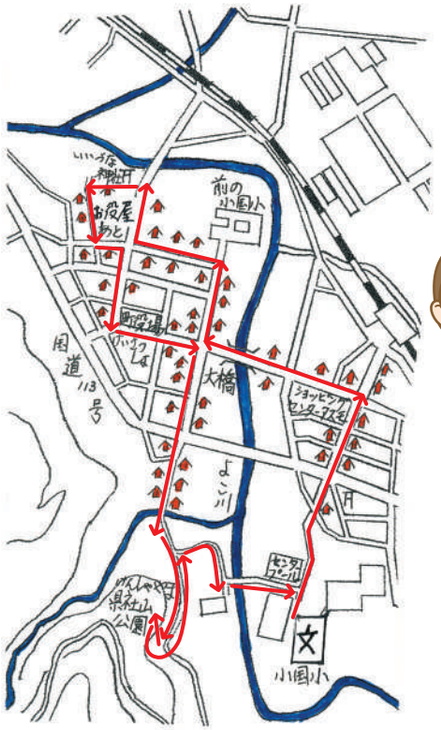
小国大橋

③西コースのたんけん

西コースは，学校を出るとおぐに開発総合センターに立ちより，お話をお聞きしました。見学を終えて，ショッピングセンターアスモの交さ点を左に曲がり，まっすぐ進むと大きな橋がありました。

「この橋は小国大橋というんだって。」

「ぼくのおじいちゃんが子どものころ，大水が出てこの橋がこわれたことがあるんだって。」



橋をわたって右に進んでいくと，古い小国小学校の校しゃが建っていました。

「このあたりは，むかしお侍さんたちが住んでいたところなんだって。おばあちゃんが言ってたよ。」

小国お役屋あと
（お侍さんたちがはたらいていたところ）

さらに進んでいくと，小国けいさつ署と向かいがわに小国町役場がありました。

「ぼくのお父さんは，役場につとめているよ。」

「生活科のじゅ業で役場ではどんな仕事をしているか調べたわ。」

交さ点を右にまがり，まっすぐ進むと両側には古い家なみが残っていました。大きな松の木が残る小高い丘に着きました。

「この神社の名前はなんというのかしら。いつごろからあるのかな。」

「大きな記ねんひも建っているよ。何の記ねんひかな。」

丘の上からさっき通ってきた道をかくにんし，横川にかかる「ふれあい橋」をわたって学校にもどりました。

小国けいさつ署

小国町役場

小坂町の家なみ

上杉神社

大きな記念ひ

「おぐに開発総合センター」に勤務する方の話

総合センターには研修室や集会室などがあり，町民のみなさんが学習会や会議，習い事などをするために使われています。また，図書室もありみんなが調べ学習をする場にもなっています。このような建物を公共施設といいます。町の人たちの税金で建てられました。

まとめよう

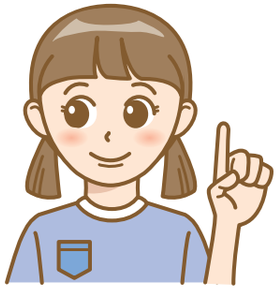
3つのコースの絵地図をつなげると，どんなことがわかるでしょうか。

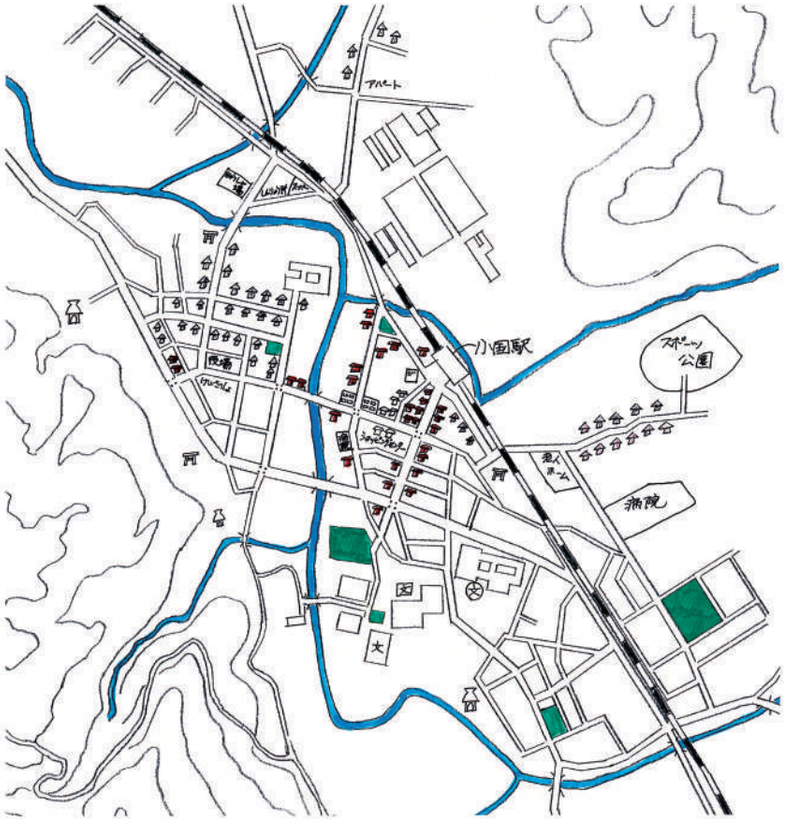
(5) たんけんをまとめよう

かおりさんたちは，3つのコースの絵地図をつなげて気づいたことを出し合いました。

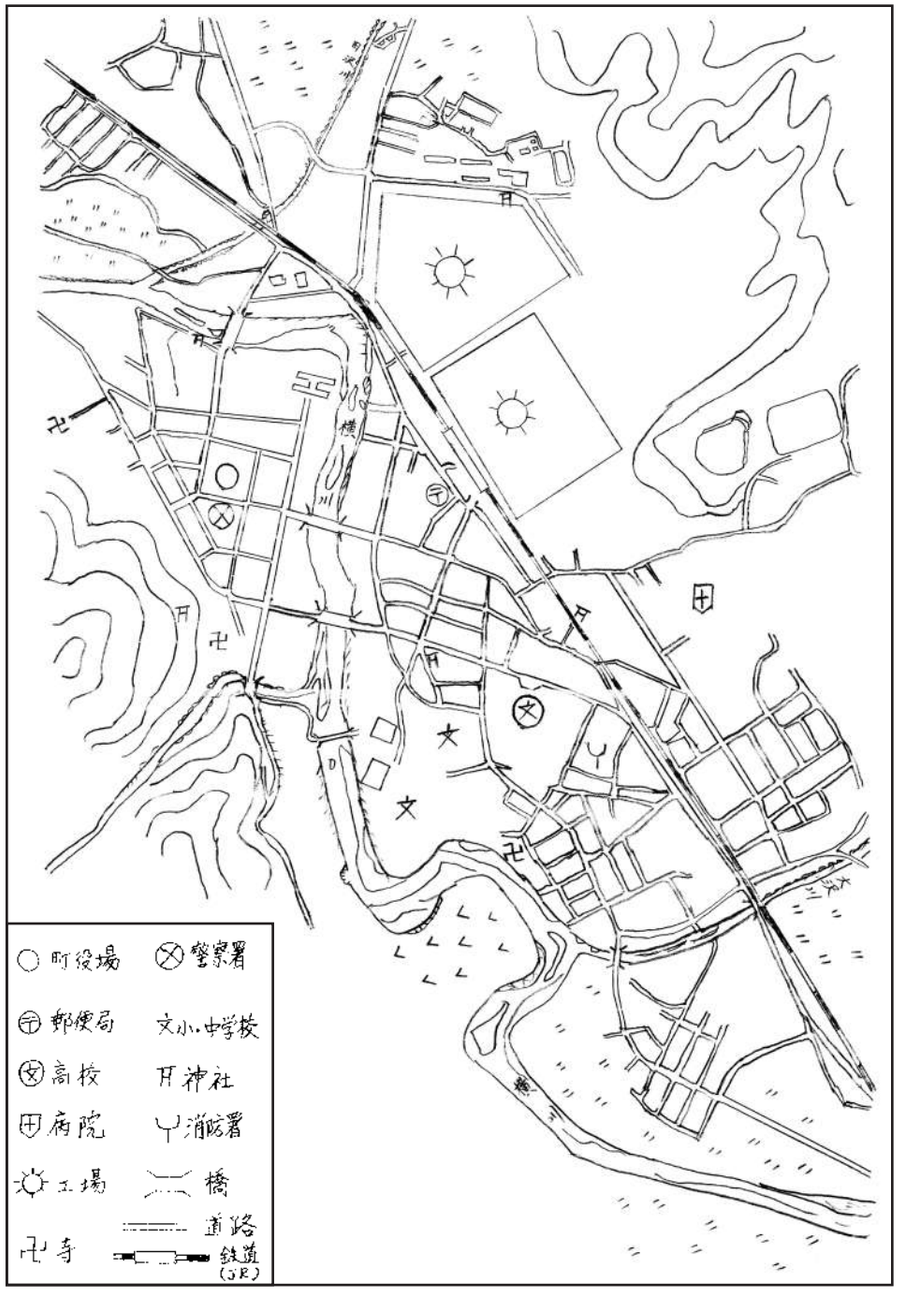
「1まいの地図にすると，私たちの学校のまわりのようすが良くわかるようになるね。」

「地図のかき方が少しちがっているから，同じ記号を使えばもっとわかりやすくなるわよ。」





先生がじゅんびしてくださった地図を見て，気づいたことを話し合おう。



先生の地図（他の地図記号も調べよう）

空から見た写真と上の地図をくらべてみましょう。

2　小国町全体のようす

調べよう
わたしたちの町は，どのような様子なのでしょうか。

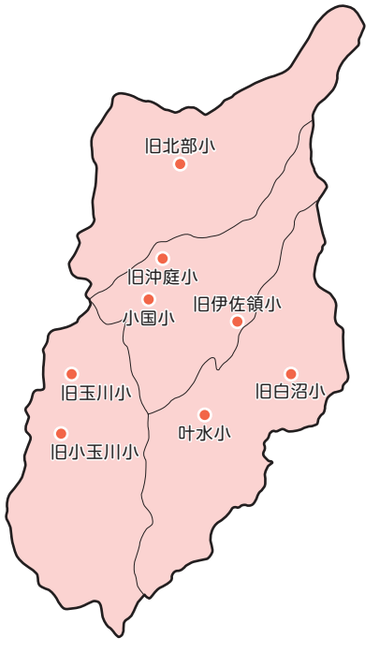
❶小国町のあるところ（位置）
❷かたち（何ににてるかな）
❸広さ（面積）
❹自然のようす（山や川，気こう）
❺道路や鉄道のようす
❻古い建物・寺・神社

わたしたちは，学校のまわりのようすを調べていくうちに，小国町全体のようすを知りたくなりました。

先生は，小国町の地図や，山形県の地図を見せてくださいました。

わたしたちは，その地図を見ながら小国町の場所をたしかめ，発表し合いました。

(1)　小国町の位置と形



小国町は，山形県にある市町村の中でも広い方だね。

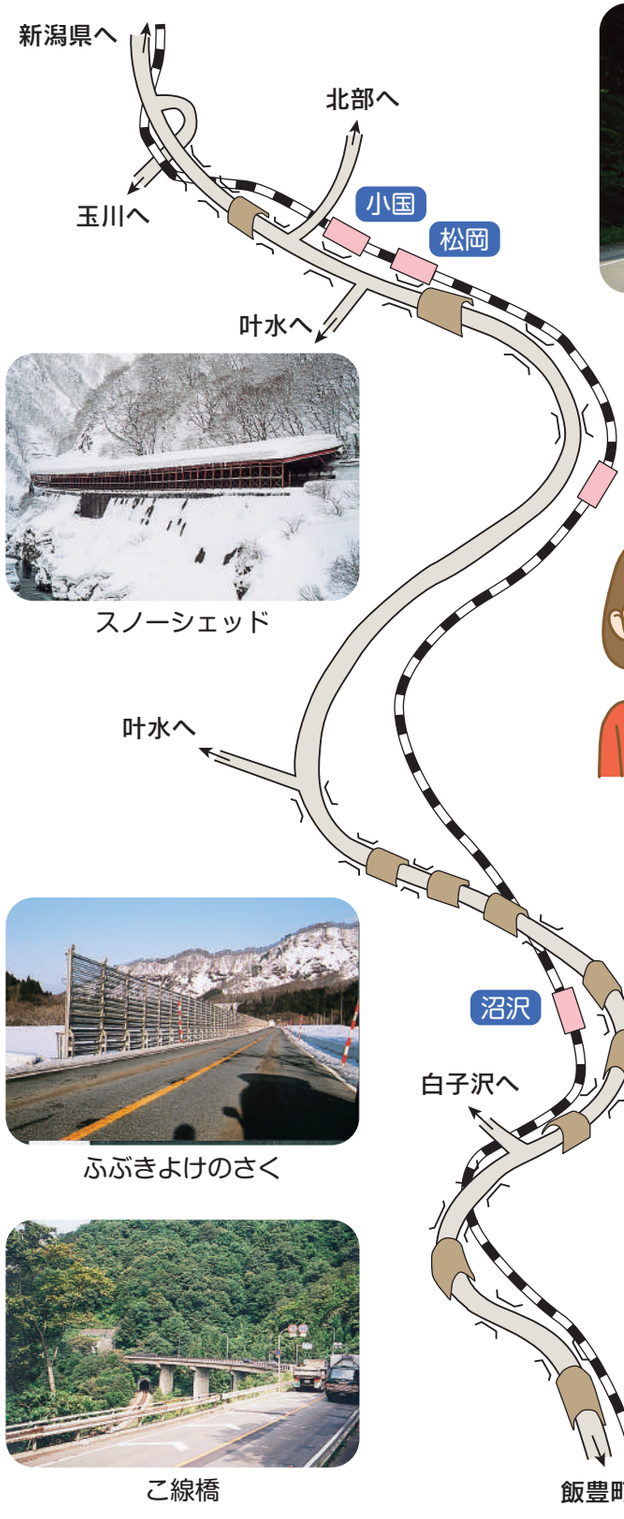
小国町の位置

形がさつまいものようね。

小国町は，山形県の南西部にあります。

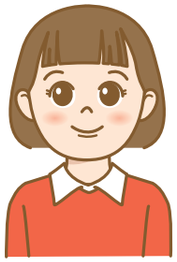
みなさんも，地図を見てわかったことや感じたことを発表しましょう。

(2)　ほかの市や町をむすぶ国道と鉄道



新潟県へ続く国道

スノーシェッド

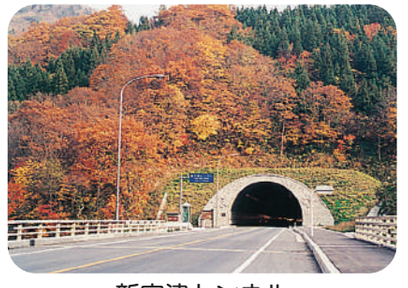


トンネルがたくさんあるわ。いくつあるか数えてみようかしら。

小国町には，４つの駅があるんだね。

ふぶきよけのさく

こ線橋


新宇津トンネル

(3)　しぜんのめぐみとうるおい

石ころび沢雪けい

小国町には，緑豊(みどりゆた)かなでっかい自然(しぜん)が広がっています。それらは，わたしたちにたくさんのめぐみとうるおいをあたえてくれます。

温身平の森林セラピー

長沢上水道水源地

わらびとり

(4)　雪のしまつと利用

冬になると，小国町にはたくさんの雪がふります。

雪からくらしを守るために，みんなできょうカして除雪(じょせつ)作業をします。

町では，自動車が通れるように除雪車(じょせつしゃ)をたくさん走らせます。

はてな？

小国町では，冬のくらしを守るために，どんなど力やくふうをしているのでしょうか。

町の中のはい雪のようす

地下水で雪を消す

横根スキー場

雪を利用したイベント（伊佐領雪まつり）

町ではスキー場をつくったり，雪を利用したイベントをしたりしています。

町の人やほかの町からおとずれた人たちに，たいへんよろこばれています。

雪のしまつと利用が，未来の小国町を考える時の大きなかだいです。

考えよう

小国町では，どんな雪の利用のしかたを考えていますか。

このほかに，どんな利用があるか考えてみましょう。

3　各地区のようす

◎白沼地区のようす

旧白沼小中学校のわきの県道は，昔はとうげ道だったんだよ。南へ行くと，昔の宿場町（しゅくばまち）だった白子沢（しらこざわ）があり，家々のげんかんには，屋号（やごう）（家の名前）を書いたかんばんがあるよ。また，白子神社という古い神社もあるよ。

❷国道113号

　沼沢には，国道１１３号と米坂線がならんで走っているね。
　国道は，夜もトラックが行き来しているよ。

❸白子神社

❹屋号のかん板

　白子沢をすぎ，桜峠（さくらとうげ）をこえると，叶水（かのみず）に行くことができるよ。

　栗松（くりまつ）トンネルの手前から北の方へ行くと，長井クリーンセンター　小国ちゅうけいしせつがあるよ。
　集めたごみは，どこへはこぶのかな。

❺長井クリーンセンター
小国ちゅうけいしせつ

　平成６年に国道１１３号に新しいトンネルができたよ。沼沢じょ雪センターがあって冬も安全に通ることができるよ。

❶旧白沼小中学校

❻新宇津（うつ）トンネル

❼じょ雪センター

◎伊佐領地区のようす

旧伊佐領小学校は，現在「おぐにふるさと文化館 百石」として活用されているよ。建物のすぐ北がわには，百石山がそびえていて，自然のけしきがとてもきれいだよ。

❶旧伊佐領小学校
（おぐにふるさと文化館 百石）

❸森のめぐみと国道113号

❹片洞門

東西に走る国道113号は，近くの市や町と小国町をむすぶ大切な道路なんだ。

森のめぐみでは，小国町でとれた山菜やキノコをはん売しているよ。

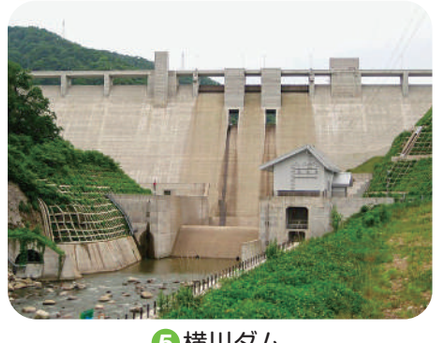
国道の橋から見える片洞門は，約140年前に岩をくりぬいて作った道路なんだよ。60年ぐらい前まで使われていたんだって。

ＪＲ伊佐領駅は地いきの人たち，特に高校生にとっては，通学するための大切なしせつなのよ。

❷ＪＲ伊佐領駅

横川ダムは，平成20年３月に完成したよ。こう水を防いだり，工業用水に利用されているんだよ。

ダムサイトにある「きてくろ館」に行くと，横川ダムのことや地いきの歴史や文化について学べるわ。



❺横川ダム

❻きてくろ館

◎叶水地区のようす

横川ダム（白い森おぐに湖）ができて，大きな橋やトンネルがつくられ，道路も新しくなったよ。

④基督教独立学園高等学校

③基幹集落センター

②水源の郷交流館

①叶水小中学校

⑦大いちょう

湖の周りには，公園がつくられたり，パークゴルフ場やゲートボール場もつくられたよ。

⑤叶水大橋

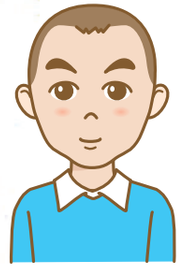
⑥不動出生橋

◎玉川地区のようす

❶旧玉川小中学校

旧玉川小中学校の前には，南北にのびる県道が走っているよ。北は国道１１３号へ，南は小玉川地区へ通じているよ。

玉川中里地区，足野水地区には，水力発電所があって，玉川の水を取り入れて発電しているんだって。



旧玉川小中学校のとなりには，玉川高れい者コミュニティーセンターがあるよ。集会場や調理室があって，地いきの人たちもよく利用しているよ。

県道にそうように，玉川が流れているよ。

❺かやの峠あん内板

❻かやの峠しき石道

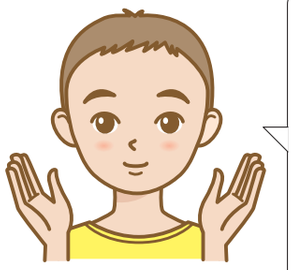
玉川地区には，えちご十三峠の最大のなん所だった大里峠や，しき石のあるかやの峠，そして，ほおの木峠が通っているのよ。

❷玉川高れい者コミュニティーセンター

❸玉川発電所

❹玉川第二発電所

◎小玉川地区のようす



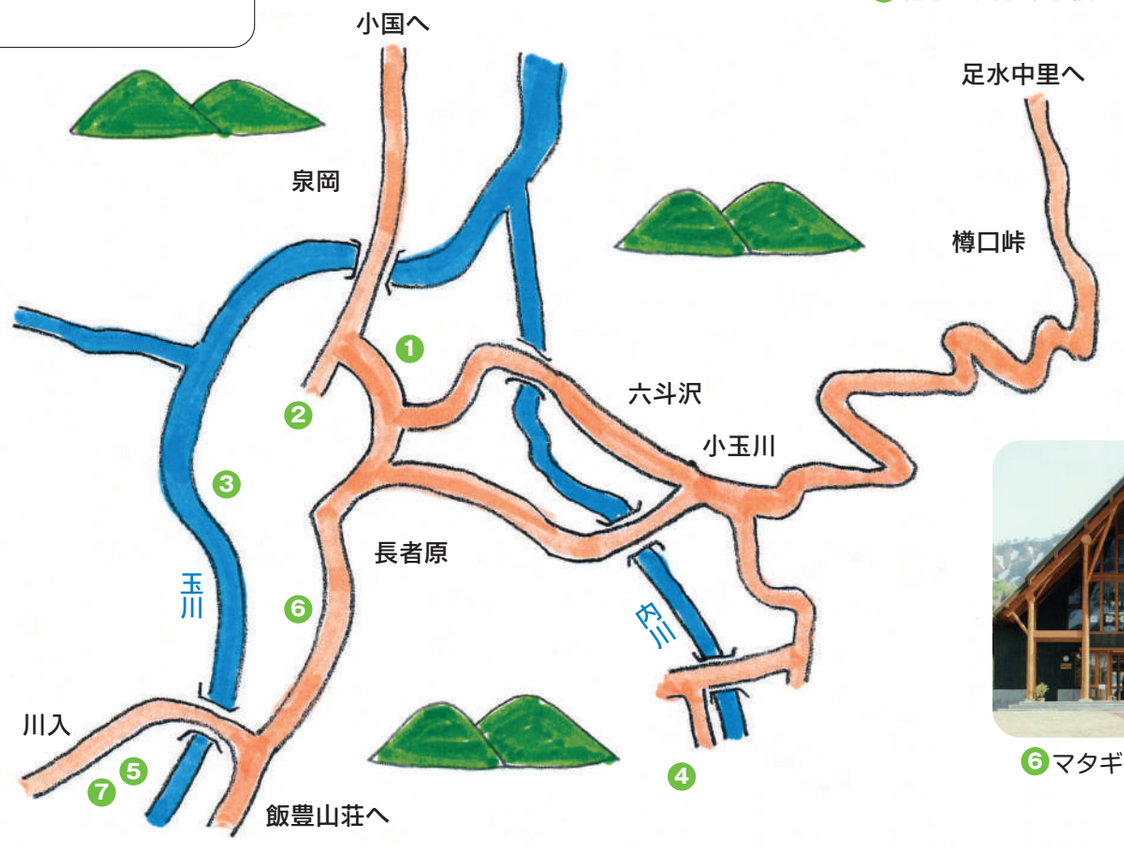
北がわには泉岡(いずみおか)地区があるよ。この辺りで内川と玉川が合流し，やがて荒川にそそぐんだ。

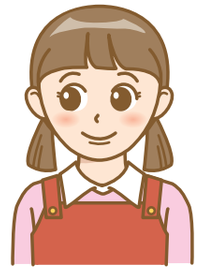
西がわには水の力をりようして電気をつくっている発電所があるね。電気は小国町におくられて，会社や家庭で使われているんだよ。

1 旧小玉川小中学校

2 長者原発電所

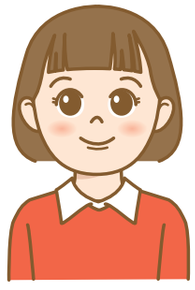
7 国民宿舎飯豊梅花皮荘(こくみんしゅくしゃいいでかいらぎそう)





内川(うちかわ)の上流には岩魚ランドがあるよ。岩魚を養殖していろんなところへ出荷しているんだよ。

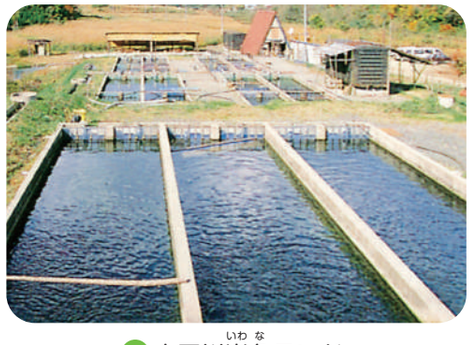
玉川の上流には国民宿舎飯豊梅花皮荘や川入荘などがあるよ。５月には熊まつりでにぎわうよ。



6 マタギの里交流館

3 玉川スーパー暗渠砂防えん堤(あんきょさぼうてい)

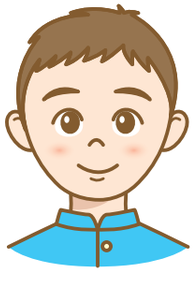
5 熊(くま)まつり



4 小玉川岩魚(いわな)ランド

南がわには長者原地区があるよ。飯豊連峰(れんぽう)がま近に見えるよ。下を流れる玉川には新しい方式の砂防(さぼう)ダムがあるよ。

東がわには六斗沢(ろくと)・小玉川地区があって，と中には樽口峠(たるぐちとうげ)に行く道があるよ。



◎沖庭地区のようす

❸舟渡ゆうびん局

旧沖庭小学校の西がわには，荒川にかかる沖庭橋があるよ。
橋をわたると，舟渡地区に入るよ。ここには，舟渡ゆうびん局があるよ。

❷沖庭橋

旧沖庭小学校の南がわには，まっすぐな道路があって，北部地区と町中心部を結んでいるよ。私たちの登校する時間には，おつとめの人の車がたくさん通るよ。針生と赤芝には浄水道水源地があるよ。

❼針生水源地

旧沖庭小学校は，昭和３５年に，舟渡小学校，小国小学校若山分校，古田分校がいっしょになってできたんだって。

❶旧沖庭小学校

❺金目そばの館

❻古田かぶき伝承館

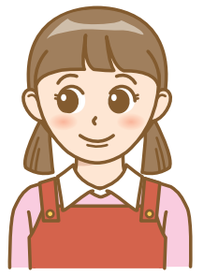
旧沖庭小学校から東へ行くと，古田地区，金目地区があるよ。古田地区には，古田かぶきのしりょうが集められた「かぶき伝承館」があるよ。
金目地区には，「金目そばの館」があって，県外からも，お客さんがおいしいそばを食べにくるんだって。また，昔つくられた「井の下ぜき」があるよ。

❹井の下ぜき

❽赤芝浄水場

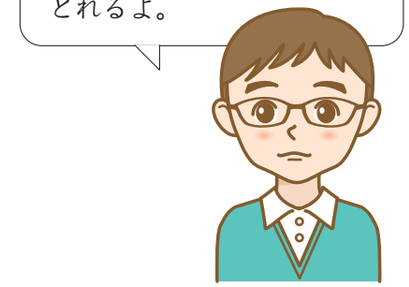
◎北部地区のようす

❷上水道水源地



長沢橋の近くには上水道水源地があるよ。荒川は水が多くきれいなので，町の上水道に使われるんだって。

❶旧北部小中学校



北には，「大朝日岳」や「祝瓶山」などの高い山があり，夏は登山を楽しむ人が来るよ。わらびやぜんまいなどの山さいがたくさんとれるよ。

❹白い森交流センターりふれ

❸りふれ能舞台

りふれのうらには，能舞台があるよ。白い森音楽祭のイベントなどが行われるんだよ。

❺オートキャンプ場

荒川がながれているよ。まわりにはせいびされた田んぼやオートキャンプ場，白い森交流センターりふれがあるよ。

まとめよう

これまで学習したことをもとに，わたしたちの町の様子をまとめてみよう。

まとめ方

- 小国町をいくつかの地区にわけて表にまとめよう。
- それぞれの地区の「土地の様子」「たて物の様子」「交通の様子」についてまとめよう。
- 「私たちの学校のまわり」とくらべて，気づいたことを話し合おう。

小国町は北に朝日連峰，南に飯豊連峰の高い山があって，横川や荒川，玉川の大きな川が流れているよ。

国道113号とJR米坂線が通っていて他の地域とつながっているよ。

町の中心部に平らな土地が多く，そこに住宅や公共施設が集まっているね。

小国町の様子をまとめよう

りょうたさんたちは，調べた地区の様子を整理して表にまとめてみました。

「小国町は全体として山にかこまれているんだね。」

「地区によって交通やたて物の様子にちがいがあることがわかるね。」

地　区　名	土地の様子	たて物の様子	交通の様子
小国小学校のまわり	●平らな土地が広がっている。 ●まわりには田んぼもある。	●役場や体育館，病院などの公共施設がある。 ●住宅や団地も多い。	●国道は，大きな車がたくさん通る。 ●町中心部の道路は両側に店がたくさんならんでいる。
旧白沼小学校地区 旧伊佐領小学校地区			
叶水小学校地区			
旧玉川小学校地区 旧小玉川小学校地区 旧足中分校地区			
旧沖庭小学校地区			
旧北部小学校地区			

いかそう

学習したことをいかし，町のとく色やよさをつたえるパンフレットを作ろう。

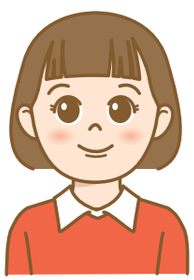
町めぐりコースのパンフレット作り

あすかさんたちは，これまでの小国町の学習をいかして，町めぐりのパンフレットを作ることにしました。

「おすすめの町めぐりコース」を作って，小国町を旅行する人に活用してもらおうと思いました。

「おすすめの町めぐりコース」の作り方

(1) コース名を入れる。
(2) 小国町の絵地図を入れて紹介(しょうかい)したい場所がどこかわかるようにする。
(3) なぜ紹介したい場所なのか，理由も考えながら，コースの中に入れる場所を選ぶ。
(4) これまで学習した時に作ったメモを活用したり，写真や集めたしりょうをはったりうつしたりする。
(5) 必ず説明を書き，見てほしいこと，とく色を書き入れる。



あすかさんたちは，できあがった「おすすめの町めぐりコース」をおたがいに発表し，気づいたことを話し合いました。

たけしくんの「おすすめの町めぐりコース」

「りふれ」日帰りコース

1　まわるじゅんばん

① 小国駅出発
↓
② 古田かぶき伝承館
↓
③ 金目そばの館（昼食）
↓
④ りふれ
↓
⑤ 県社山さんさく
↓
⑥ 小国駅

小国町の地図

2　まわる場所の説明

② 古田かぶき伝承館

古田かぶきのしりょうがたくさんほぞんされています。

③ 金目そばの館

おいしいそばを食べに県外からもたくさんお客さんが来ます。

④ りふれ

しゅくはくできます。近くにオートキャンプ場もあります。

⑤ 県社山散策(けんしゃやまさんさく)

上杉神社や戦争でなくなった人のいれいひがあります。

2 はたらく人とわたしたちのくらし

しょうたさんたちは学校のまわりのようすを調べているうちに，いろいろな仕事をしている人がいることに気づきました。わたしたちの町には，どのような仕事をしている人がいるのでしょうか。

お酒を作る工場ではたらく人

米を作る農家の人

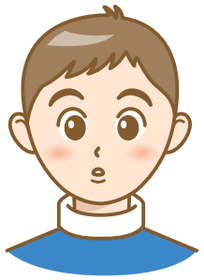
スーパーマーケットではたらく人

町ではたらく人の仕事は，わたしたちのくらしとどのようにつながっているのでしょう。

1 店ではたらく人

日曜日，まゆみさんはお母さんといっしょに買い物に出かけました。メモを見ながら，あちらこちらの店をまわって買い物をしました。

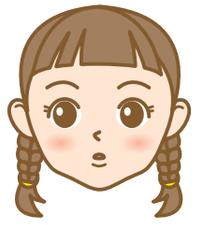
次の日，学校で友だちにそのことを話したら，



まことさんが，

「ぼくは，近くの町のショッピングセンターに行って買い物をしてきたよ。」

と言いました。



ゆかりさんは，

「わたしのうちでは，いつもスーパーマーケットに行くわよ。」

と話してくれました。

まゆみさんは，家によって買い物のしかたがちがうんだなあと思いました。

そこで，わたしたちの家では，どこで何を買っているのか調べてみることにしました。

はてな？
わたしたちは，どんな店で買い物をしているのでしょうか。

調べよう
１週間どこでどんな買い物をしているか調べる。

調べるポイント
どんな店で何を買ったのか毎日メモしておこう。
- 店はどこにあるのか聞いておこう。
- 買い物をしたときにもらうレシートを取っておいてもらうとべんりだね。
- 何曜日によく買い物に行くのか聞いてみよう。
- 買い物をするときどんなことに気をつけているのかも聞いておくといいよ。

(1)　わたしの家の買い物

わたしたちの家では，１週間，どこでどんな買い物をしているのか，調べることにしました。

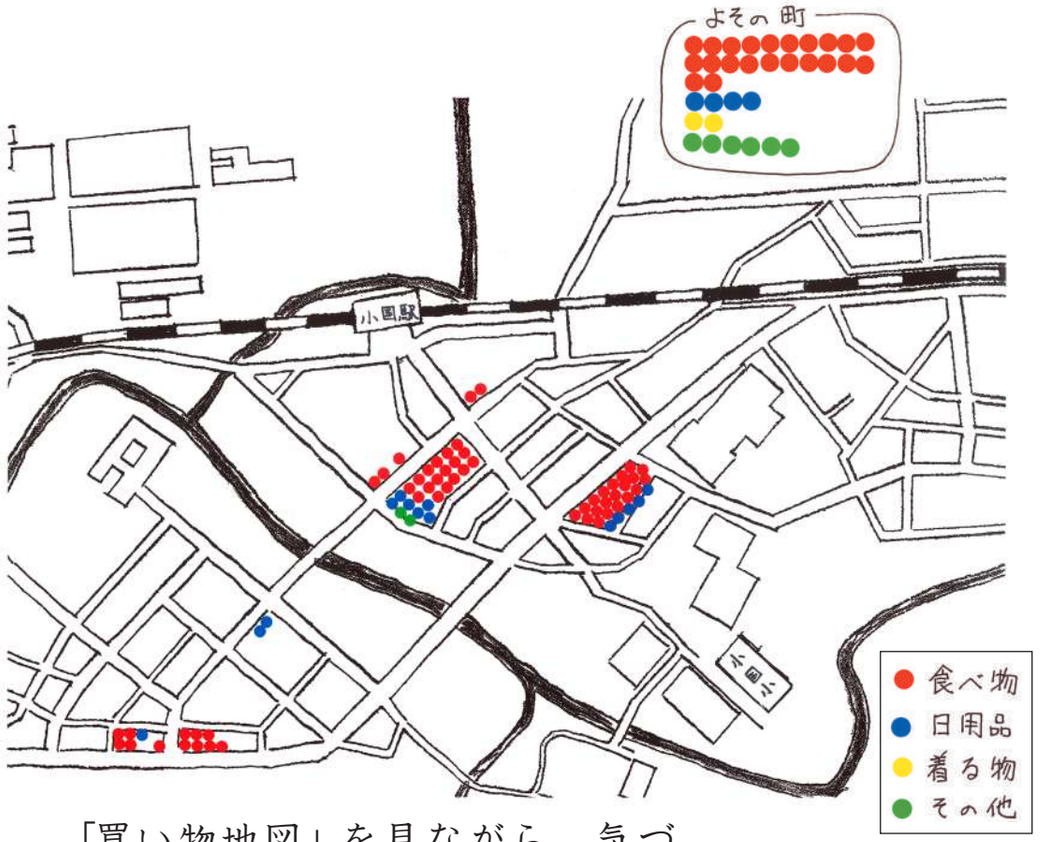
買い物調べ

名前(　　)

お家で買い物したことをおうちの方に聞いて、まとめましょう。

月　日	買った物	お店	地区
8月24日(水)	アイス シャンプー	スーパーマーケット ドラックストアー	中央商店がい 小坂町
25日(木)	クッキー さばかん 牛にゅうどう肉 もやしヨーグルト小麦こ アイスクリーム	コンビニエンスストアー 生協	町原
26日(金)	おかし たまねぎ	コンビニエンスストアー 八百や	町原
27日(土)	お肉 ホイップクリーム やきそば じゃがなんざいアイロンスプレー カップラーメン	ショッピングセンター コンビニエンスストアー	米ざわ 町原
28日(日)	えんぴつ キーホルダー つめきり 時計	ショッピングセンター	山形
29日(月)	さんま 大根	魚や	中央商店がい
30日(火)	ふた肉キャベツ牛にゅう たまご とり肉	スーパーマーケット スーパーマーケット	中央商店がい 西

みんなの家が，どこで買い物をしたのか，メモをもとにして，「買い物地図」にまとめてみることにしました。



「買い物地図」を見ながら，気づいたことを話し合いました。スーパーマーケットやドラッグストアへ行った人が多いことに気づきました。また，スーパーマーケットには，おさない子からおとしよりまで，たくさんの人が買い物をしていることに気づきました。

買った店の場所にシールをはっておくと見やすいね。

よく行く店

できあがった「買い物地図」をもとにして，よく行く店を表やグラフにまとめてみましょう。

表の作り方

① 表の題と日にちを書き，店と人数を書き入れるらんを作る。買い物に行った店ごとにシールの数を数える。

② 数字をそれぞれ表に書き入れる。

グラフの作り方

① 横のじくに店の名を，買い物に行った人数の多いじゅんばんに書く。（「その他」は一番さいごに書く。）

② たてのじくに，一番多い人数が書けるように，目もりをつける。

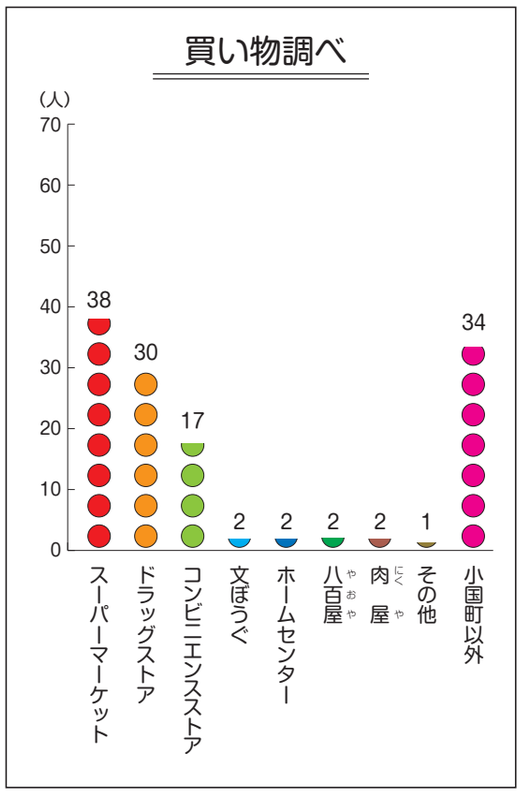
③ 目もりの人数に長さを合わせながら，グラフを書く。

④ グラフの題と目もりのたんいを書く。

みんなの家で買い物に行った店

○月○日～○月○日

店	人　数
スーパーマーケット	38
ドラッグストア	30
コンビニエンスストア	17
文ぼうぐ	2
ホームセンター	2
八百屋	2
肉　屋	2
その他	1
小国町以外	(34)



(2)　スーパーマーケットのひみつ

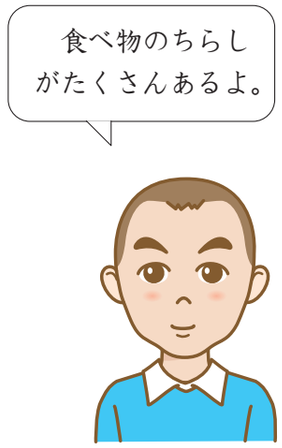
買い物調べをしてまとめてみたら，スーパーマーケットをよく利用していることがわかりました。

ちらしを見てみよう

しょうたさんたちは，毎朝，新聞に入ってくるちらしを調べてみました。

はてな？

たくさんの人がスーパーマーケットを利用するのはなぜでしょう。



写真や文字の大きさ，色の使い方，曜日によるちがいなどにちゅうもくしてみましょう。

調べよう

ちらしには，どのようなくふうがされているのでしょうか。

調べよう

スーパーマーケットでは，どんなくふうがされているのでしょうか。

見学に行こう

さらにくわしく調べるために，スーパーマーケットに行って調べてみましょう。

かだい

自分のよそう

-
-
-

みんなのよそうをまとめると

-
-
-

見　学　の　計　画

おねがいじょうを書くときは…

- 見学したい日，時間
- 聞きたいこと
- 見学したいところ

などをわすれずに入れましょう。

見学の前に…

- 行き帰りの交通の方法（ほうほう）や料金（りょうきん）を，きちんと調べましょう。
- お客様にめいわくがかからないように，見学のマナーについてみんなで話し合いましょう。

調べる方法は…

- 店の中やまわりをよく見る。
- 店の人にしつ問する。
- お客さんにインタビューする。

しつ問やインタビューをするときは…

- 「おねがいします」「ありがとうございました」など，あいさつをしっかりとする。
- ていねいなことばづかいをする。
- 聞きたいことをはっきりとさせておく。
- 聞いたことの中のだいじなところをメモする。
- 友だちがしつ問したこともよく聞く。

よそうで出たところも，よく見て聞いてこよう！

見　学　メ　モ

見学するお店	
見学のやくそく	● ●
見てくること	●品物のならべかた ● ●
聞いてくること	●お店の人に ・どんなことに気をつけているか ・ ・ ●お客さんに ・この店のどんなところがべんりなのか ・ ・
メ　モ	

お店で発見

かおりさんは，売り場のようすや，品物のならべ方をかんさつしました。

気づいたこと

気づいたこと

気づいたこと

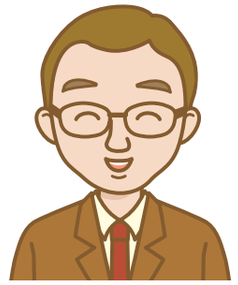
気づいたこと

気づいたこと

気づいたこと

他にもこんなくふうが…

お客様みんなに気持ちよく
買い物をしていただくために，
いろいろくふうをしています。



店長さん

店内あんない図

スロープ

ショッピングカート

お客様ご意見ばこ

街なかほっとコーナー

手すりのついたトイレ

店ではたらく人にインタビュー

けんたさんは店ではたらいている人たちが，どんなくふうやど力をしているのか調べるために，店の人にインタビューをしてみることにしました。

レジ係の人

お客さんを待たせないために，すばやく，正かくにするよう心がけています。

また，品物はていねいにあつかうように気をつけています。

品物をならべる人

お客さんが買いやすいように，品物をならべています。

つねに数をたしかめて，品切れがないように気をつけています。

うらで調理をする人

お客さんの注文があればそれに合わせて切ったり，もりつけをしたりします。

お客さんにインタビュー

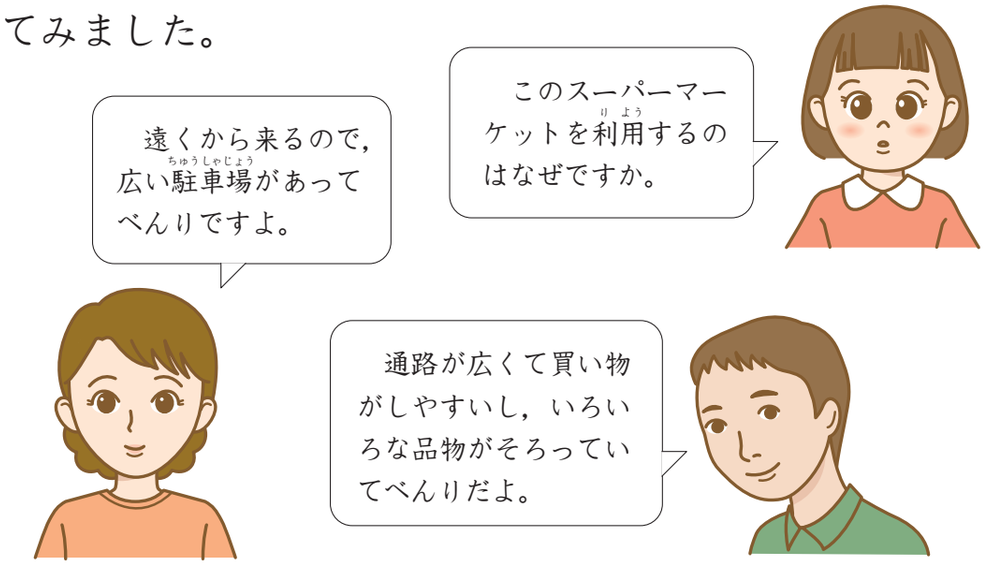
お店では，お客さんが買い物をしやすいようにくふうしていることがわかりました。

かおりさんは，お店で買い物をしているお客さんにインタビューをしてみました。

やってみよう

こんなことを聞いてみましょう。

- どこから来たのか
- お店のどんなところがよいのか



見学やインタビューをしてわかったこと，おどろいたことなどをまとめてみましょう。

調べよう

店で売られているやさいやくだものは，どこから来ているのでしょうか。

品物はどこから

ちあきさんたちは，売られている品物についてくわしく調べてみました。

やさいやくだ物の売り場では，ダンボールやねふだに，品物が作られた場所（産地）が書いてありました。外国で作られたものや無農薬で生産されたものもありました。品物の仕入れ先や，えらび方について店長さんに聞きました。

いろいろな所から送られてくるやさいやくだ物

外国から送られてきたくだ物

町内で生産したやさい

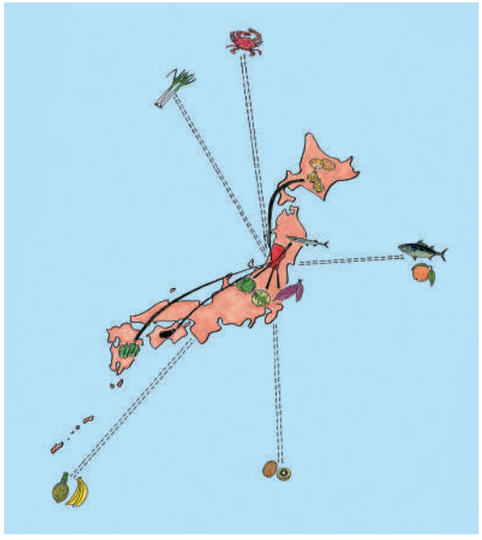
店長さんの話

他の県はもちろん，外国からも仕入れて品ぞろえをよくするようにどりょくしています。

やさいはできるだけ近くの農家で作られたものを仕入れています。

品物は，新せんで安全なものをえらぶようにしています。

他の県や外国から運ばれてくる食品

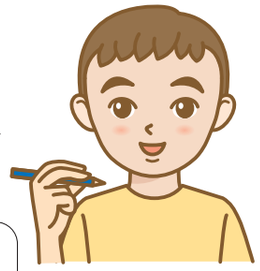


町の人とともに

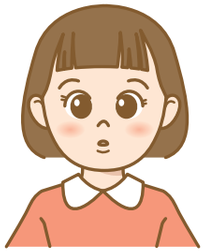
考えよう

どうしてお店が品物を売ることいがいの取り組みをしているのか考えましょう。

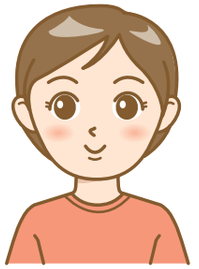
あきひろさんは，スーパーマーケットの見学にいって，品物を売ることいがいにも，さまざまな取り組みをしていることに気づきました。



町で作っているものを売っているコーナーがあるね。



有料レジぶくろカードがあるね。今では，マイバックを持って，買い物に行く人が多いね。



しょうがいのある人せんようのちゅう車場があるね。お年寄りや足をけがした人のための車いすもおいてあるよ。

ひなん場所にもなっているんだ。地域にこうけんしているんだね。

地産地消のコーナー

マイバック

きんきゅうひなん場所

地産地消

その地域で生産したものをその地域で消費（食べる）こと。

地域こうけん

品物を売るだけではなく、地域の人々に役立つようにすること。

話し合おう

いろいろな店のいいところや，じょうずな買い物のしかたについて，みんなで話し合ってみましょう。

(3) いろいろな店

スーパーマーケットだけでなく，わたしたちの身の回りにはいろいろな店があります。

八百屋（やおや）

魚屋

コンビニエンスストア

ホームセンター

おばあちゃんは，いつも八百屋（やおや）さんに行くよ。
おいしいやさいの見分け方や，りょう理のしかたも教えてくれるんだって。

話し合いのポイント

- ねだん
- 品物のしゅるいや数
- 買う時間や曜日
- 安全について
- かんきょうのこと

などについても考えてみましょう。

うちはお母さんが仕事の帰り，夜おそくに買い物しなければいけない時があるから，コンビニエンスストアがあるととてもべんりだと言っていたわ。

魚屋さんでは，いつもしんせんな魚をあつかっていて，おさしみがとてもおいしいのよ。

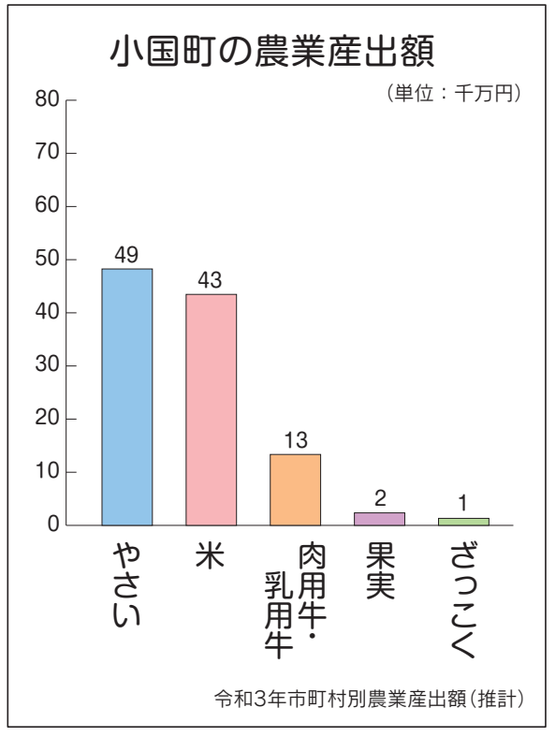
休みの日などは，車で出かけたついでに重い物などをまとめて買うことがあるなあ。
大きい店は，服（ふく）やおもちゃも買えるからべんりだよね。

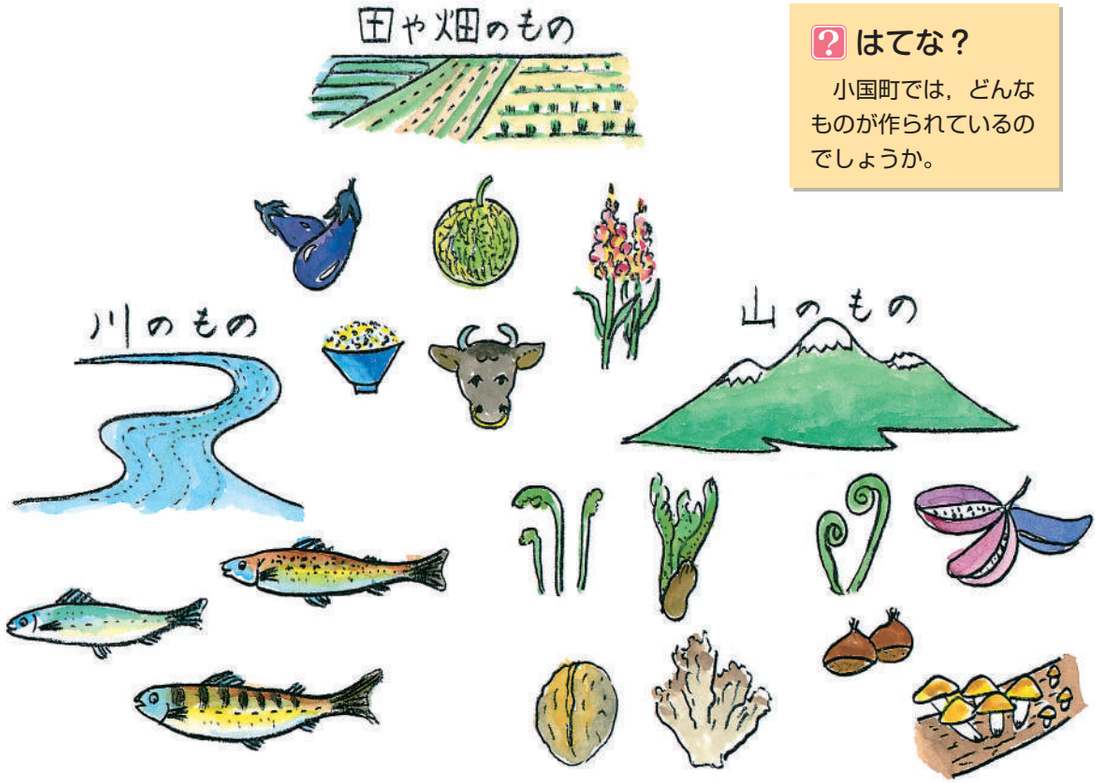
小国町の農家（のうか）の方が作ったやさいを買って食べたら，とてもおいしかったよ。給食にも出るよね。
農薬（のうやく）などをあまり使っていないから，安全でおいしいって聞いたことがあるよ。

2 しぜんをいかした仕事

みきさんは，お母さんとスーパーマーケットで買い物した時、小国町で作られたやさいなどが多く売られているコーナーがあることに気がつきました。

そこで，小国町ではどんなものが多く作られているのか調べてみることにしました。



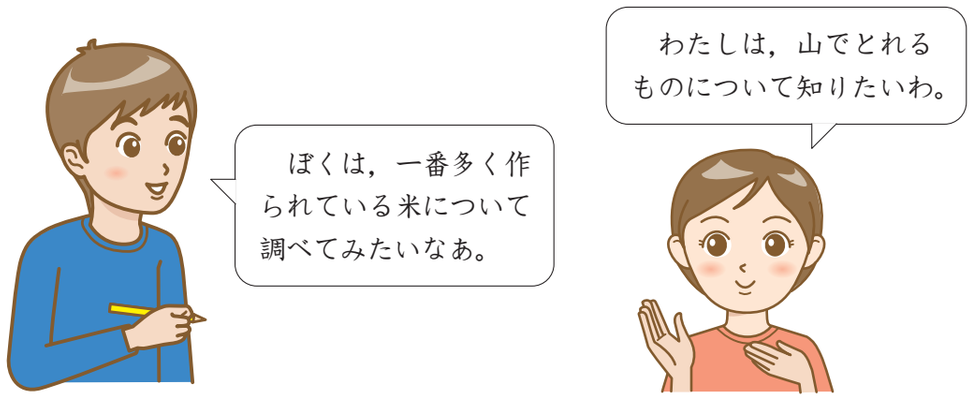


？ はてな？

小国町では，どんなものが作られているのでしょうか。

わたしたちの住む小国町では、どんなものがどのように作られているのでしょうか。

集めてみると，いろいろなものが作られていることがわかりました。そこで，みきさんたちは，さらにくわしく調べてみることにしました。



調べよう

米はどのように作られているのでしょうか。

(1)　小国町の米作り

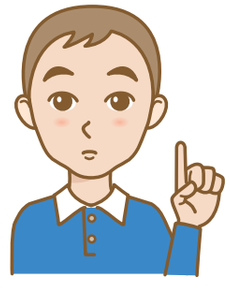
小国町は，雪が多いところです。また，ほとんどが山林なので，田や畑などはほんのわずかです。そのような中で，小国のしぜんをいかして農業をしている人がいます。小国の農業は米作りが中心です。

すくすくのびたいね

たくやさんたちは，米を作る人の仕事について調べることにしました。

たくやさんのおじいさんとおばあさんは米を作っています。お父さんやお母さんは，会社につとめていて，仕事のいそがしいときに手つだうようにしているそうです。

米ができるまでどんな仕事があるか，教えてもらうことにしました。



①　米作りの１年間

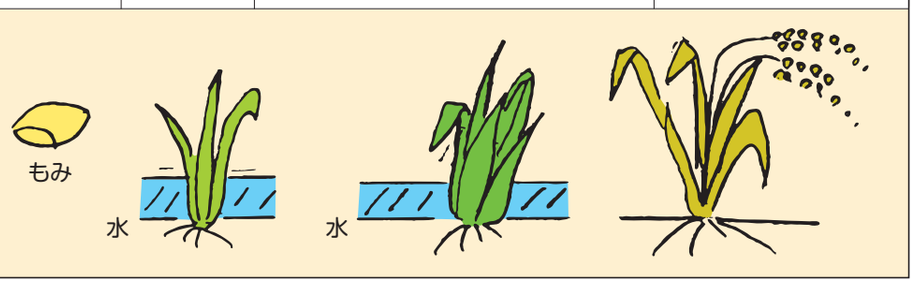
田おこし

しろかき

田植え

いなのようす

月	4	5	6	7	8	9	10
仕事	きかいの手入れ なえづくり	田植え しろかき 田おこし	しょうどく 水の出し入れ	草とり ひりょうまき		いねかり きかいの手入れ	JAや米商（べいしょう）などに米を出す 来年のためのたねもみえらび かんそう・ふくろづめ



いねかり

かんそう

ふくろづめ

②　米作りのくふう

　春おそくまで雪がのこっている小国町では，どのようなくふうをして米作りをしているのでしょうか。

　小国町で米作りをしているたくやさんのおじいさんに教えてもらうことにしました。

●ビニールハウスの利用

　小国町では，むかしは雪がとけるのをまって仕事をしていたのですが，今はちがいます。まだ気温がひくく，いねが育たないくらいの時期にたねまきをします。ビニールハウスを使うのです。ビニールハウスの中の気温は外よりも高いので，早くめが出て大きく育ちます。ビニールハウスのおかげで，田植えも早くできるようになりました。雪が少ないところとあまりかわらない時期にできます。

●大事な水のかんり

　米を作るには，たくさんの水がひつようです。ですから，沢水（さわみず）や川の上流の水を引いて使っています。

　わたしたちの家の近くにも，「ほり」とか「せき」と呼ばれる用水路があります。

水門のある大きな用水路

田のわきの用水路

水のかんり

水がはられた田

　よく見ると，どの田にも水を引くことができるように用水路がつくられていて，ところどころにハンドルがついた水門があります。

　この水門で田に引く水のりょうを調せつしているのです。次のような話もうかがいました。

　植えたばかりのなえは，寒さや風に弱いのです。田にためた水は，風を防ぎ，急に寒くなった時には，なえを寒さから守ります。水はなえにとって「ふとん」のようなはたらきをしてくれるのです。

他にもこんなくふうが

米作りのいろいろなくふう

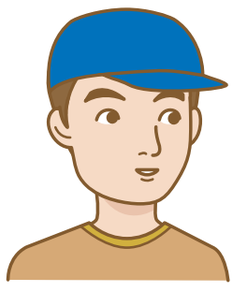
木酢液（もくさくえき）を使って

カルガモを使って

牛のたいひを使って

牛のたいひをこやしに使い，木酢液やカルガモなどを利用すると農薬が少なくてすむので，安全で，安心して食べることができることと，とてもおいしい米が育つんだよ。

田んぼには米だけではなく，小国の特色を生かすようなわらびやたらのめなどの山さいを植えたり，そばを植えたりしているんだよ。



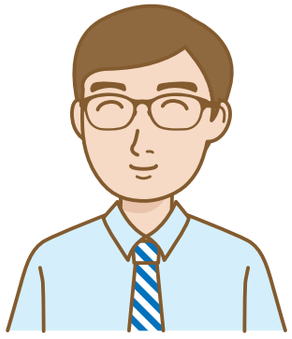
田があれ地にならないよう農業のできなくなった人から田をかりて米などを作っています。

町内はもちろん，町外の人，東京方面や大阪方面の人たちにも食べてもらえるように，みんなで，いろいろとアイディアを出し合っています。

③　田や畑のやくわり

このように，多くのくふうをして米作りをしている人がいることがわかりました。小国町の農業について全体的に知るために，役場の人にお話を聞いてみました。

役場の人の話



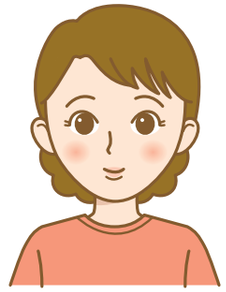
小国町の農家は，へってきています。そうすると田や畑にざっ草がおいしげり，あれてきます。害虫などもどんどんふえてきます。

また，田はしぜんの水を調せつしてくれる「みどりのダム」ともいわれ，大切なはたらきをしています。

小国の田をあらさないように，田を守り，いっしょうけんめいに農業にとりくんでいる人たちがいます。このような人たちは広い田で米を作ったり，わらびやたらのめなどを田に植えたりして，小国の田や畑を守りながら農業でくらしができるよう，いろいろくふうしています。

⑵　米のほかの作物を作っている農家

　小国町には，米だけでなくさまざまな作物を育てたり，いろいろなアイディアを出して小国の特色をいかしたものを作ったりしている人がいます。



わたしの家では，家ぞくみんなで仕事を分たんしたり協力(きょうりょく)したりして，米のほかにやさいや花などを育てて出荷しています。

①　ビニールハウスの利用

月	3	4	5	6	7	8
仕事	なえを育てる			おもに田んぼの仕事		

9	10	11	12	1	2
秋のきく			冬のアスパラな		

　いねのなえを育てる時に使うビニールハウスを利用して，寒い時でも作物を育てている農家があります。

「ビニールハウスをじょうずに利用することにより，年間を通じていろいろなものを出荷することができ，安定したしゅう入をえられるようになっています。」

「わたしの家では，お父さんがおもに米を，むすこがアスパラなを，そしてわたしが中心となって花をさいばいしています。

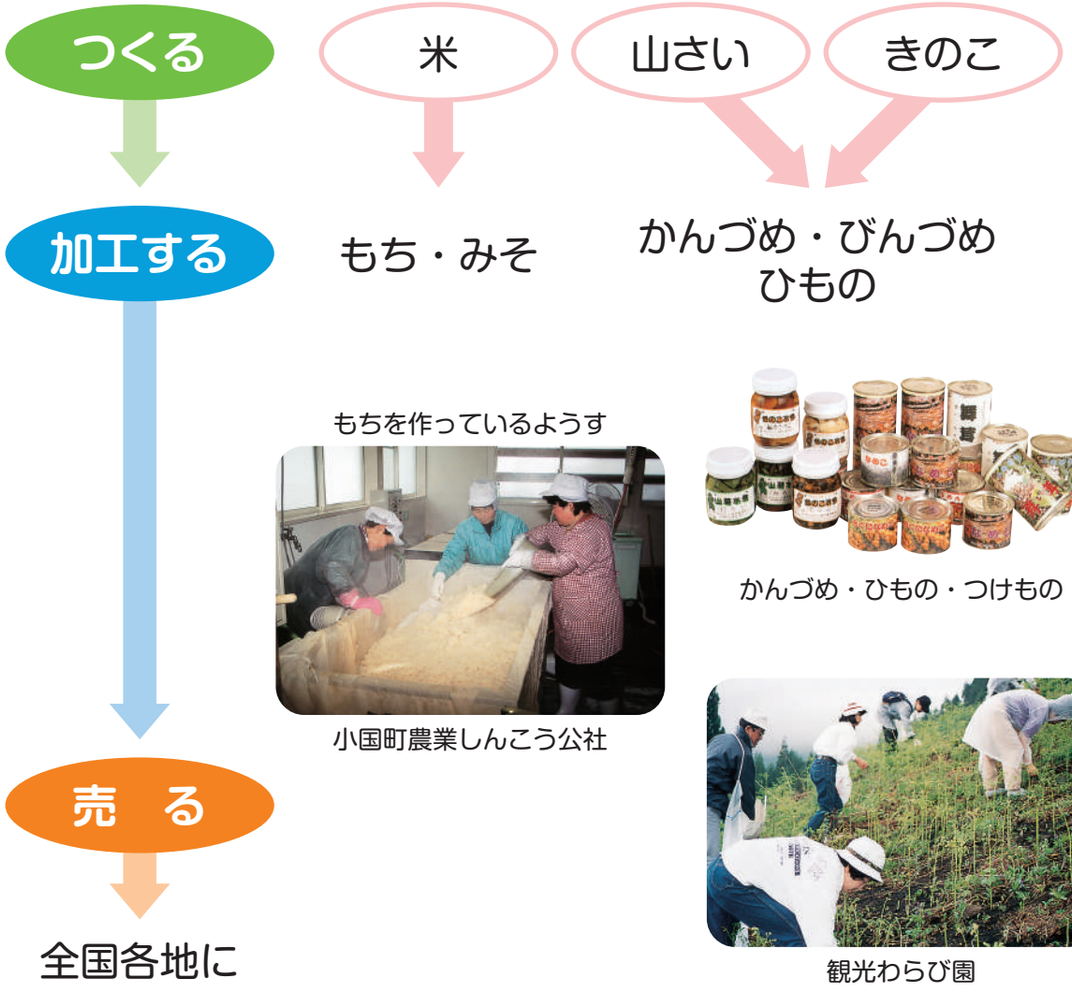
　自分たちで育てた花に，市場で高いねだんがつくと，いい花だとみとめられたのだなあと思ってうれしくなりますし，買ってくれたお客さんがよろこぶ顔を見ると，またがんばってきれいな花を育てようという気持ちになります。」

調べよう
おいしいお米をつくることのほかに，どんなくふうをしているのでしょうか。

(3)　アイディア農業

アイディアを出し合って，米だけでなく，小国の特色を生かしたものを作ることにも取り組んでいます。

保ぞんがきくように加工してあるものは，おみやげとしても人気があります。



もちを作っているようす

小国町農業しんこう公社

かんづめ・ひもの・つけもの

観光わらび園

学習のまとめ

ポスターをつくろう

みきさんとたくやさんたちのクラスでは，しぜんをいかした仕事について勉強したことをポスターにまとめ，みんなに知らせることにしました。

仕事をしている人のくふうやねがいが伝わるように内ようを考えました。

3　工場ではたらく人

はてな？
工場では，どんなものを作っているのでしょうか。

(1)　小国町の工場

ゆうすけくんたちは，町のようすを調べた時に，いくつかの工場を見つけました。

そこで，「どんなものを作っているのだろう。」「どれくらいの工場があるのだろう。」などということが知りたくなり，調べてみることにしました。

シリコンウェーハを作る工場

飲み物を作る工場

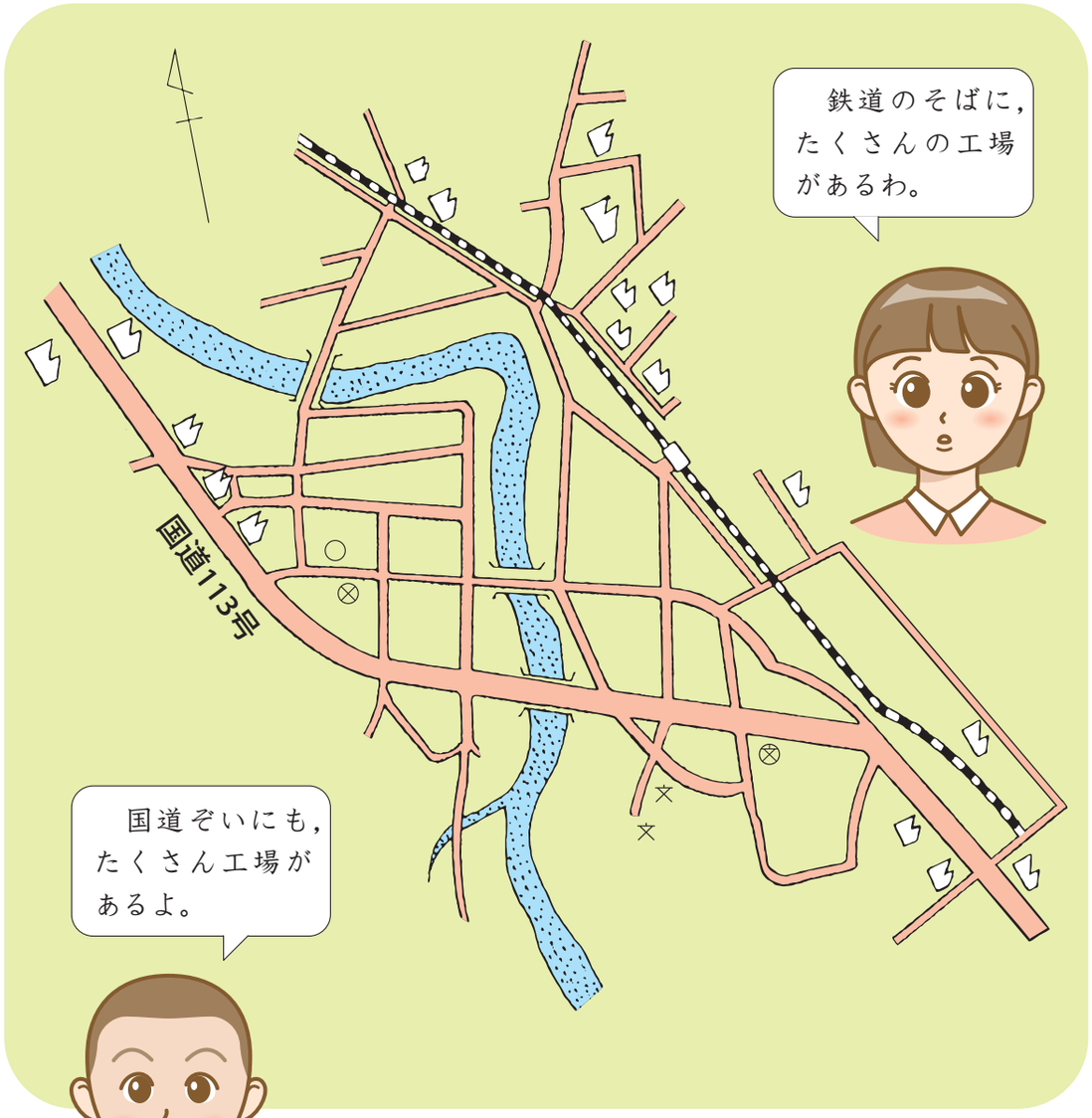
下着を作る工場

いんさつ工場

①　工場のある場所

町のようすを調べた時の地図をもとにして，どこに工場があるのか調べてみましょう。

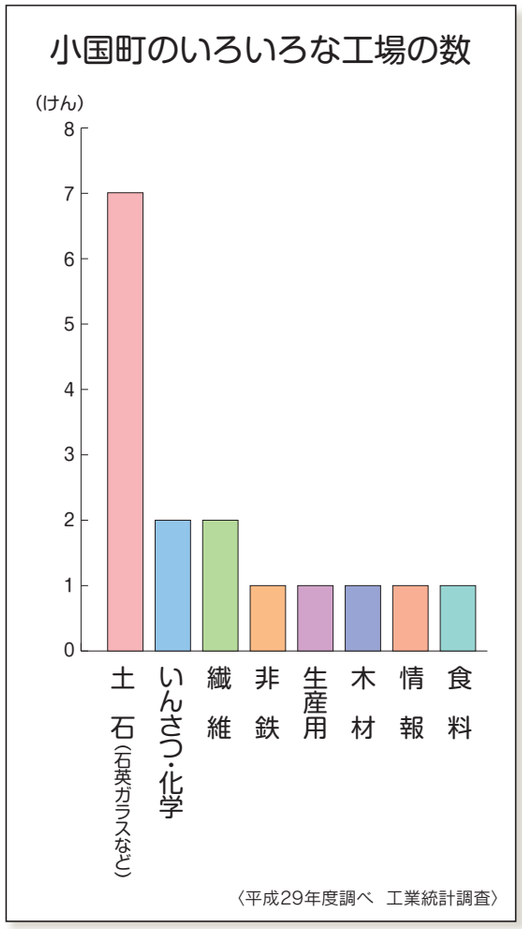
調べよう
工場は，小国町のどのあたりにあるのでしょうか。

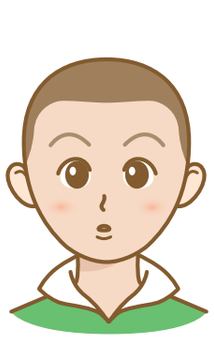


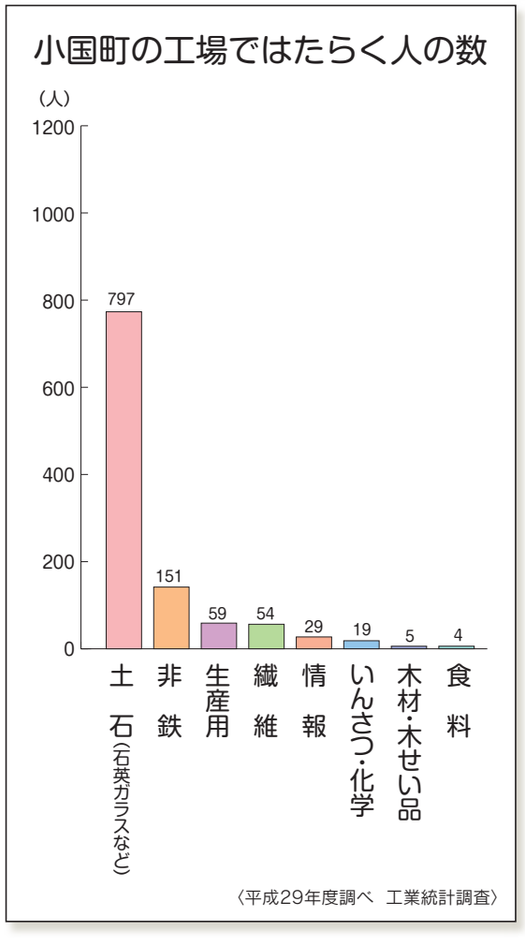
どうして，鉄道や国道の近くに工場が多くあるのか，話し合いましょう。

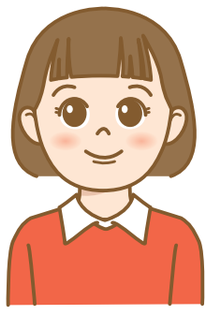
②　工場の数とはたらく人の数

グラフから，「何を作る工場が多いのか。」「はたらいている人がどれくらいなのか。」調べてみましょう。









(2)　工場を見学しよう

①　見学の計画

ゆうすけさんたちは，小国町の工場についてくわしく知りたいと思い，見学の計画を立てました。

調べよう
工場の仕事は，どんなようすでしょうか。

計画の手じゅん

- 何を調べるのか，話し合う。
- 調べる内ようをもとにして見学計画書を作る。
- 工場の係の人に手紙を書き，見学のおねがいをする。

●見学計画書

1. 見学する工場

2. 工場のある所

3. 見学に行く日　　(　)月(　)日

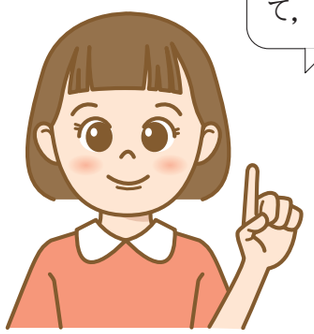
4. 調べてくること

《見る》

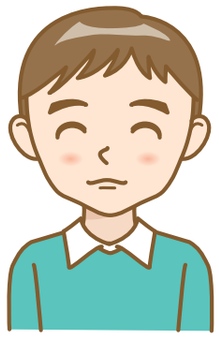
- せい品がどのようにつくられていくのか。
- どんなきかいを使っているのか。
- 工場の仕組み
- はたらく人のようす

《聞く》

- 原りょうは何か。
- 原りょうはどこから来るのか。
- はたらいている人の数や、はたらく時間
- せい品はどこへ行くのか。



この計画書をもとにして，工場を見学しよう。



工場見学が，ますます楽しみになってきたね。

②　工場をたずねて

工場に着くと，係の方が，わたしたちをむかえてくださいました。そして見学の前に，いくつかのしつ問に答えてくださいました。

この工場では，どんなせい品をつくっているのですか。

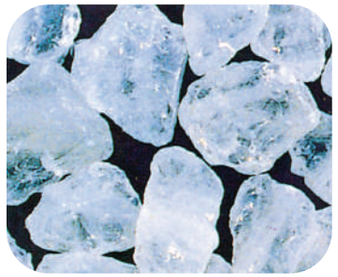
石英（せきえい）ガラスや，炭化（たんか）けいそせい品などを作っています。これらは，半どう体を作るために使われるものです。

半どう体は，パソコンやゲームのきかい，テレビ，自動車などに使われています。ちょっとしたほこりでも，せい品がだめになってしまうので，わたしたちもほこりにはとても気をつけています。

そこで，今回は，石英ガラスができるまでのようすを見せていただくことにしました。

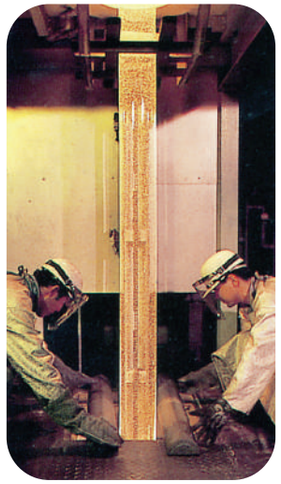
調べよう
どのようにして，せい品がつくられているのでしょうか。

●石英ガラスができるまで


水しょう

けい石

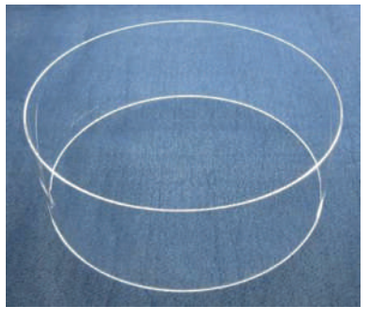
水しょうやけい石をくだいてこなにします。



けがをしないように，めがねやマスクなどをします。

こなにした水しょうやけい石を，1700～2000度という高い温度でとかして，ガラスぼうをつくります。

できたガラスぼうにねつをくわえて，いろいろな形にしたり，決まった長さに切ったりします。



石英ガラスは，1000度になってもとけません。また，ふつうのガラスよりきれいで，とうめいです。

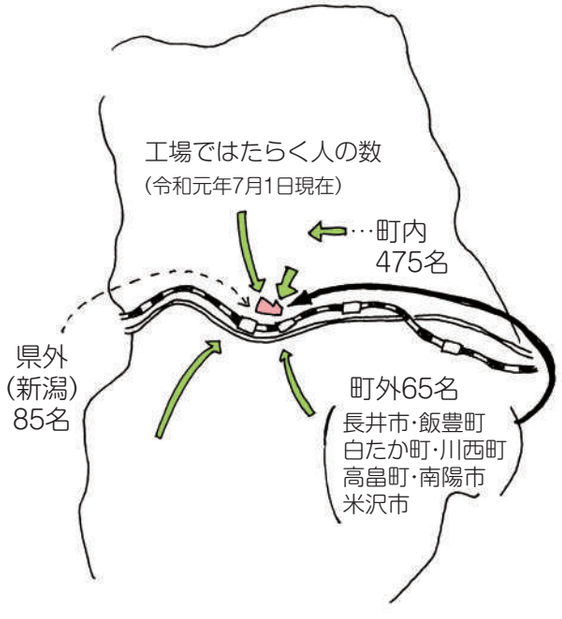
●はたらく人たち

調べよう
工場ではたらく人たちは，どのように仕事をしているのでしょうか。

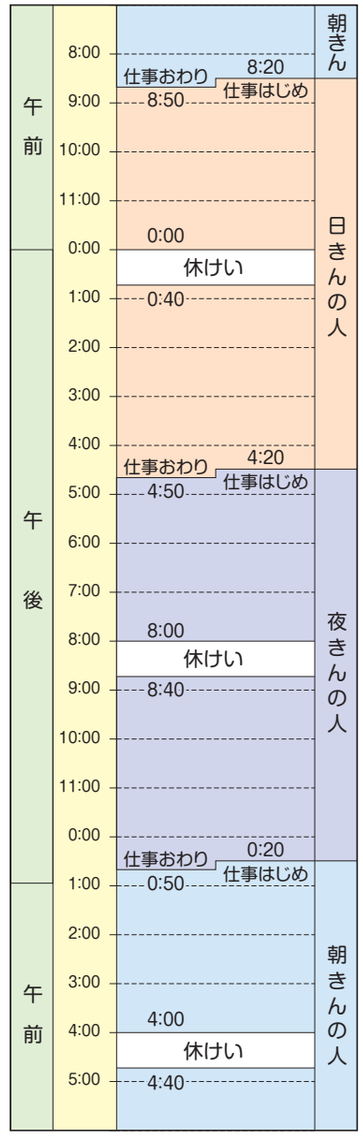
大きな工場なので，はたらいている人がたくさんいます。係の方に，はたらいている人たちのことをしつ問しました。

工場ではたらいている人の数は，全部で625人で，男女のうちわけは，男518人，女107人です。そのうち，小国町に住んでいる人は475人ほどで，そのほかは，よその町から通っています。

また，きんむは三交代(こうたい)せいで，「日(にっ)きん」「夜(や)きん」「朝(あさ)きん」があり，一日中きかいを止めません。これは，電気をじょうずに使うためなんですよ。



工場ではたらく人の一日



調べよう

小国町に工場ができたのは，なぜでしょうか。

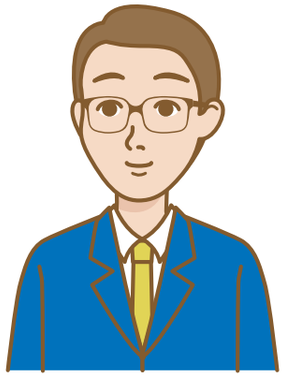
③　工場と水のつながり

わたしたちは，工場がとても大きいことにおどろきました。そして，工場がなぜ小国町にできたのか，所長さんにお聞きしました。

所長さんの話

この工場は，昭和13年にできました。小国町をえらんだ一番の理由は，水がたくさんあるということです。

工場では，水をいろいろなことに使っています。



発　電　所

工場では，物をひやすために大量の水を使っているそうです。ひやすときの水は，横川からポンプでくみ上げます。使ったあとは，きれいな水にしてから川にもどすそうです。

その他，町には，水を利用する水力発電所もあります。

水の取り入れ口

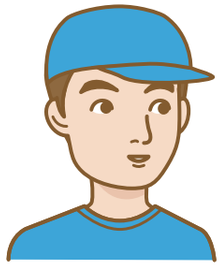
はい水

調べよう

石英ガラスの原りょうはどこから来るのか，せい品はどこに行くのでしょうか。

④　品物の行き来

石英ガラスの原りょうの，水しょうとけい石は，どこから運ばれて来るのか，また，できたせい品はどこに運ばれて行くのかをお聞きしました。

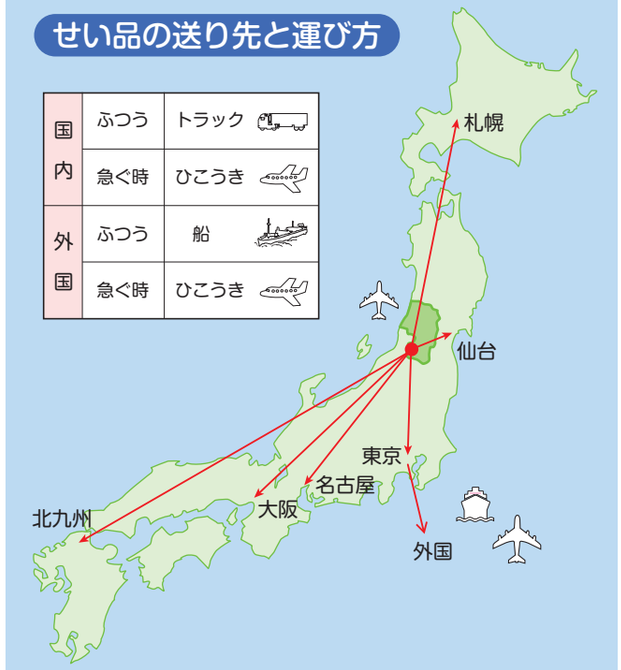


原りょうの水しょうやけい石は，日本ではあまりとれません。ですから，外国から買っています。せい品のほとんどは，国内の，電気き具をつくる会社に売っています。そのほか，外国にも売っています。

運ぶときは，国内はトラックを，また外国との行き来には船を使っています。昔は鉄道を使っていました。

原りょうがとどくまで

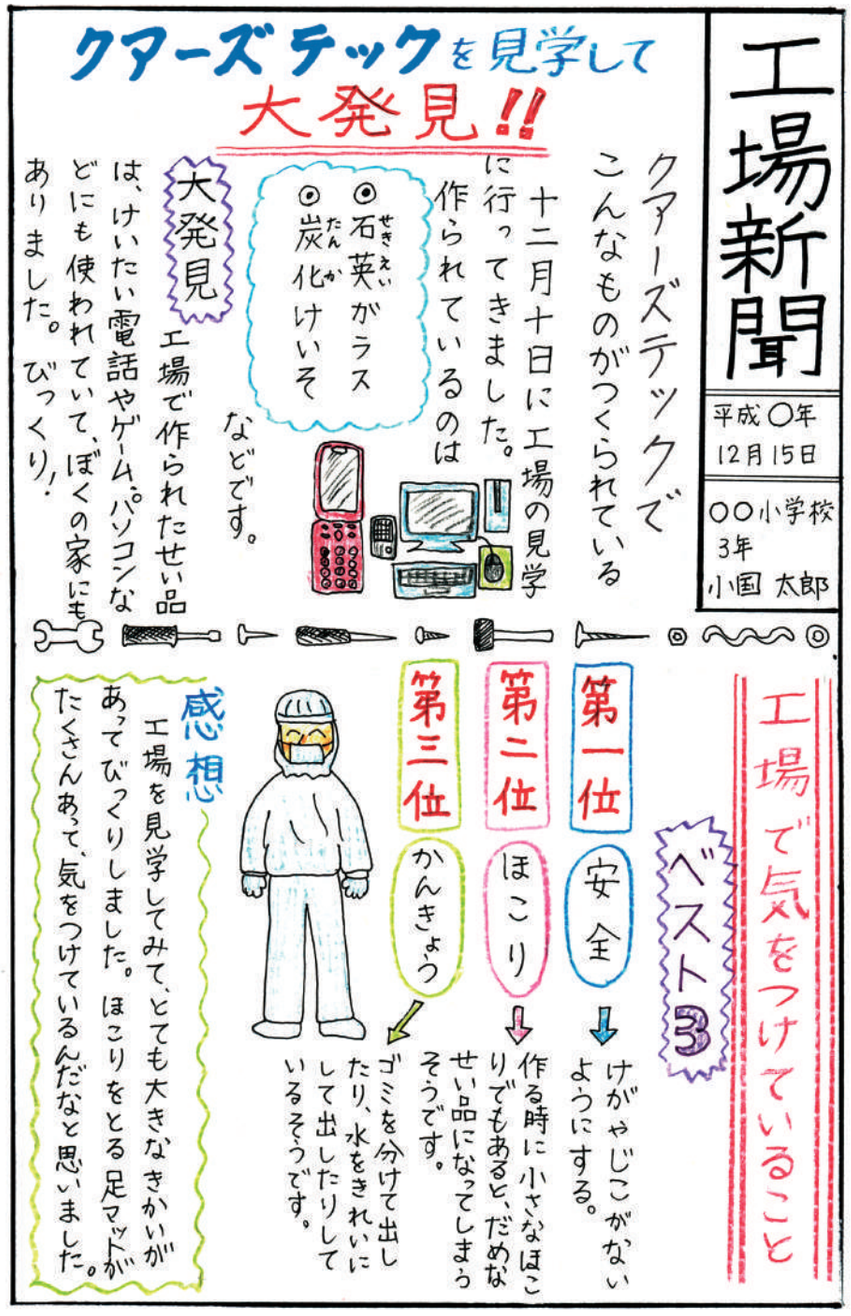
せい品の送り先と運び方



学習のまとめ

こちらへんしゅう部

わたしたちは，今まで学習したことを，新聞にまとめました。（まとめ方のれい）



3 安全なくらしを守る

消防訓練のようす

交通事故現場のようす

避難訓練

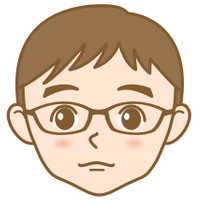
自転車教室

はるかさんたちは，ニュースや自分たちの体けんを思い出しながら，くらしの安全について話し合いました。

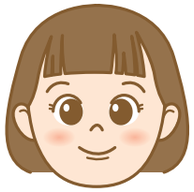
話し合おう

くらしの安全について，話し合ってみましょう。

「大人の人たちが，しんけんに消防訓練をしているね。何のためにしているのかな。」



「交通事故もこわいね。ぼくは，自転車に乗っていて，もう少しで車にぶつかりそうになったことがあるよ。」

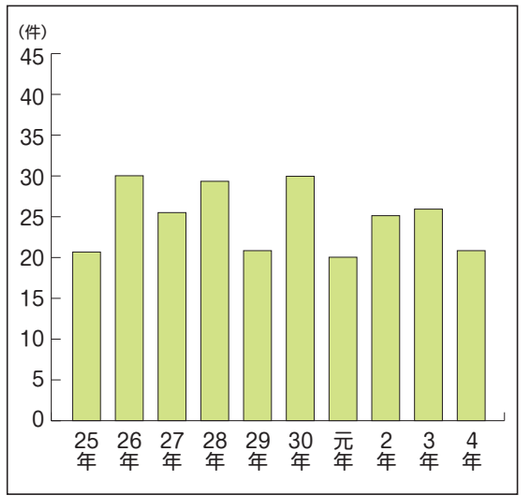


「避難訓練や自転車教室では，消防しょやけいさつしょの方が来て，安全について教えてもらったことがあるわ。」

はるかさんたちは，わたしたちのくらしを守るために，町では，どこで，どのような人たちが働いているのか，調べることにしました。

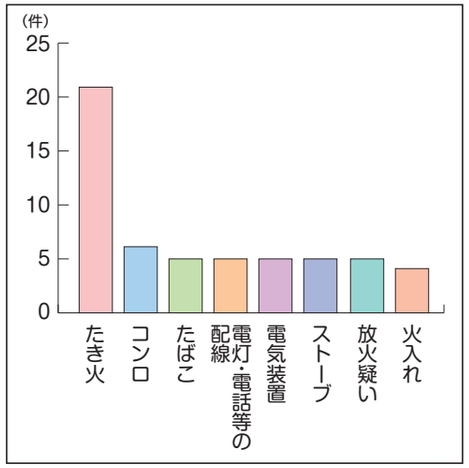
1　火事からくらしを守る

過去10年の西置賜の火災発生件数



「令和4年版消防年報」より

西置賜で起こった火事の主な原因（過去5年間）

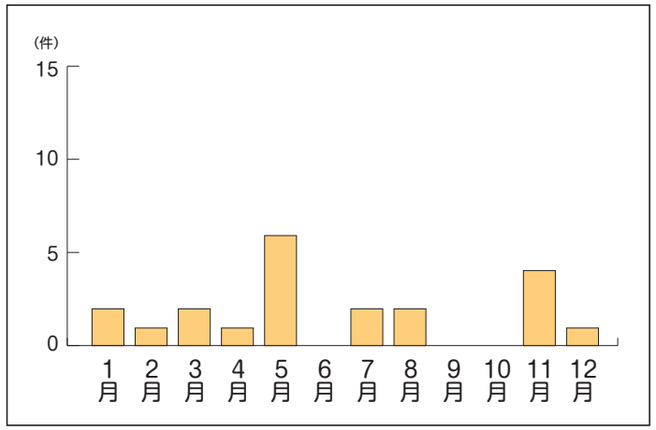


「令和4年版消防年報」より

はてな？
火事はどんなことが原いんで，どのくらい起きているのでしょうか。

はるかさんたちは，消防訓練の写真やグラフを見て，気づいたことやぎもんに思ったことを話し合いました。

西置賜で起こった月別の火事の件数（令和4年）



「令和4年版消防年報」より

はてな？
火事が起こるのを防いだり，早く消すために，どんなしくみがあるのでしょうか。

はるかさんたちは，話し合いから，火事を消したりふせいだりする取り組みについてのかだいをつくり，みんなで調べることにしました。

●調べる手じゅん

(1) 何を調べるか，どうやって調べるかを整理する。

〈調べること〉	〈調べ方〉
①119番してから火が消えるまでのようす	①消防しょへ行って，見学したり話を聞いたりする
②	②
③	③
④	④
⑤	⑤

(2) みんなで協力して調べる。

(3) 調べたことをもとに考える。
- 人々のくふうや努力，願いや思い
- 地いきやわたしたちとのつながり
- 自分たちのできることなど

(1)　町の消防しょの見学

調べよう
消防しょの人たちはどんな仕事をしているのでしょうか。

はるかさんたちは，西置賜行政組合消防しょ小国分しょを見学しました。

ここには，消防車や救急車，火事を消すための道具などがありました。１１９番から約１分で防火服を身につけ，消防車で出動し消火活動にあたるそうです。

いつでも出動できるようになっている車庫

消防車

救急車

防火服

(2)　消防士さんの一日

消防士さんたちは，火事がないとき，いつもどんな仕事をしているのか聞いてみました。

消防士さんの話

火災や救急の連絡が入った時，すぐに現場に駆け付け消火や救急処置をするために，普段から訓練を行い，道具や機器がいつでも完璧に使えるように点検もしっかり行っています。小国町は面積が広いので，遠くで火災や救急が起きたときは，地域の方の協力も大切です。何よりも，火災を起こさない事，誰かが倒れていたら助けられるように火災の予防や，救急の講習にも力を入れています。

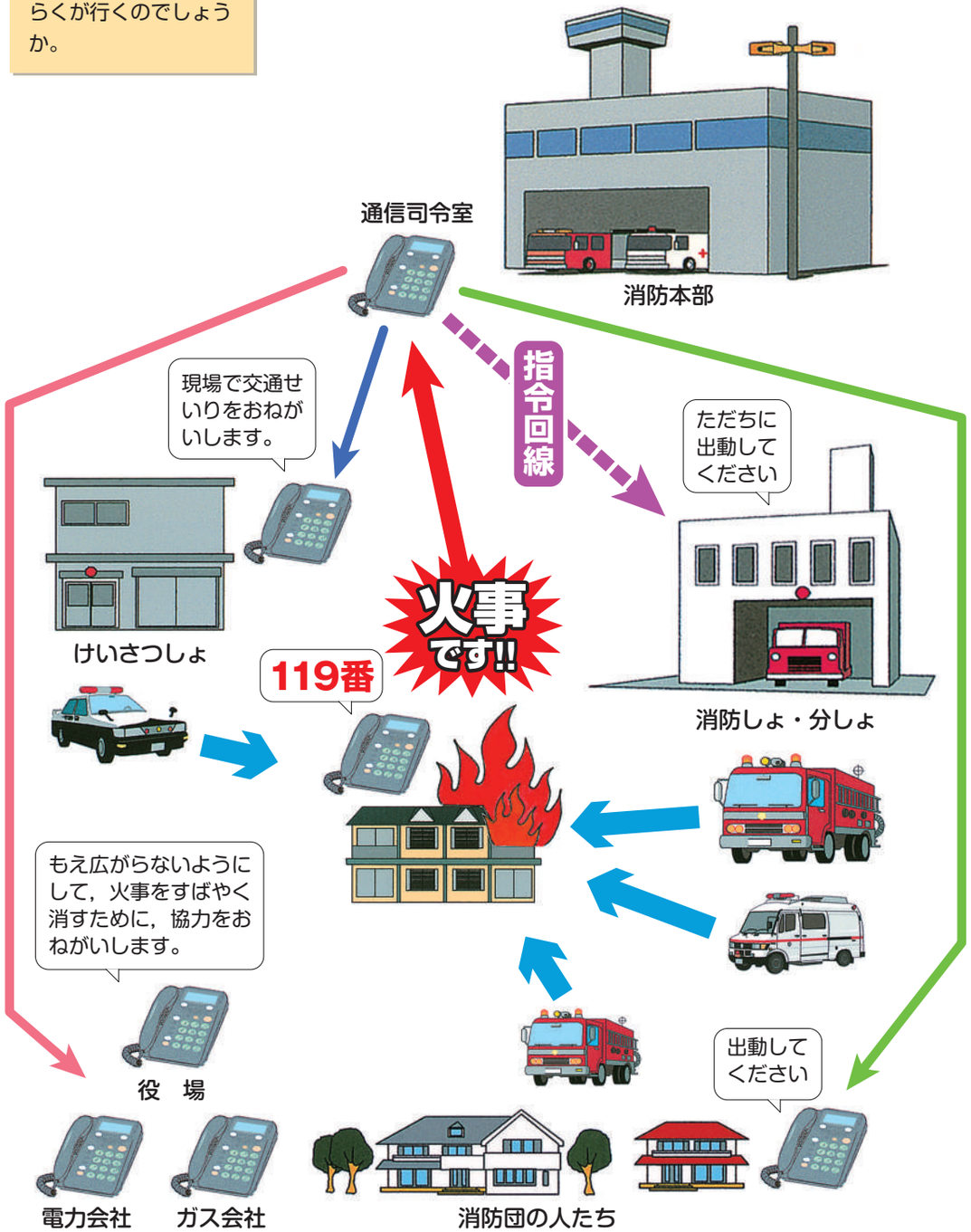
朝礼，交代	午　前	午　後	夜	深　夜	朝礼，交代
8：30 （仕事開始）	各種訓練，点検，係の仕事 主な仕事：警防（消火，消火栓の点検）／救急（救急講習，処置の事）／予防（防火指導に関する事）			仮　眠 22：00～ 5：00	8：30 （仕事終了）
	災　害　対　応				
24時間勤務（日勤者は8：30～17：15まで仕事）					

(3)　119番すると～消火のための協力体制

調べよう

119番するとどこにつながり，どこへ連らくが行くのでしょうか。

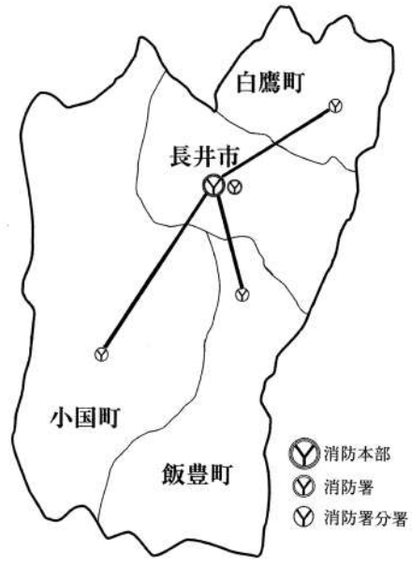
火事をはやく消すためにどんな協力の仕組みがあるのか聞いてみました。



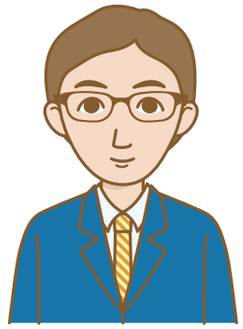
通信司令室のようす

西置賜行政組合消防本部

西置賜行政組合消防本部



通信司令室で働く人の話



長井市，白鷹町，飯豊町，小国町からのすべての119番が，長井市にある西置賜行政組合消防本部の通信司令室に入ってきます。

通信司令室は，火事の現場に近い消防しょや消防分しょに連絡し，ただちに消防自動車や救急車を出動させます。消防団，けいさつしょ，病院，役場の水道課，ガス会社など関係するところにも連絡します。大きな火事のときは，ほかの市や町の消防しょにもおうえんをたのんで，協力して消火する仕組みがあります。

はるかさんたちは，火事の現場では，消防士さんたちのほかにいろいろな人々が協力していることがわかりました。

(4)　学校や町の消防しせつ

調べよう

わたしたちの学校や町には，どんな消防しせつがあるのでしょうか。

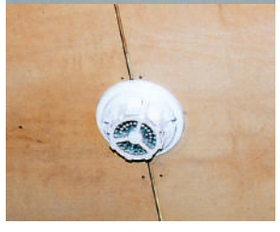
こうたさんたちは，学校の消防しせつについて調べてみることにしました。

消火器

消火せん

防火とびら

発信機



熱感知器

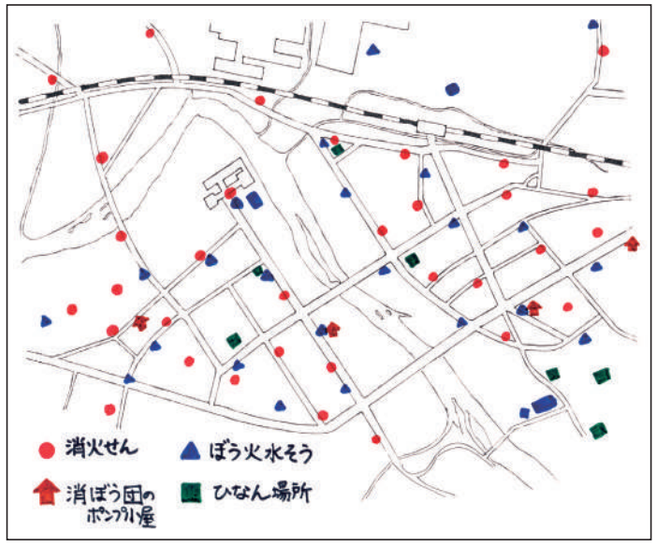
けむり感知器

消火せんも各階にあるね。長いホースから水を出して，どこから火が出ても消せるようになっているわ。

ねつやけむりの感知器がどの部屋にもあって，火事を教えてくれるんだね。

町には，どんな消防しせつがあるのかな。

小国町中心部の消防しせつ



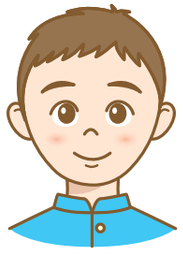
こうたさんたちは，町の消防しせつをさがし，地図に表しました。地図からわかったことや考えたことをみんなで話し合いました。

小国町の消火せんは，雪が多いときも使えるよう背が高くなっています。

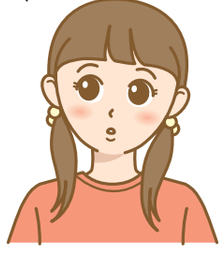
防火水そう

消防団のポンプ小屋

消火せんや防火水そうが，けっこうあったよ。どこが火事になっても，消火活動ができそうだよ。



消ぼう団の倉庫には，ポンプ車が入っていたよ。これで出動するんだね。



たくさんの人がひなんできるように，学校や体育館などの大きな建物がひなん場所になっていたわ。

(5)　地いきの協力

調べよう
　消防団の人たちは，どんな仕事をしているのでしょうか。

　こうたさんたちは，消防団に入っている方に話を聞きました。

消ぼう団の方のお話

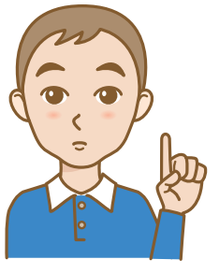
　わたしたちは，ふだんはそれぞれの仕事をしていますが，火事の連らくがあると，仕事場から現場にかけつけて，消防しょの人と協力して消火活動をします。休みの日や早朝，夕方を使って，消火訓練やポンプ車の点けんなどをして，火事にそなえています。自分たちの町を，自分たちで守るために，ど力しています。

　小国町には，９つの消防団があり，約３００人が消防団員として活動しているそうです。

町の消防えん習のようす

　そのほかに，日ごろから，火事を起こさないために地いきの人がどんなことをしているか，自分たちにできることはないか，話し合いました。

まとめよう
　地いきの人々の取り組みには，どのようなものがあるでしょうか。自分たちにできることも話し合いましょう。



　ぼくの家でも，火災（かさい）けいほう器をつけて，火事に気をつけるようにしているよ。

住宅用火災（じゅうたくようかさい）けいほう器（き）

　国の法律（きまり）をうけて，市町村でもきまりをつくり，平成23年6月1日からすべての住たくに取り付けることになりました。

　この前，町の防災訓練があったとき，わたしの家では，家族みんなでさんかしたよ。

　もし，家や近所で火事が起きたら，どうしたらいいか，『わが家の防さい計画』を作ってみよう。

町の防災訓練のようす

2　事故や事件からくらしを守る

交通事故の現場のようす

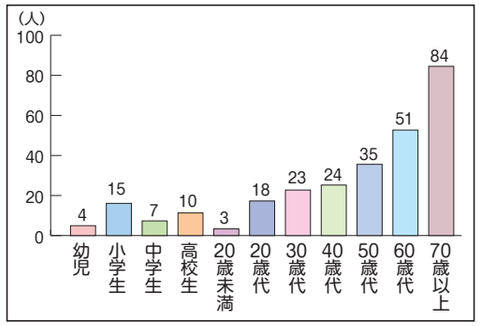
ゆうやさんたちは，交通事故の写真やグラフを見て，気づいたことやぎもんに思ったことを話し合いました。

「車が横だおしになってるね。けがをしなかったのかな。」

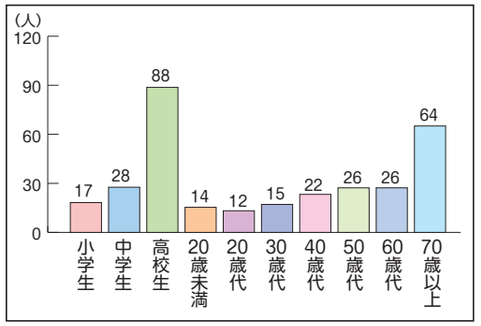
「交通事故は，こわいなあ。最近は事故の件数も死者数もへっているよ。でも，事故でなくなった人では，高れい者が１ばん多いよ。」

「小学生の交通事故は下校中が一番多いんだね。もうひとつのグラフを見ると，道路横断中の事故がすごく多いことがわかるね。ぼくたちも気をつけなくちゃね。」

令和3年交通事故による
歩行者の年齢層別死傷者数

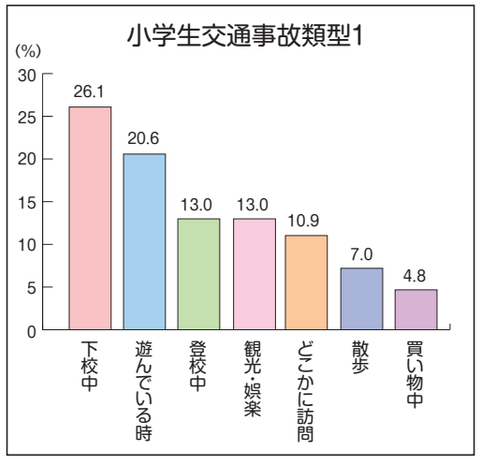


令和3年交通事故による
自転車の年齢層別死傷者数

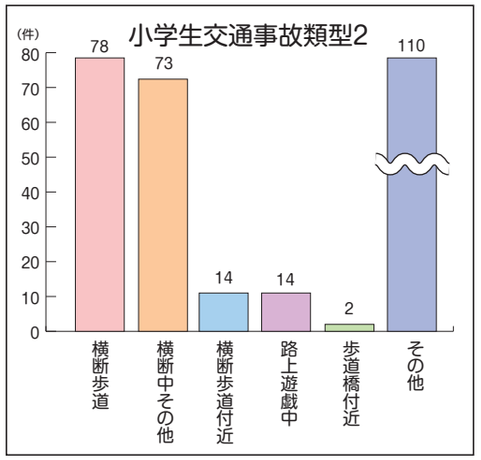


令和4年度山形県交通年鑑

小学生交通事故類型1



小学生交通事故類型2



警察庁交通局令和4年資料

「けいさつの人が事故現場で何かしているよ。事故が起きたらどうするのかな。」

「けいさつの人たちは，事故をなくすための仕事もしているかもしれないね。」

「けいさつの人は，事件もかいけつしてくれるよ。けいさつの仕事もいろいろあるのかな。」

ゆうやさんたちは，話し合いから，事故や事件からくらしを守るための取り組みについての学習課題をつくり，みんなで調べることにしました。

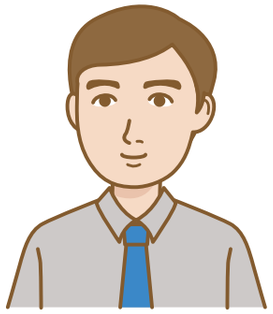
(1)　交通事故が起きたら

調べよう
事故の知らせはどのように伝わるのでしょうか。そして，けいさつの人はどんな仕事をするのでしょうか。

事故現場には，パトカーや救急車がすぐかけつけてきます。ゆうやさんたちは，火事のときと同じような連らくの仕組みがあるのではないかと考え，けいさつのおじさんにたずねてみました。

けいさつへの通報
- 110番にかける
- 事故のようす
- 場所はどこか
- 自分の名前や電話番号

けいさつしょ交通課の人の話



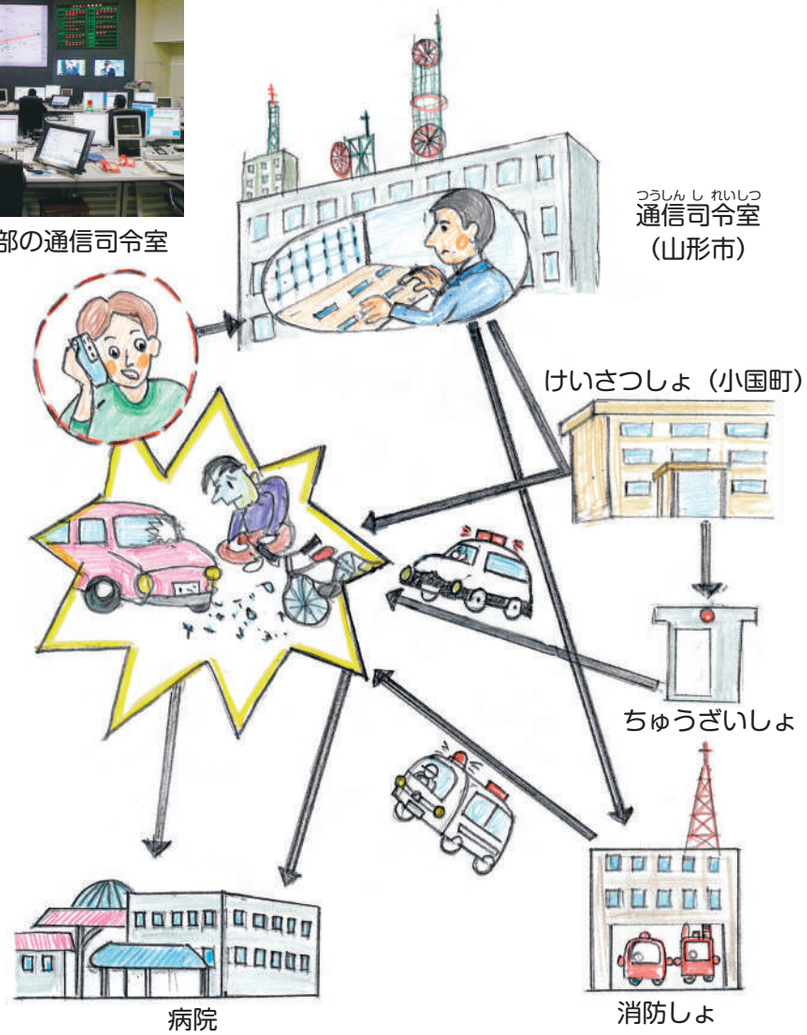
110番にかけると，県内どこからでも，山形市にある山形県けいさつ本部の通信司令室につながります。そこから，事故や事件の現場に近いけいさつしょや交番に無線や電話で知らせます。連らくを受けたら，サイレンをならしながら，パトカーですばやく現場にかけつけます。

交通事故の現場では，けが人の救助，交通整理，事故原いんの調査などをします。消防しょや病院など関係するところにも，すぐ連らくが入り，その人たちと協力して仕事をします。

県けいさつ本部の通信司令室

110番の仕組み

平成30年山形県交通年鑑



①けが人の救助
救急隊と協力して，けが人を救助したり，消防と協力して，事故車が火事にならないようにします。

②交通整理
その場で続けて事故が起きないように，交通整理をして，道路の安全をかくほします。

③事故原いんの調査
二度と事故が起きないように，事故の原いんをくわしく調べます。

(2)　くらしを守るけいさつの仕事

調べよう

けいさつの仕事は，わたしたちの生活とどのようなかかわりがあるのでしょうか。

ゆうやさんたちは，「仕事さがしカード」を作り，けいさつの仕事について調べました。

パトロールに出る

仕事さがしカード

名前（ゆうや）

●仕　事

パトロール（町の見回り）

●思ったこと・気づいたこと

パトカーを見ると，交通安全に気を付けようという気持ちになるよ。

仕事さがしカード

名前（はるか）

●仕　事

どろぼうなど悪いことをした犯人（はんにん）をつかまえるそうさ

●思ったこと・気づいたこと

小国町では，どんなはんざいがおきているのかな。

白バイ

事故の調査

事故しょり車

小国けいさつしょ

南部駐在所（ちゅうざいしょ）

仕事さがしカード

名前（こうた）

●仕　事

ちゅう車い反のとりしまり

●思ったこと・気づいたこと

とくに冬は，じょ雪のじゃまになるから，気をつけてほしいそうだよ。

仕事さがしカード

名前（あ　い）

●仕　事

困（こま）ったことの相談（そうだん）を受ける

●思ったこと・気づいたこと

相談室というところで，何でも相談できて，安心だね。

けいさつの人たちは，交通事故をふせぐ仕事だけでなく，事件がおきないようにパトロールしたり，町の人たちのそうだんを受けたりして，町の安全を守っていることがわかりました。

(3)　町の安全を守る地域（ちいき）の協力

調べよう
　地域の人たちは，町の安全を守るためにどのようなことをしているのでしょうか。

　ゆうやさんたちは，火事のときの消防団のように，地域の人たちも町の安全を守るために活動しているのではないかと考え，調べてみました。

こども110番の目じるし
カモンくん

こども110番のお店

こども110番のお店の人の話

　こども110番は，小国町に70軒（けん）ほどあります。子どもたちがふしん者などからにげたとき，助けを求めることができる場所です。そればかりでなく，何かこまったことがあったら，立ちよれるようにしています。町の人たちは，子どもたちを事件（じけん）から守ろうとしているのです。

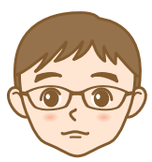
下校を見守る見守り隊の方々

登校を見守る地域の方

学校のＰＴＡで作った安全マップ

　これらのほかに，交通事故やはんざいをなくすための会議も町で開かれているそうです。安全な町づくりのために，けいさつと協力して，地域の人たちもさまざまな活動をしていることがわかりました。

　さいごに，ゆうやさんたちは，わたしたちにできることはないか，話し合いました。



「交通ルールを守って，自分から事故にあわないようにしたいです。」

「事件にまきこまれないように，安全マップをよく見て，あぶない場所には近づきません。」

考えよう
　町の安全を守るため，わたしたちにできることについて，話し合いましょう。

家族防災会議を開こう

□地しんや火事のときの家族一人一人の役わりを決めておこう。

- ひなんする出口をつくる人（　　）
- 火の元をたしかめたり火のしまつをしたりする人（　　）
- ひじょう持ち出し品を持ち出す人（　　）
- 小さい子やおとしよりをひなんさせる人（　　）

□地しんや火事のときの家族とのれんらく方ほうや，集合場所を決めておこう。

※電話が通じない時のことも考えよう。

- れんらく方ほう（　　）
- どこに集まるか（　　）

□地しんや火事のときに，家族みんなでひなんする場所を決めておこう。

- ひなん場所（　　）

※実さいにひなん場所まで歩き，安全に行けるかたしかめておこう。

□ひじょう持ち出し品をチェックしよう。

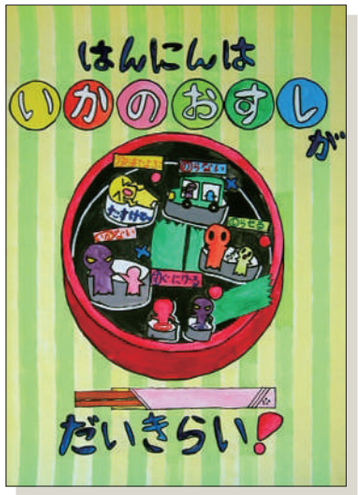
- 貴重品，非常食，応急医薬品，生活用品，衣類がそろっているか。
- 重すぎず持ち出しやすいか。

□消火器・火災けいほう器をチェックしよう。

□家具がたおれないようになっているか，にげやすいように家の中が整とんされているかチェックしよう。

発展学習

防火ポスター・防犯ポスターをかこう



4 わたしたちの町の歩み

1980年代の中央地区を空からながめた写真

2020年代の中央地区を空からながめた写真

1　くらしのうつりかわり

昭和39年ごろ

　この２まいの写真から，生活のようすが大きくかわってきたことがわかりますね。みなさんが生まれる前の時代（じだい）のくらしはどのようなものだったのでしょう。

古い道具と昔のくらし

　わたしたちの身のまわりには，古くからのこるものがたくさんあります。学校や家にも，何か古いものがのこっていないでしょうか。

やってみよう
古い道具をさがしてみよう。

古い道具をさがしてみよう

　しょうたさんたちは，身のまわりにある古い道具をいろいろ見つけました。

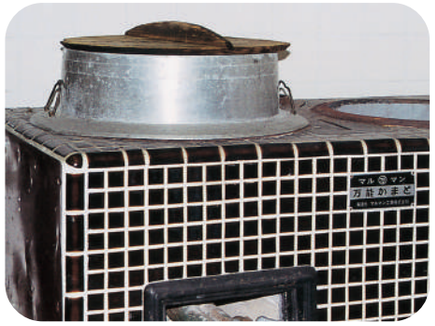
　昔の道具にきょうみをもったしょうたさんたちは，くわしく調べてみることにしました。

道具のうつりかわり

しょうたさんは，おばあさんたちから話を聞いて，ごはんをたく道具のうつりかわりについてまとめてみました。

ごはんをたく道具のうつりかわり

ごはんがたけるまで，火かげんに気をつけるよ。まきをもやせば，けむりでけむたいね。なべやかまのそこは，すすでまっ黒。あらうのがたいへんね。



ガスのすいはんきで，ごはんをたいているよ。スイッチをおすだけでごはんがたけて，ごはんがたけると火が消えるんだって。

電気すいはんきは，ごはんがたけると保温になっていつでもあたたかいごはんが食べられるよ。
おかゆや赤飯もたけるんだよ。

「道具がかわることで，わたしたちのくらしもかわってきたような気がするわ。」

みんなでかだいを作って調べてみましょう

かだい

やってみよう
- 昔の道具について話し合う。
- 今と昔のくらしをもとにかだいを作る。
- かだいについて予想し，学習計画を話し合う。

かだいについての予想

調べること

調べ方

道具カードを作ろう

〈道具の名前〉

〈道具の絵〉

〈使い方〉

〈いつ頃，使われていたか〉

〈くふう〉

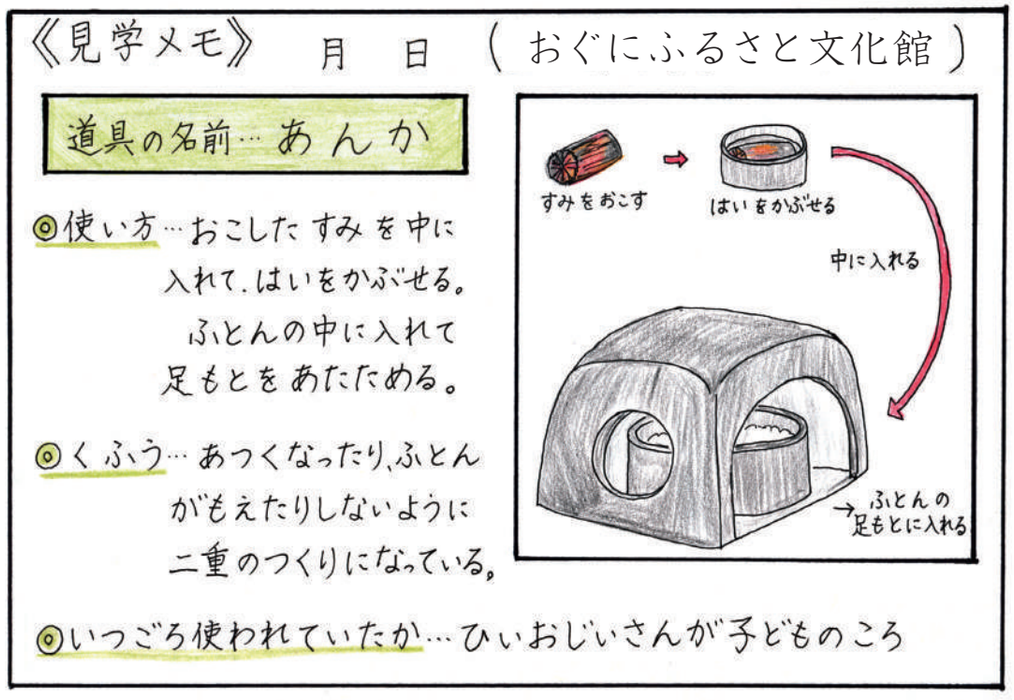
調べよう
道具のうつりかわりを調べて，カードにメモしてみましょう。

資料館に行ってみよう

しょうたさんたちは，旧伊佐領小学校にある『おぐにふるさと文化館百石』を見学し，いろいろな道具のうつりかわりについて調べてみることにしました。

資料館では事前におねがいしておくと，道具の使い方を教えてもらったり，道具をさわらせてもらったりすることができるよ。

メモしたことをもとにして，『道具カード』をかいてみよう。



古い道具について聞いてみよう

●おばあさんの話

これはせんたく板だよ。わたしの母親がわかかったころに使っていたの。沢水やほりであらっていたから，寒い時や雨がつづく時などは，とてもつらかったそうよ。せんたくだけでなく，米とぎなども外でしていたから，たいへんだったでしょうね。

●おじいさんの話

これは『あんか』という道具だよ。昔は今のように部屋全体を温めたり，タイマーをセットしたりできるだんぼう器具はなかったから，ねる時はとても寒かった。だから，ねる前にすみをおこして，この中に入れたんだよ。ふとんの足元に入れてねると，それはあったかかったもんさ。後に，湯たんぽや電気あんかを使うようになったな。

調べよう

古い道具を使ってみて，その使い方を調べましょう。

古い道具を使ってみよう

しょうたさんたちは，地いきの人に使い方や使っていたころのことなどを教えていただきました。

けっこう力がいる仕事だなあ。

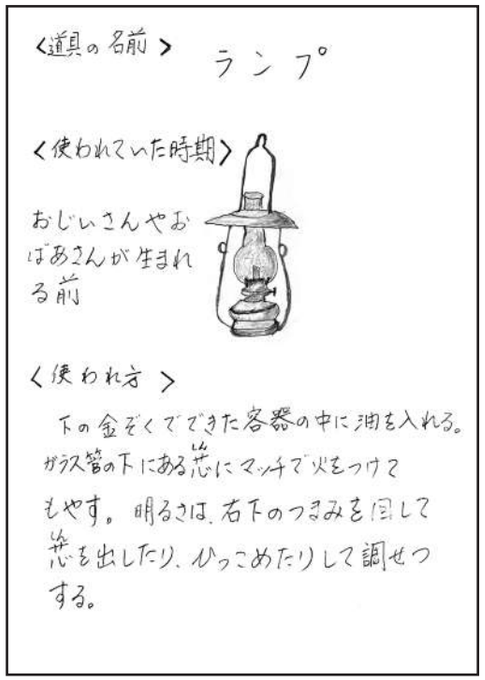
１まい１まいあらうのはつかれるね。手がつめたくていたいよ。

おばあさんが子どものころ手伝いをした時，けむりが目にしみていたかったんだって。

毎回毎回，料理（りょうり）のたびに火をおこすのは大変だね。

おいしくたくためには，とちゅうでふたをあけてはいけないんだって。

かわってきたくらし



照明（しょうめい）のうつりかわり

しょうたさんたちは，作った道具カードをくらべて，くらしの様子のちがいを話し合いました。

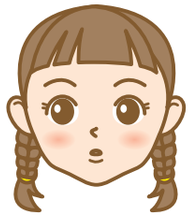
「夜になってもいろんなことができるようになったと思うよ。」

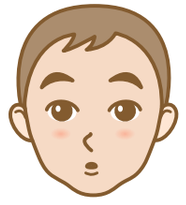
「電気が使えるようになったことで，ほかのべんりな電気器具も使えるようになったと思うわ。」

「電気製品ができたことで，自由に使える時間や楽しむ時間がふえたと思うよ。」

やってみよう

道具が変わったことで人々のくらしが，どのようにかわったか話し合おう。





2　町のうつりかわり

昭和30年代の中央商店街のようす

現在の中央商店街のようす

はてな？
町の様子は，昔と今ではどのように違うのだろうか。

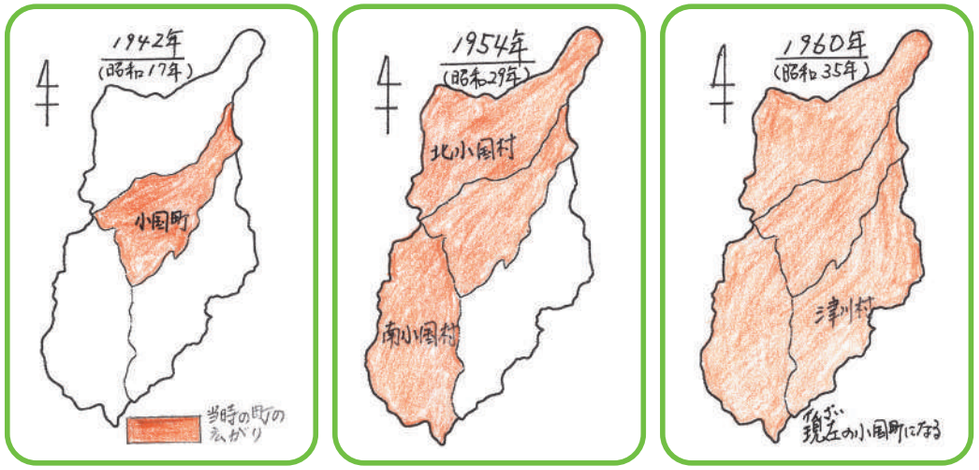
ことば
- **町村合併**
  いくつかの村や町が一つの町や村になること。
- **人口**
  その地いきに住む人の数のこと。

かだいを作り，学習計画を立てよう

れい子さんたちは，センターの図書室で昔の町の写真を見つけました。町の様子にきょうみを持ったれい子さんは，図書室の方にインタビューしてみました。

図書室の方の話

わたしたちの町では，昔は今よりもずっと交通や公共施設が整備されておらず，不便なことが多かったのです。昭和20年代から30年代にかけて，まわりの村と町村合併し今のような町になりました。交通が整備されたり，はたらく場ができたりして人口も増えてきましたが，現在はまた少なくなってきています。



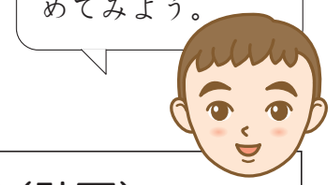
小国町の広がりのうつりかわり

「わたしたちの町が，どのようにかわってきたか調べてみたいわ。」

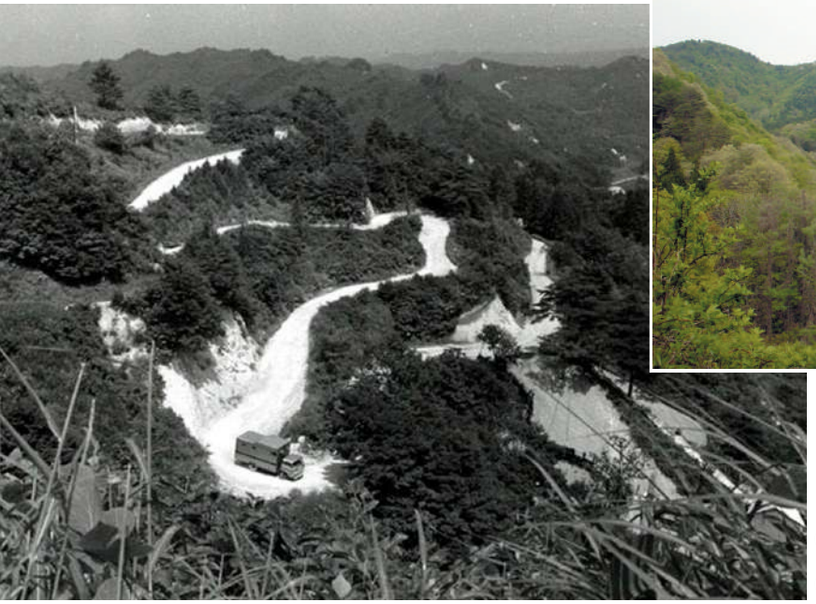
かだい

ことば
- **公共しせつ**
  みんなが使用する建物や設備

れい子さんたちは，町の交通，土地利用，人口，公共施設に注目して調べることにし，計画を立てました。



調べること（予想）	調べ方（計画）
●	●
●	●
●	●
●	●



（上）現在の宇津峠
（左）昭和30年代の宇津峠

はてな？
町の交通はどのようにかわってきたのか。

やってみよう
- 昔と今の道路の写真を観察しよう。
- 道路の写真を見て，気づいたことを話しあおう。

交通のうつりかわり

れい子さんたちは，センターの図書室で昔の宇津峠の写真を見つけました。今の宇津峠の写真とくらべて話し合いました。

「この間，家族で買い物に行く時に自動車で通ったわ。」

「昔は，たくさんの急なカーブを曲がりながら山をこえたんだね。」

「ほそうもされていないみたいだし，冬は道路を通ることができたのかな。」

れい子さんたちは，道路や鉄道のうつりかわりを調べることにしました。

交通関係のできごと

1885年（明治18年）	三島通庸により，県道山形ー新潟線開通。
1936年（昭和11年）	国鉄米坂線が小国まで開通。
1950年（昭和25年）	国鉄バスが通る。
1963年（昭和38年）	大雪で米坂線が不通になる。
1975年（昭和50年）	国道113号の改良工事が完了する。

小国町の鉄道と主な道路

れい子さんたちは，交通が便利になることによって生活がどうかわったかおばあさんからお話を聞きました。

話し合おう
国道が新しくなって，生活はどうかわっただろうか。

わたしが子どものころは，冬の間は除雪がなされないために車は通行できませんでした。町の外に行くには国鉄米坂線で移動するしかありませんでした。昭和38年の大雪の時には，列車が不通になり，人も物も出入りできなくなりました。昭和50年になり国道113号線が今のように完成し，人々の生活も大きく変わりました。

昭和５０年に新しい国道が完成し，町の人の生活がどのようにかわったか話しあってみましょう。

米坂線の除雪

五味沢地区のりふれ

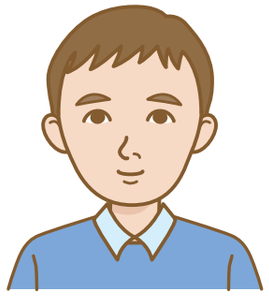
はてな？
町の土地利用はどのように変わってきたのだろうか。

ことば
- **観光施設**
  町内外の人が訪れるための建物や場所のこと。
- **土地利用**
  土地がどんなことに使われているか。

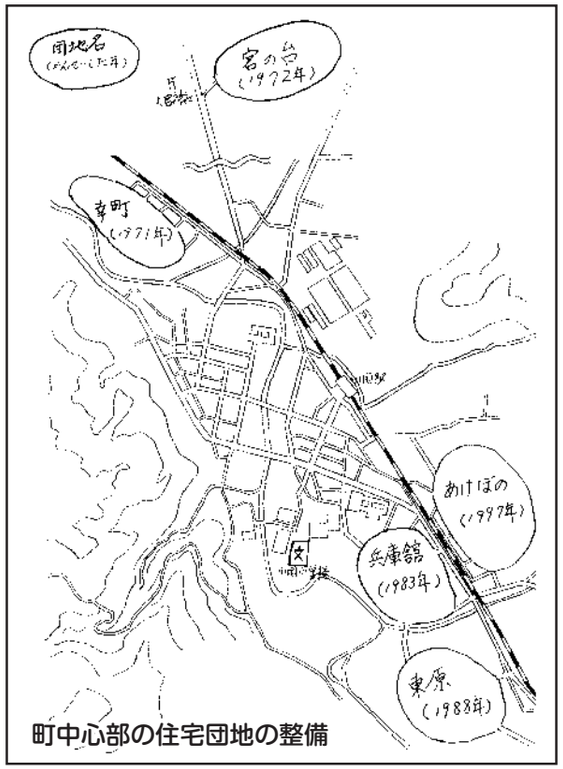
土地利用の変化

れい子さんたちは，1学期に町の様子を調べた時に，観光施設がたくさんあることに気づきました。そこで北部地区のりふれが，いつごろできたのかも調べてみたくなり，働いている人にお話を聞きました。

りふれは平成5（1993）年に荒川近くにあった荒地を整備し造られました。まわりにはオートキャンプ場や木工館があり，休日にはたくさんの人が訪れます。地元の人が働くこともできるようになりました。



小国町の観光施設
（小国町提供）



町中心部の住宅団地の整備

「健康の森よこねや飯豊梅花皮荘・川入荘，わらび園などの観光施設をたくさん作ったんだね。」

「５月のくま祭りには，飯豊梅花皮荘にたくさんのお客さんが来て見物をしていたわよ。」

町の人が住みやすくなるための住宅団地の造成についても調べました。

「町の中心部に多くの住宅団地ができて，町の人が家を建てやすくなったんだね。」

「ぼくの友だちの家もあけぼの団地の中に建っているよ。」

ことば
- **住宅団地**
  住宅をたくさん建てるために開発された土地。

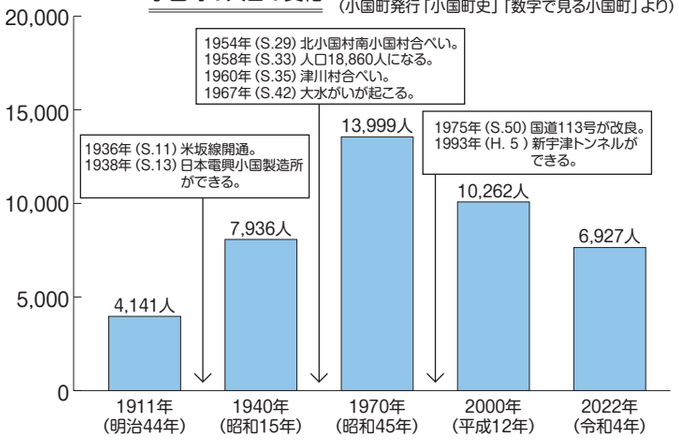
はてな？

町の人口はどのように変わってきたのだろうか。

ことば

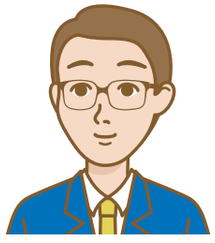
●少子高齢化（しょうしこうれいか）
若い人の数が減少し，高齢者（こうれいしゃ）の数が増加すること。

小国町の人口の変化
（小国町発行「小国町史」「数字で見る小国町」より）



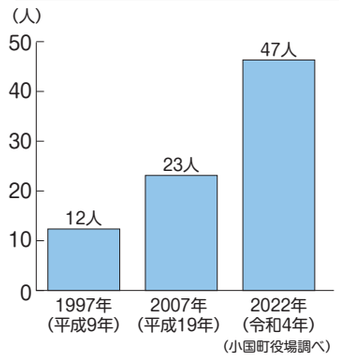
人口のうつりかわり

れい子さんたちは，小国町役場をたずね人口の変化について職員の方にインタビューしました。



小国町は北小国村，南小国村，津川村を合併（がっぺい）し，人口も少しずつふえてきました。鉄道や大きな工場も町にでき，働（はたら）く場ができたことも人口がふえたことの原因です。でも最近は，小国町でも少子高齢化が進み，子どもや若い人の数がへって，お年寄りがふえています。働（はたら）く若い人がへっていることが問題になっています。

小国町に住んでいる外国人の数の変化



（小国町役場調べ）

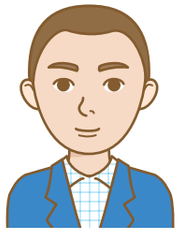
「町に住む外国の人の数も，最近ふえていると教えていただいたわ。」

KOHO — OGUNI
広報おぐに
昭和43年12月15日（月1回発行）
第175号
発行所 山形県西置賜郡小国町役場
編集兼発行人 小国町役場総務課
印刷所 米沢市中央3丁目9-22 羽陽印刷所
広報ごよみ
築かれた21世紀への城
おぐに開発総合センター 町あげて完成祝う
名に恥じない成果を
21世紀への城として築かれたおぐに開発総合センター
祝おぐに開発総合センター落成式典
表彰をうけた人々
（敬称略）
感謝状贈呈者
▷建物設計者 羽田他所夫設計事務所 羽田他所夫（山形市）
▷工事請負者 多田建設株式会社長 多田公人（東京都）
▷土地交渉者 小島西平（岩井沢）
▷土地協力者 岡村慎一郎（岩井沢）
朝雲実成（小坂町），伊藤権太郎（同），安部寿雄（同），須藤貞助（同），佐藤恵弘（小国町），平野幸吉（小坂町），伊藤直二（同），野沢静利（同），渡部忠左衛門（岩井沢），野沢道治（小

「おぐに開発総合センター」ができたころの記事

公共しせつの整備

れい子さんたちは，町役場で働く方に公共しせつの整備についてもインタビューしました。



町では，昭和43年におぐに開発総合センターを建設（けんせつ）しました。その後もみんなのくらしをより良くするために公共しせつが次々と整備（せいび）されました。公共しせつの整備や運えいには町民の皆さんの税金（ぜいきん）が使われているんだよ。

「小国町には他にもどんな公共しせつが，いつごろなんのために整備されたか調べてみたいね。」

はてな？

町の公共（こうきょう）しせつはどのようにつくられ，どんなふうに利用されているのだろうか。

やってみよう

次の公共しせつを調べよう。
●体育館
●スポーツ公園
●あいべ
●温身（ぬくみ）の郷
●横根スキー場

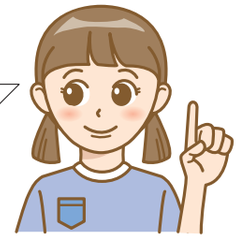
まとめよう

「道具のうつりかわり」「くらしのようす」「町のできごと」を年表にまとめましょう。

『おぐにふるさと文化館　百石』で調べてかいたカードや写真を持ちよって，同じ役わりをする道具をまとめてみたよ。ちがいがよくわかるね。

道具の使い方がだんだんとかんたんになってきているね。べんりになってきたんだなあ。

最近はべんりなだけでなく，かんきょうを考えた道具を使うことも大切だとわかったよ。

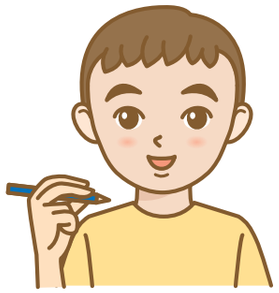


	90～80年前ころ ひいおじいさん・ひいおばあさんが生まれ育ったころ	50～40年前ころ おじいさん・おばあさんが生まれ育ったころ	お父さん・お母さんが生まれ育ったころ	現　在
道具	 長火ばち すみおこし 手をかざしたよ 長火ばち	 まきストーブ まきストーブ へやをあたため 湯もわかす	 石油ファンヒーター すぐ点火 スイッチーつで ぽっかぽか	 ペレットストーブ ペレットで 環境にやさしい だんぼうだ
くらしのようす	●電気せい品が発明されて生活がべんりになってきた。	●パソコンがふきゅうする。	●インターネットやメールで通信が速くなった。	●かんきょうにやさしい道具が使われるようになる。
町のできごと	●電話や鉄道が開通した。 ●小国郷は四つの村にまとまった。	●羽越水害にあった。	●新しい小国町役場が完成する。	●小国小学校新校舎が完成する。

5 わたしたちの県のようす

1　日本の中の山形県

はてな?
わたしたちの県の地形や土地利用，市町村，交通，産業には，どのような特色があるのでしょうか。

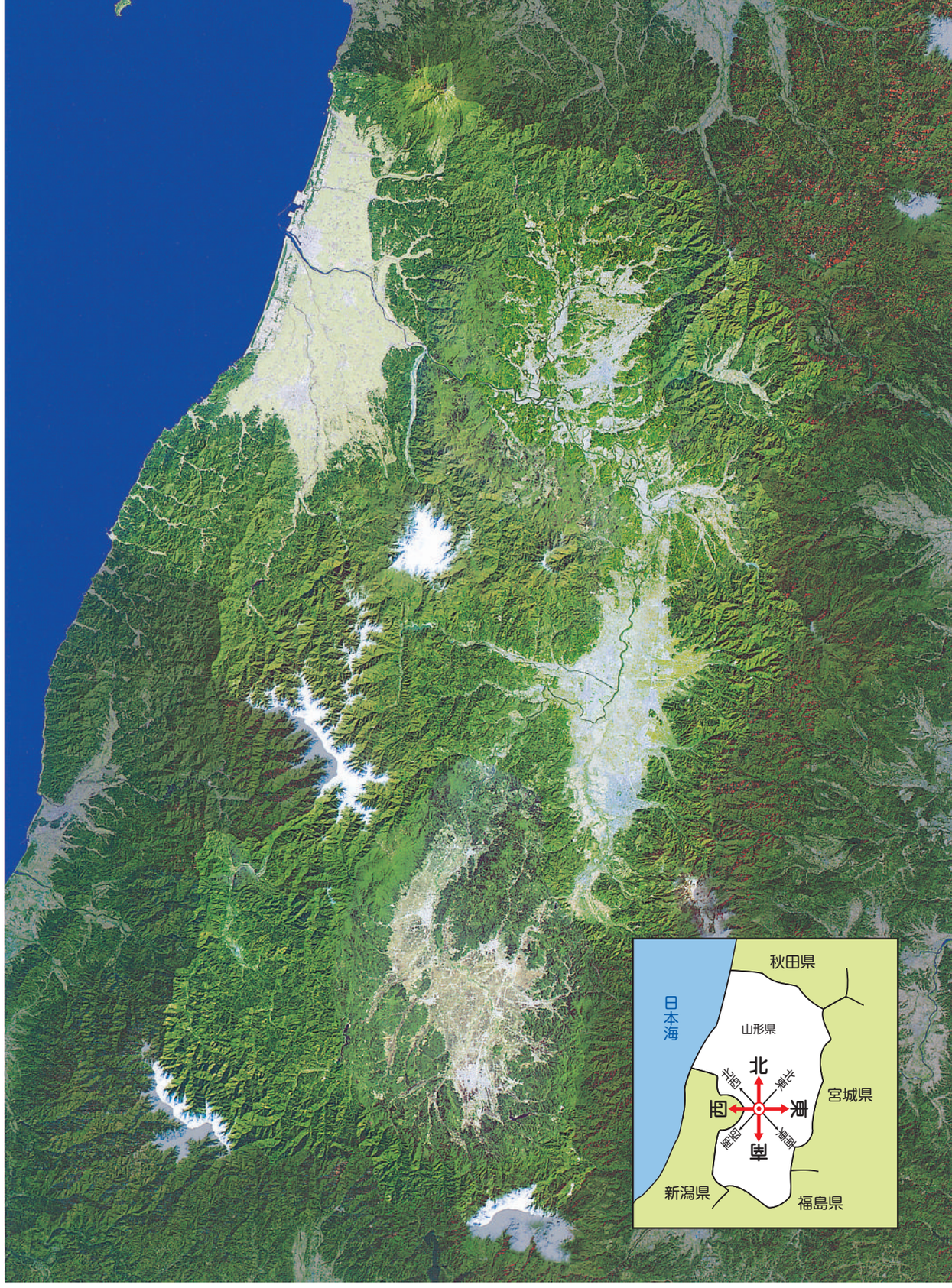


ひろしさんたちは，自分たちの住む山形県について，地図帳を見ながら話し合いました。

「山形県は人の顔の形に似ているね。」
「山形県は，東北地方にあるんだね。」
「山形県の北側には秋田県，東側には宮城県，南側には福島県，西側には新潟県があるわね。」
「ぼくは家族で登山をするために，車で蔵王山へ行ったことがあるよ。」
「山形県には，田んぼが多いと思ったわ。」
「山形県の地図で山形市から見ると，わたしたちの住む小国町は南西にあることがわかるね。」

ひろしさんたちは，山形県について知っていることや，地図帳を見て気づいたことを話し合って，学習問題をつくりました。次に，何をどのように調べるか，学習計画を立てました。

やってみよう
宇宙からの山形県の写真と地図を比べてみよう。



調べよう
山形県のどこに，どのような地形が広がっているか調べよう。

2　山形県の地形

ひろしさんたちは，宇宙からの写真や地図帳を見ながら，県の地形について話し合いました。

「酒田市や山形市，米沢市の周りには，平らな土地が広がっていることがわかるわ。」

「隣（となり）の県との境目には，山が多く見られるわ。」

「山形県のほとんどを最上川がながれていて西側の庄内平野は，日本海に面しているね。」

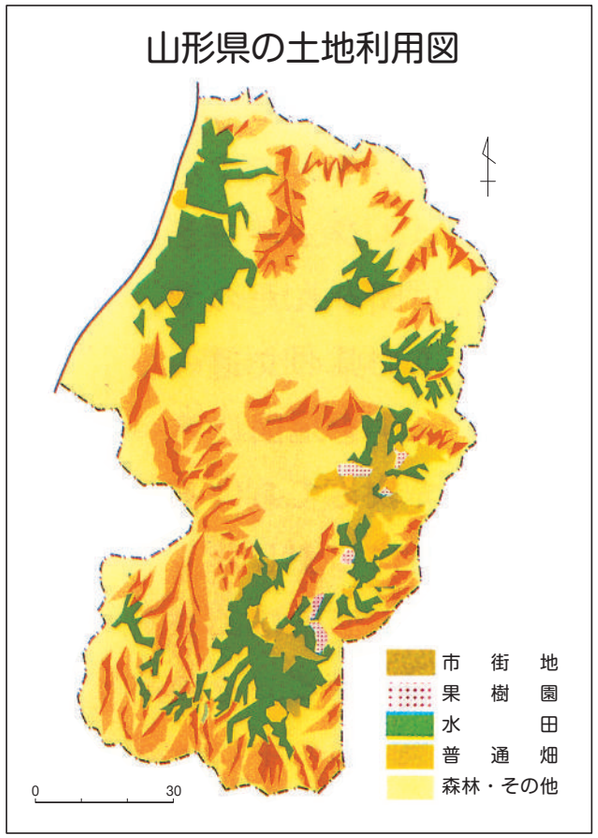
地図を見てみると，色のちがいによって土地の高さや土地利用の様子が表されていることに気づきました。また，県内各地の地形や，町のようすがちがっていることがわかりました。

調べてわかったこと

- 酒田市や鶴岡（つるおか）市の周りには庄内平野が広がっている。また，山形市は山形盆地（ぼんち），米沢市は米沢盆地，新庄（しんじょう）市は新庄盆地の中にある。
- 山形県は，蔵王山（ざおうさん）や鳥海山（ちょうかいさん），飯豊山などの高い山にかこまれている。
- 県の西側には日本海が広がっている。また日本海に向かって最上川が流れている。

3　山形県の土地利用のようす

調べよう
地形によって土地の使われ方は，どのようにちがうのか調べてみよう。
①平野は？
②盆地は？
③山地は？
④市街地はどんなところに？



ひろしさんたちは，山形県の土地利用図や写真などを使って調べ，気づいたことを話し合いました。

「庄内平野や米沢盆地では，米を作るための田が広がっているね。」

「山形盆地や米沢盆地では，果物を作る果じゅ園が広がっているわ。」

「低い土地では，市街地や田・畑が広がっていて，山地は森林でおおわれているんだね。」

「蔵王連峰（れんぽう）には，有名なスキー場があり，とても美しい樹氷（じゅひょう）が見られるそうだよ。」

調べよう
どこに、どのような市町村、地域があるのでしょうか。

4　山形県の市や町、村

ひろしさんたちは，県内の市や町，村について調べ，話し合いました。

「山形県は，庄内地域，最上地域，村山地域，置賜地域の４つの地域に分けられるんだよ。」

山形市の町のようす

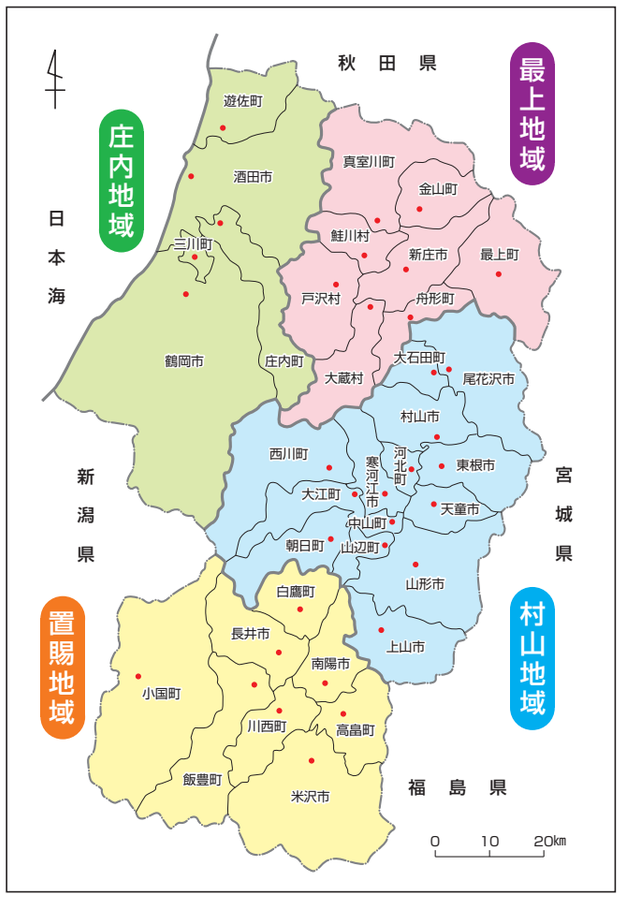
「県庁所在地は山形市で，県の中央にあり，県内で人口が一番多いんだよ。」

「将棋の駒で有名な天童市は，村山地域にあることがわかるね。」

「米沢市は，置賜地域の中で一番人口が多いんだよ。」

「鶴岡市は，山形県の中で一番面積が広いんだよ。」

「最上地域には市や町だけではなく村もあるんだね。」

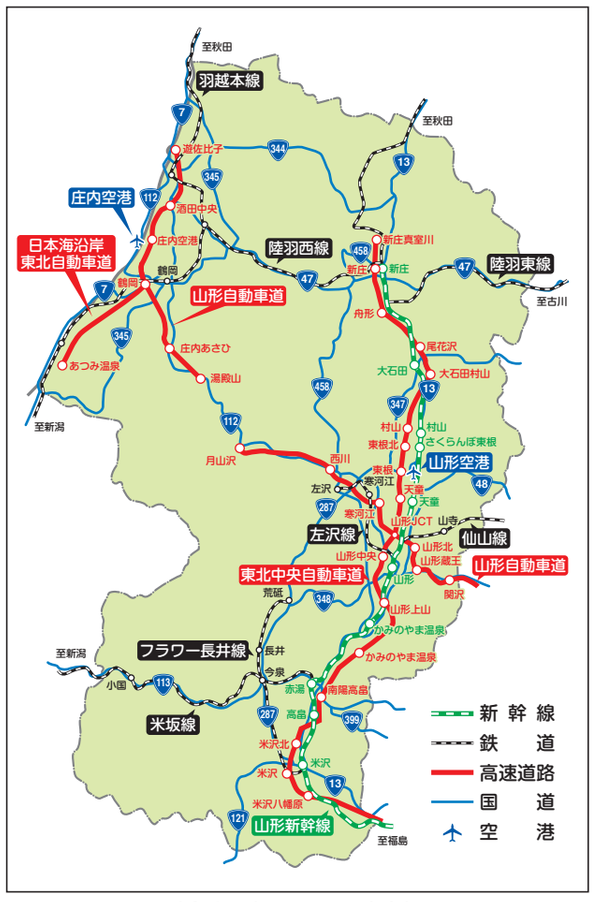


5　山形県の交通

調べよう
県内の交通はどのように広がっているのでしょうか。

ひろしさんたちは，山形県内の交通の広がりを調べ，道路・鉄道・空港・港について，わかったことをまとめました。

山形県は山にかこまれているので，トンネルをつくって道路を通しています。山形自動車道や東北中央自動車道は，となりの県との移動ができる大切な道路です。平成２９年には栗子トンネルが開通し，福島～米沢間は２０分間短くなりました。平成３１年４月には，南陽高畠ＩＣ～山形上山ＩＣ間も開通しています。日本海沿岸東北自動車道も整備が進み，移動がとても便利になってきました。鉄道は，平成４年に，東京から山形までの新幹線が開通し，平成１１年には新庄までのびました。また，山形県には２つの空港があって，東京や大阪，名古屋，札幌と結ばれています。



（令和5年4月1日時点）

調べよう
県内のどのような地域に，どのような産業があるのかを調べよう。

6　山形県の主な産業

ひろしさんたちは，県内の産業を調べて，わかったことを白地図に書きこんでいくことにしました。

米作りがさかんに行われている
庄内平野の水田（庄内地域）

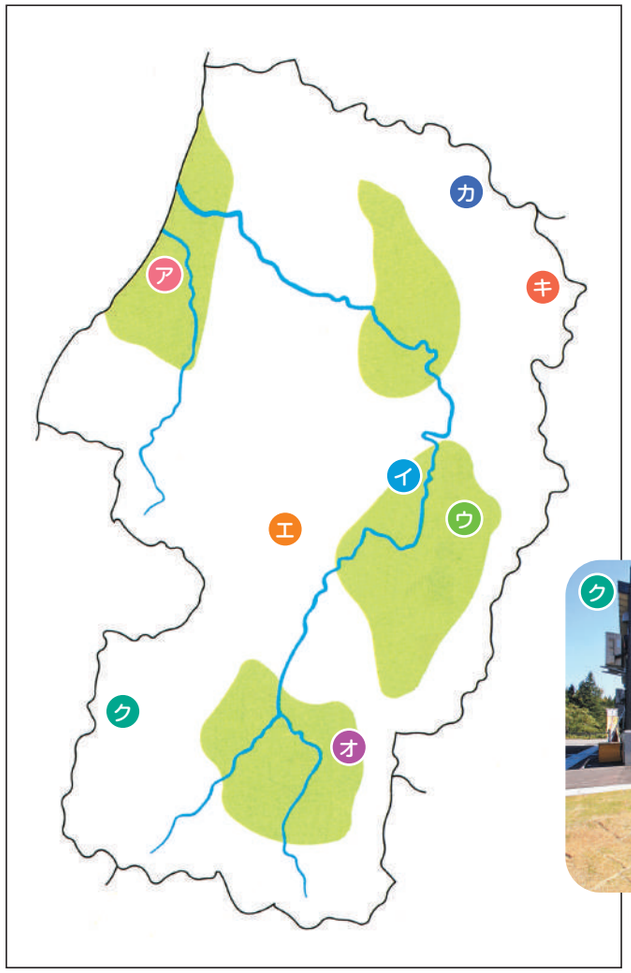
気候をうまく利用している山形盆地の
さくらんぼ園（寒河江市）

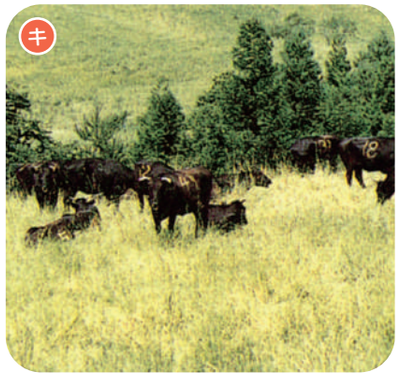
交通の便のよい広い大森工業団地（東根市）

果物を原料にしている工場（西川町）

山のしゃ面を利用して作られている
米沢盆地のぶどう園（南陽市）

大きく育った金山杉（金山町）





山のしゃ面を利用した
放牧（最上町）

山菜等の物産品直売所（小国町）

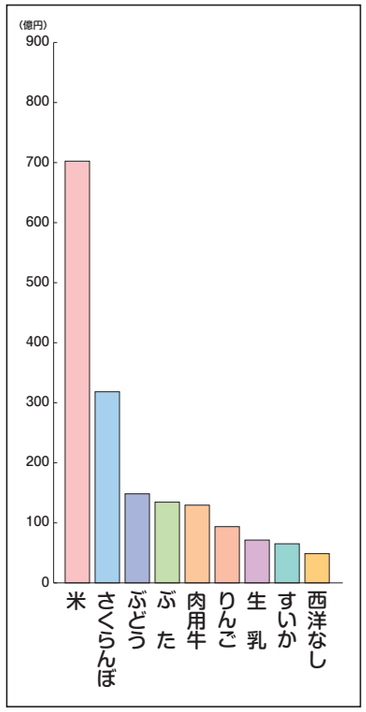
内陸の盆地では，さくらんぼ，西洋なし，りんご，庄内砂丘では，いちごやメロンなどが多く作られているんだよ。

果物だけでなく，庄内平野の米づくりや，ぶた肉，牛肉などの生産も多いんだよ。

山形は果物王国だから，ワインやくだもののかんづめなどの食品工業が盛んなの。

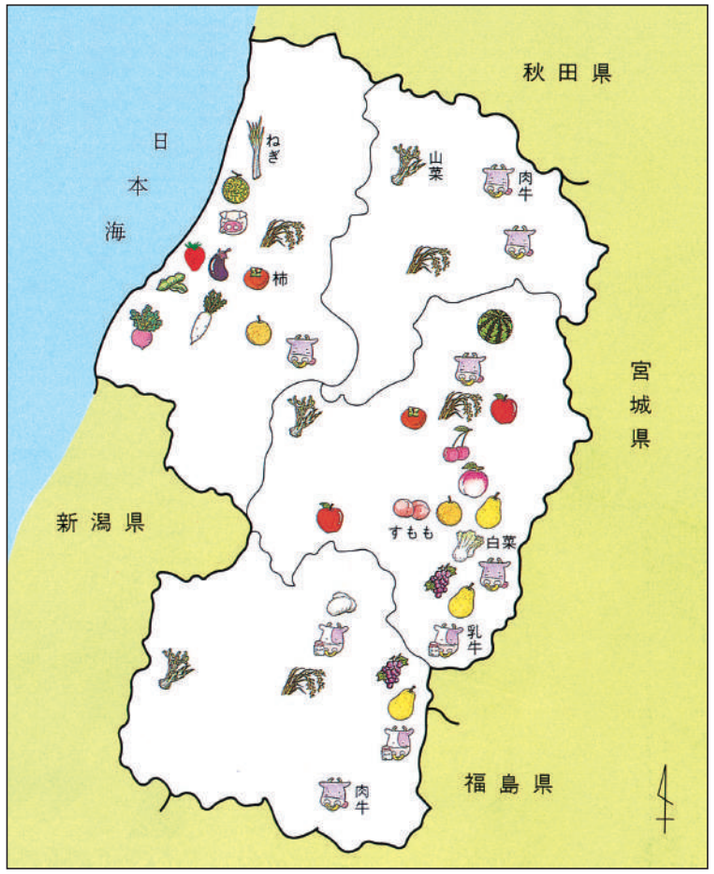
その他，山辺町のじゅうたんやニット，河北町のスリッパなどの町どくとくの工業もあるし，米沢のおりもの，天童の将棋などの昔から伝わる伝統工業も有名なのよ。

山形県の農産物生産高

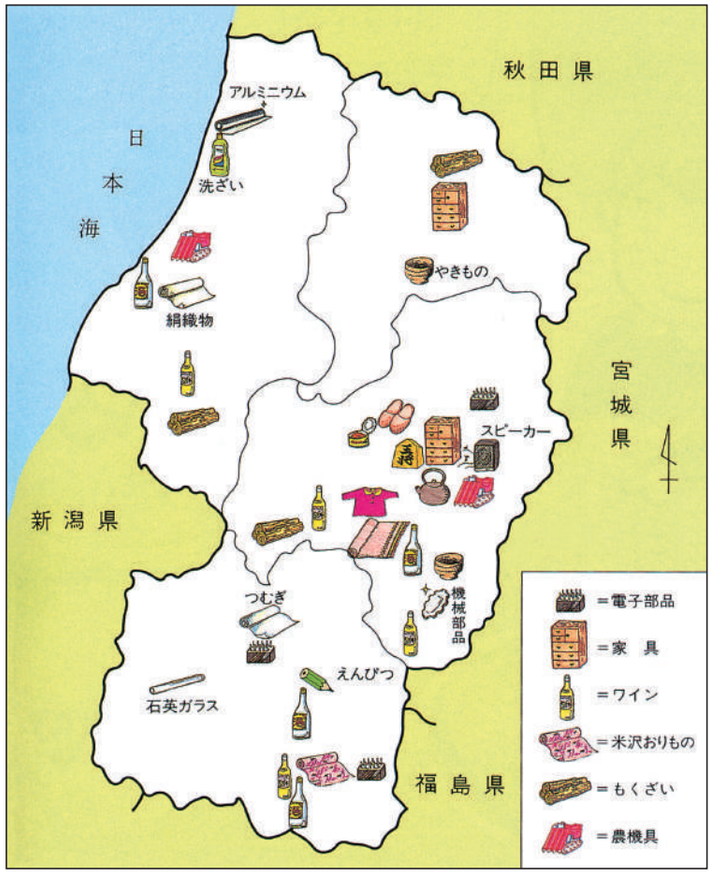


（令和3年 農林水産省生産農業所得統計）

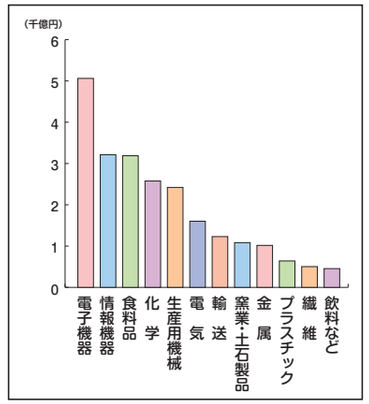
山形県で作られている主な農産物



山形県で作られている工業製品

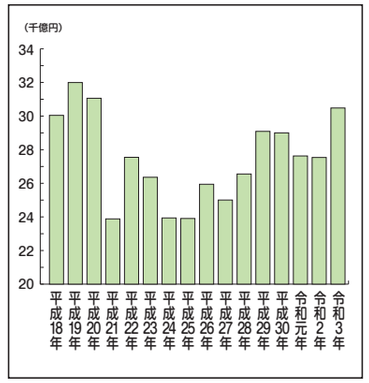


山形県の工業製品の出荷額



（令和4年 山形県の工業統計調査結果）

山形県の工業出荷額の移り変わり



（令和4年 山形県の工業統計調査結果 ）

6 住みよいくらしをつくる

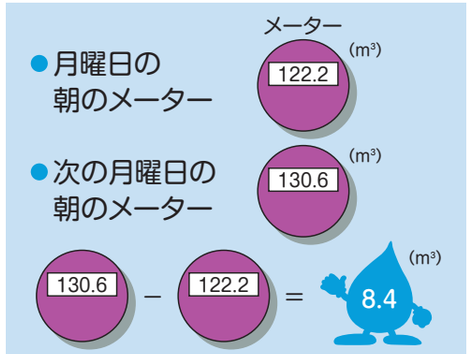
はてな?
わたしたちは，毎日どのくらいの水を使っているのでしょうか。

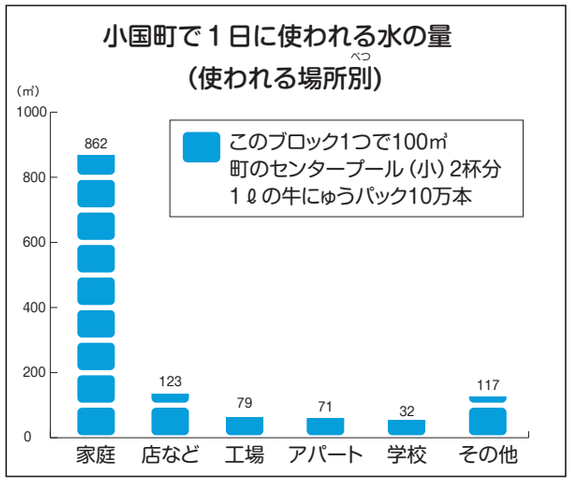
1 水はどこから

(1) わたしたちが使う水の量

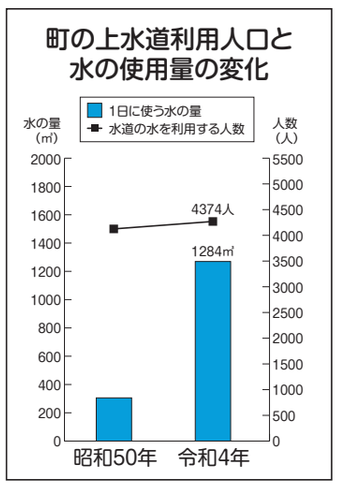
めぐみさんたちは，生活の中で，水をどんな時に使うか話し合い，町で使われる水の量について考えました。

めぐみさんの家（4人家族）



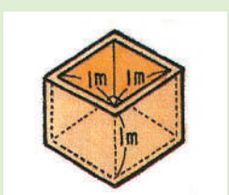


〈令和4年度小国町役場調べ〉



〈令和4年度小国町役場調べ〉

たて，よこ，高さがそれぞれ1mのよう器に入る量を1m³（立方メートル）といいます。1m³で，1リットルの牛にゅうパック，1000本分になります。



(2) 水道をたどっていくと

調べよう
水道の水は，どこから送られてくるのでしょうか。

めぐみさんたちは，自分たちの使っている水がどこからくるのか話し合いました。

「地下水をくみ上げているんじゃないのかな。」

「川の水をもってくるのかな。」

「町外の方が，小国の水はおいしいとおどろいていたよ。」

めぐみさんたちは，役場の地域整備課をたずねてくわしくお聞きすることにしました。

じゃ口

水道管

この先は?

地域整備課の方のお話

上水道の水は，荒川の地下にしみこんだ水をくみ上げて使っています。みなさんが安心して水を飲めるように，くみ上げた水は，水源地やじょう水場できれいにし，配水池から配水管を通してみなさんの家のじゃ口までとどけています。

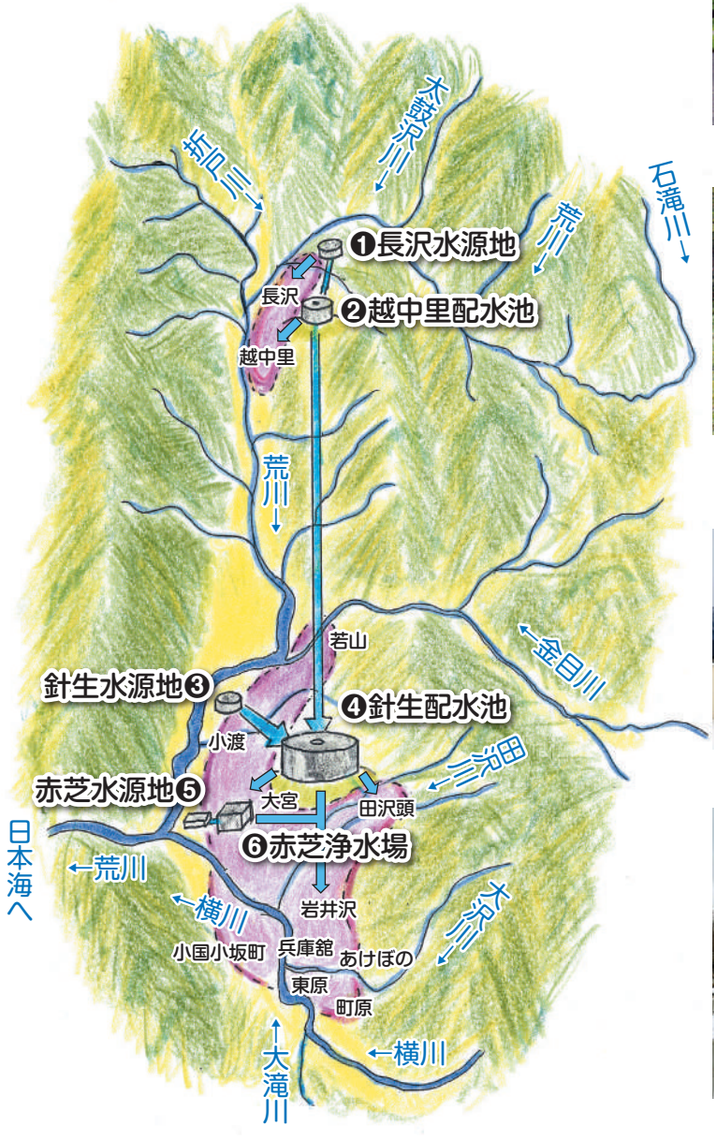
上水道の水は，中央地区を中心にとどけていますが，降水量がへり，水の使用量がふえる夏は水不足がしんぱいです。

他の地区では，かんい水道を使ったり，井戸水やわき水をくみ上げたりしています。

小国町では，上水道の水を使っているところと，井戸水やわき水を使っているところがあることがわかりました。

めぐみさんたちは，上水道についてくわしく調べることにしました。

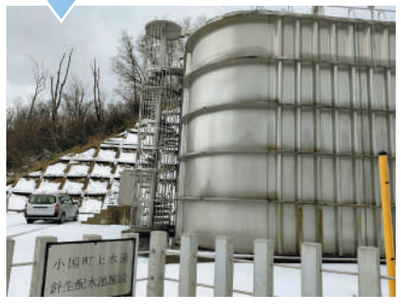
上水道の水源地から家庭までの水の流れ



❶長沢水源地

❷越中里配水池

❸針生水源地


❹針生配水池

❺赤芝水源地

❻赤芝浄水場

調べよう

水はどこで，どのようにしてきれいになるのでしょうか。

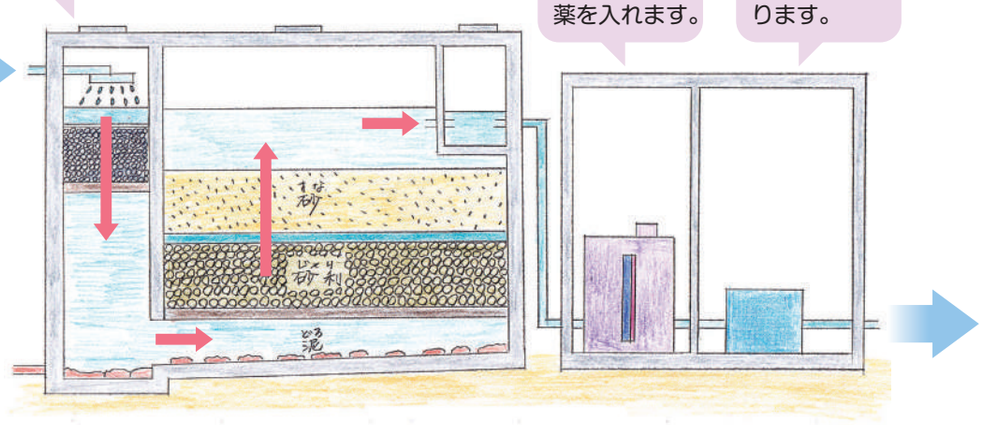
(3) じょう水場を調べよう

荒川でくみ上げられた水は，水源地やじょう水場に送られ，きれいな水になります。めぐみさんたちは，赤芝じょう水場を見学させてもらうことにしました。

赤芝水源地から送られてきた水をろかして，ごみなどの汚れをとり除きます。

きれいにした水に消どく薬を入れます。

水をポンプで各家庭に送ります。



じょう水場をかん理している方の話

小国町では，荒川の地下にしみこんだ水をくみ上げて使っているので，水はきれいです。そのため，長沢水源地や針生水源地では，薬を入れるだけで飲める水になります。また，赤芝じょう水場では，川からくみ上げた水をろかして小さなごみなどをとりのぞき，消どく薬を入れてきれいにしています。どちらも安全に飲める水かどうか水質検査をしてから家庭へ送っています。

きれいな水を手に入れるためには，これからも森や川をみんなで大切に守っていかなければなりません。

水がきれいになったか，検査をしているんだね。

わたしたちが安心して飲めるように働いてくださっているのね。

調べよう
じょう水場の水はどこから来ているのでしょう。

森林が雨をたくわえるしくみ

(4) じょう水場の先を調べよう

水をくみ上げている荒川の先もたどってみました。

地図で調べると，川の両側には高い山があり，たくさんの木がしげっています。わたしたちの小国町では，土地のほとんどが森林でおおわれています。

先生が，「この広い森林が『緑のダム』ともよばれている水げんの森です。」と，おっしゃいました。それは，ふった雨水をダムのようにたくわえ，少しずつ流すはたらきをしているからです。

先生はまた，「小国町には，たくさんの雪がふりますが，雪も大切な水げんで，『白いダム』とよばれています。」と，教えてくださいました。

めぐみさんたちは，使っている水のもとが，雨や雪であることをたしかめました。

緑のダムや白いダムを守る取り組みをしています

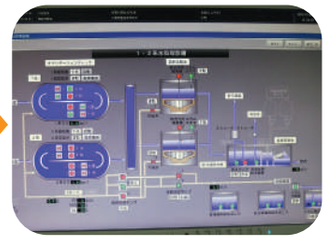
(5) 大切な水をくり返し使う工夫

調べよう
わたしたちが家や学校でつかった水は，どこにいくのでしょうか。

家庭や学校などで使ってよごれた水は，下水道管を通って集められ，小国浄化(じょうか)センターできれいにしてから川へ放流しています。

①下水道管工事のようす

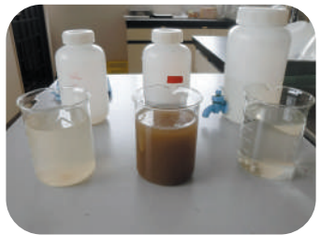
②小国浄化センター


③コンピュータで機械を制ぎょ

④薬ざいをまぜるせつび

⑤ちんでん物をかきよせるそうち

⑥ちんでんしょりを行う水そう


⑦右がしょりした水

⑧しょりした水を川へ放流

地球上の水にはかぎりがあります。その大切な水を，地球上のみんなで分け合い再利用しながら使うのです。

水の使用量をへらすことは，下水しょりに使う電力をへらすことにもつながるね。
荒川下流のみなさんのためにも，すべきことがあるね。

考えよう
大切な水を使い続けるために，どんなことができるでしょうか。

(7)　わたしたちができること

めぐみさんたちは，安全でおいしい水が，多くの人々の努力と協力によって守られていることを知り、自分たちにできることを話し合いました。

そして、考えたことを，荒川下流に住む４年生にテレビ電話で伝えました。

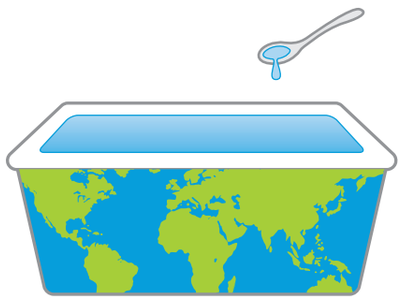
小国町では毎年7月の第一日曜日に町民みんなで「河川清そう」をしているよ。ぼくの家族も参加しているよ。

地図で荒川をたどったら，荒川の水は日本海に注ぐことがわかったよ。
川や海の生物を守るためにも節電のためにも，工夫できることがありそうだよ。

学習のまとめ

水がわたしたちのもとに送られてくるまでの流れと，それぞれが果たしている役割を図にまとめましょう。

また，かぎりある資源である「水」を大切にするため，各家庭が果たす役割を考えて「わが家ルール」を家族にていあんしましょう。



地球全体の水の量を浴そう１ぱい分とすると，人間が生活に使える川や湖沼・地下水などの真水はスプーン１ぱい分（約0.02%）しかありません。

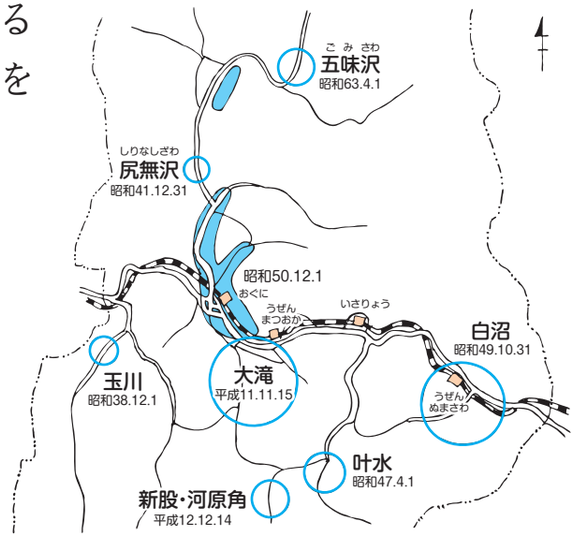
いらない新聞紙で食器のよごれをふいてから洗うと，水をよごさないし節水にもなるんだって。

★資　料

町の水道の広がりとかんい水道組合

みなさんがすんでいる地区の水道のようすをたしかめましょう。

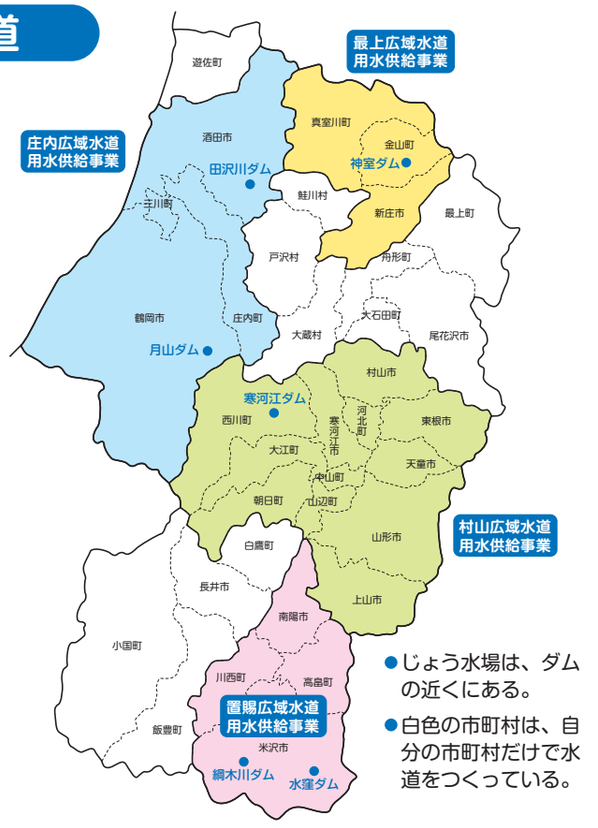
小国町上水道
かんい水道
五味沢
尻無沢
白　沼
叶　水
大　滝
玉　川
新股･河原角



山形県の広いき水道

これまでは市町村ごとに水道をつくってきましたが，水の使用量がふえたために，水不足の心配が出てきました。

そこで，国や県，近くの市町村と協力して，新しくダムやじょう水場をつくることにしました。これを広いき水道といいます。



●じょう水場は、ダムの近くにある。
●白色の市町村は、自分の市町村だけで水道をつくっている。

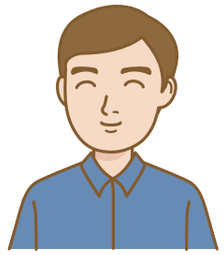
2　ごみのしょりと利用

はてな？
　ごみを分けるのはなぜでしょう。ごみはどこに行くのでしょうか。

調べよう
　学校や家では，どのようにごみをしょりしているのでしょうか。

(1)　ごみのしょりは

　まさみさんたちの学校では，ごみを分けて集めています。どうして分けて集めているのか，また集められたごみはどこへ行くのか，用務員の先生に聞いてみました。



　以前は，もやせるごみは学校の「しょうきゃくろ」でもやしていました。しかし，そうすると体にわるいダイオキシンというものが出るということがわかり，学校や家ではごみをもやしてはいけないことになったのです。
　今では，町でごみのしょりのしかたが決められ，ごみしゅう集車が来て，ほとんどのごみをもっていってくれます。

　まさみさんは，家の台所にはってある紙を見つけました。
　そして，きめられた日の朝，ごみぶくろを持ってごみステーションに行ってみました。たくさんのごみが集められているのを見て，こんなにたくさんのごみをどうするのか，知りたくなりました。

調べよう
　毎日出るごみは，どのように集められるのでしょうか。

リサイクルマーク
　しげんとなるものを分別し，再利用するためにつけられたマーク。

(2)　ごみステーションのようす

　まさみさんは，ごみステーションに集められたごみをどうするのか，しゅう集係の方にたずねました。

しゅう集係の方の話

　このごみは，明沢（みょうざわ）にある長井クリーンセンター小国中継（ちゅうけい）しせつに運びます。毎日たくさんのごみが各家庭から出されるので，手ぎわよく仕事をしています。この仕事をする人がいないと町がごみであふれてしまうので，きれいな町を守っているというほこりをもってはたらいています。
　残念なのは，水分をたくさんふくんだままふくろに入れるなどマナーを知らない人がいることです。竹ぐしなどであぶない思いをしたこともあります。
　ごみは，もやせるごみ，もやせないごみ，しげんごみなど，それぞれしょり方法がちがうので，ごみの分け方や出し方のきまりをしっかり守り，きちんと分別して出してください。

　まさみさんは，長井クリーンセンター小国中継（ちゅうけい）しせつに運ばれたごみがどうなるのか，知りたくなりました。

調べよう
分別したごみは，どこへどのように運ばれるのでしょうか。

(3) 小国中継しせつを見学しよう

まさみさんたちは，長井クリーンセンター小国中継しせつに行き，お話をお聞きしました。

ごみステーションから集められたごみがコンテナに入れられ，高畠町や長井市に運ばれていく様子を見学しました。

長井クリーンセンター小国中継しせつの方のお話

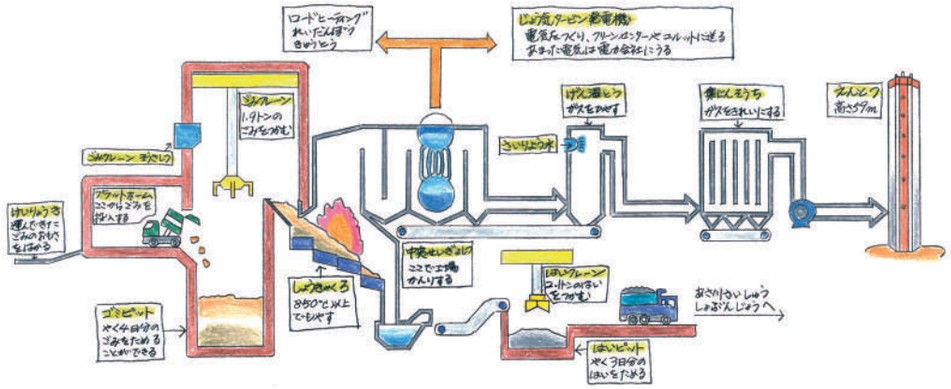
小国町では，置賜地区の米沢市，南陽市，長井市の3市，飯豊町，白鷹町，川西町，高畠町の4町と共同でごみのしょりをしています。町内のごみステーションから集められたごみは，いったん明沢にある長井クリーンセンター小国中継しせつに運ばれ，さらにそこでごみを分別してコンテナに入れ，もえないごみやそ大ごみは長井市にある長井クリーンセンターに運び，もえるごみとペットボトルやプラスチックは，高畠町にある千代田クリーンセンターに運ばれます。

「遠くの市や町まで運んでしょりしているなんて知らなかったわ。」
「どんなふうにしょりしているのか見てみたいな。」

(4) クリーンセンターを見学しよう

調べよう
クリーンセンターでは，ごみをどのようにしょりしているのでしょうか。

まさみさんたちは，小国町のごみをしょりしている，高畠町にある千代田クリーンセンターを見学しました。



千代田クリーンセンターの方の話

このクリーンセンターには，置賜地区の8つの市や町からごみが運ばれてきます。850度以上の高い温度でもやすことができるので，ダイオキシンは出ません。また，その他の有害なガスやよごれた水，においやほこりなどが出ますが，これらを防ぐせつびがくふうされています。

でも，毎日ものすごい量のごみが集まります。そこで，リサイクルプラザをつくって，再利用できる物は再利用し，ごみをへらす努力もしています。

まさみさんたちは，ごみをもやした後について聞いてみました。

ごみをもやしたときに出る熱で電気をつくり，クリーンセンターやユルットで利用しています。さらにあまった電気は電力会社に売っています。

置賜スポーツ交流プラザ「ユルット」

ここから出たはいは，浅川（あさかわ）のさいしゅうしょぶん場にうめられます。うめたあとには公園をつくって，サッカーや野きゅうができるグランドやみんながふれあえる広場をつくっています。

ただし，うめたてる場所もやがていっぱいになります。ですから，何よりも大切なのはごみをへらすことです。

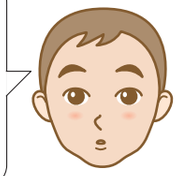
(5)　ごみをへらそう

調べよう

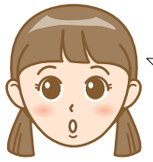
ごみをへらすために，町や町内の店，工場ではどんな取り組みをしているでしょうか。

SDGs（エス・ディー・ジーズ）とは?

2030年までに持続可能でよりよい世界をめざすという国際目標。17のゴールからなっている。



千代田クリーンセンターのリサイクルプラザでは，リサイクルできるプラスチックとそうでないものを，手作業で分けていたね。
ぼくは，みなさんのためにも正しく分別しようと思ったよ。



うちでは，水筒を使うようにして，プラスチックを使わないように，「リユース」を心がけているよ。
小国町ではどのような取り組みをしているのかな。

小国町では，「第5次小国町総合計画　基本計画」を立て，「豊かな自然の保全と，共生のまちづくり（SDGsの推進）」や「地いきの価値を高める再生可能エネルギーのふきゅう拡大と資源の利活用」を進めます。
町の人や会社，学校などがいっしょになって，白い森の魅力をみがく「環境」づくりをめざします。

小国町衛生組合では，生ごみをたいひにするコンポスターを買うときにほじょ金をだしています。

町内にコンテナをおいて空きかんを集めているボランティア団体では，集めてえたお金を，ふくし団体や老人ホームにきふしています。

日本重化学工業株式会社は本田技研工業株式会社とともに，平成30年度，リチウムイオン電池のリサイクル開発で「資源循環技術・システム表彰」を受けました（全国で2社。日本重化学工業は3年連続）。地球環境を守るため，かぎりあるしげんを日本国内で循環させていこうという最先たんの取り組みが，全国的に高くひょうかされています。
リチウムイオン電池は，電気自動車に使われ始めています。新しい分野なので，今はまだ国ではリサイクルの対しょうにはなっていません。しかし，近いしょう来開発が進み，リサイクルの対しょうとなるでしょう。
日本重化学工業は，世界に先がけて，リサイクルできるリチウムイオン電池の開発に取り組んでいます。

(6)　町づくりについて考えよう

考えよう

これからもくらしやすい社会を続けるためにできることを考えましょう。

まさみさんたちは，これまでの学習を生かし，ごみとこれからの社会について考え，どんなことができるのか話し合いました。

ごみを分別するのはいいけど，しょりにお金がかかりすぎるのは問題だね。

ごみの量をへらすために，一人一人がどうすればいいのかしら。

うめたてしょぶん場だって，そのうちいっぱいになってしまうよ。

わたしのお母さんは，つめかえようのせんざいを買うけど，これっていいことなんじゃない。

『もったいない。』という言葉が，外国でも広がっているんだって。物買うときに，本当に必要か考えないとね。

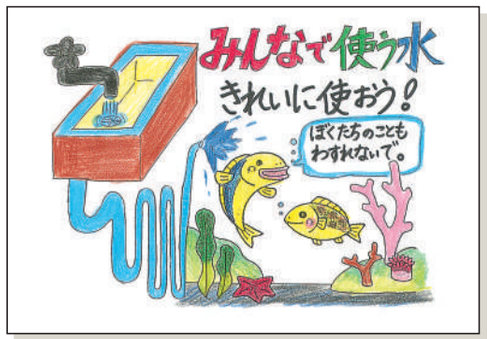
学習のまとめ

ポスターをつくって発表しよう

◆伝えたいことを話し合おう。

◆ポスターを見せ合おう。

友だちのポスターを見た感想を発表しよう。



7 きょう土の伝統文化と先人たち

1　残したいもの　伝えたいもの

調べよう
県内にある昔から残るものには，どのような願いがこめられ，どのように受けつがれてきたのだろう。

文化財
昔から伝わる文化として，ねうちのある物。

郷土芸能
地域に古くからあった芸術や技能。

山形県には，歴史ある建物や祭り，郷土芸能がいろいろ伝わっています。

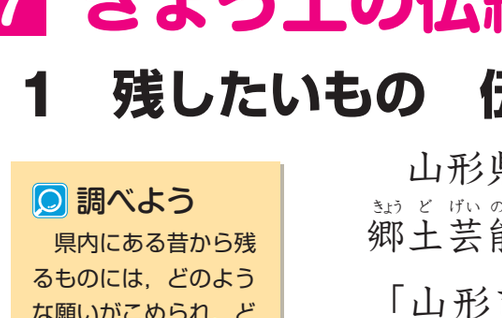
「山形市の文翔館は重要文化財になっているそうだよ。」

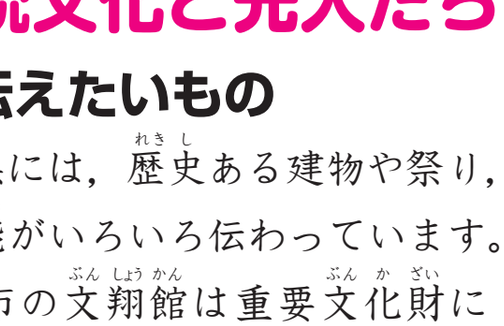
「長井市の黒獅子の獅子舞は１０００年以上も続いているそうだよ。」

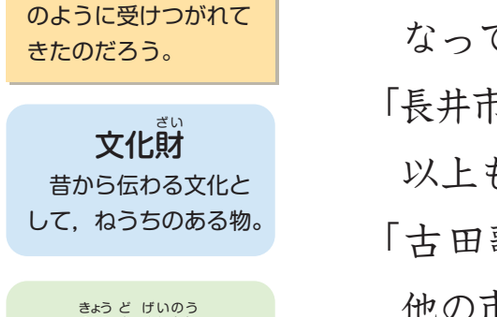
「古田歌舞伎のような郷土芸能が，他の市町村にもあるらしいよ。」

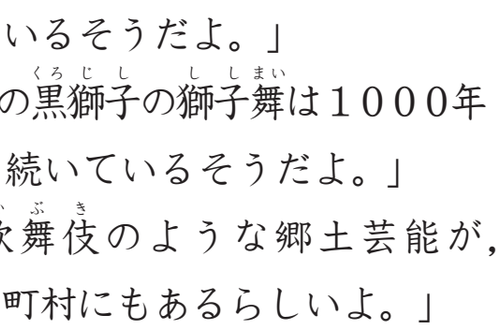
県内にある昔から受けつがれてきたものを調べてみましょう。

歴史ある建物


①文翔館（山形市）
正式名は山形県旧県庁舎及び県会議事堂


②山居倉庫（酒田市）


③旧有路家住宅（最上町）


④上杉神社（米沢市）

祭り・伝統行事

⑤加勢鳥（上山市）

⑥アマハゲ（遊佐町）

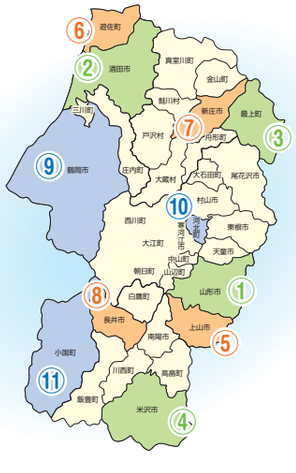
⑦新庄まつり（新庄市）

⑧黒獅子舞い（長井市）

郷土芸能

⑨黒川能（鶴岡市）

⑩林家舞楽（河北町）



⑪古田歌舞伎（小国町）

古田歌舞伎定期公演のようす

はてな？
町内に伝わる「古田歌舞伎」は，どのように受けつがれてきたのでしょうか。

(1) 古田歌舞伎

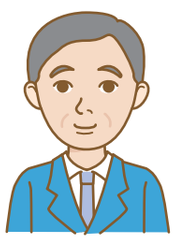
かおりさんたちは，町内の「古田歌舞伎」が昔から続いていることに興味をもちました。

「お客さんがたくさんいるね。」

「無形民俗文化財と書いてあるよ。」

「いつから続けられてきたのかな。」

町の文化財担当の方のお話



江戸時代の終わりごろ，古田の地に歌舞伎が伝えられ，若者数人で始めたことがきっかけとされています。昭和の戦争の時代など公演が一時とだえたこともありましたが，昭和61年には「古田歌舞伎」と名を改め，保存会が結成されて，28年ぶりに再開しました。

古田歌舞伎は，平成4年に町の文化財民俗芸能に指定されています。置賜地域では今に残るめずらしい歌舞伎なので，今後も続けられるよう方法を考えていきたいものです。

演目「白波五人男」

演目「魚屋宗五郎」

調べよう
昔から続く伝統芸能には，どのような願いがこめられているのでしょうか。

「２００年以上うけつがれてきたんだね。」

「わたしの家族は，毎年秋の公演を楽しみにしているよ。」

「ぼくのいとこは，小学生のときに演じたことがあるそうだよ。」

「衣しょうや大道具も作っているのかな。」

「どのようにして守り伝えられてきたのか，話を聞いてみたいな。」

かおりさんたちは，古田歌舞伎のことをさらに調べるために，調べたいことを表にして，古田歌舞伎伝承館をたずねることにしました。

古田歌舞伎伝承館

調べること	古田歌舞伎
始まり	
これまでのできごと	
どんな思いで受けついでいるか	
守り伝えたり，さらに広めたりする工夫	
自分たちにできること	

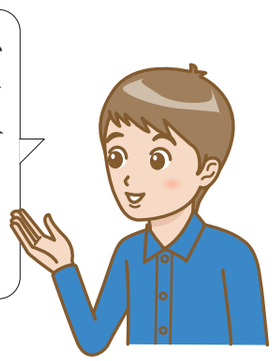
古田歌舞伎保存会の方のお話

一時とだえてしまった古田歌舞伎ですが，いろんな人たちに助けられ，ふたたび公演できるようになりました。

毎年10月に行われる定期公演では，県内外の人々に古田歌舞伎を楽しんでもらい，大きなはくしゅを受けています。「役者」「下座」「着付け・化粧」など一人一人が役わりをもち，みんなで一つのものをつくる喜びや，集う楽しさが，人と人のつながりをさらに強めています。

古田歌舞伎は，先祖代々受けついできた古田地区のほこりであり，これからも小国町のたからとしてつないでいただきたいものです。

古田歌舞伎伝承館でのけいこのようす



古田歌舞伎年表

約130年前　約100年前

江戸終わりごろ	明治20年	大正14年	昭和12年	20年	61年	令和元年
●若者数名「古田芝居」として上演	●江戸歌舞伎一座の尾上竹三郎が、歌舞伎芸、浄瑠璃、三味線、太鼓を指導。周辺各地で公演を開始	●「古川一座」を結成。村外まで旅興行を行う。村内公演は一年に三～六回	●「電興」の落成に公演	●戦争のため中断	●ふっこう。「古田歌舞伎」と名を改める。	●「沖庭小学校歌舞伎」始まる。 ●四演目の公演を行う。

(2)　地いきに伝わる年中行事

調べよう

古くから伝わる年中行事には，どのような願いがあるのだろう。

かおりさんたちは，地いきに古くから伝わる年中行事についても調べてみました。

みなさんも，おじいさんやおばあさん，近所の方々にインタビューをして，さまざまな年中行事とそこにこめられた願いについて下の表などにまとめましょう。

1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
さいずやき									古田歌舞伎		

地いきに伝わる年中行事

⑵　小国れきしたんけんたい

古田歌舞伎以外にも，れきしあるたて物や，昔から続いている行事や祭り，古くからつたわる芸能などについても調べてみましょう。

大宮神社

熊まつり

黒沢峠

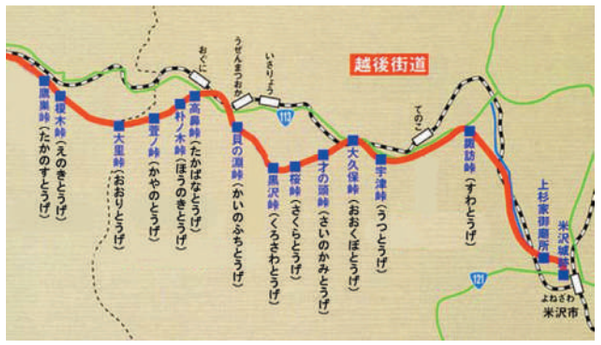
舟渡ししおどり

白子沢ししまい

さいず焼き

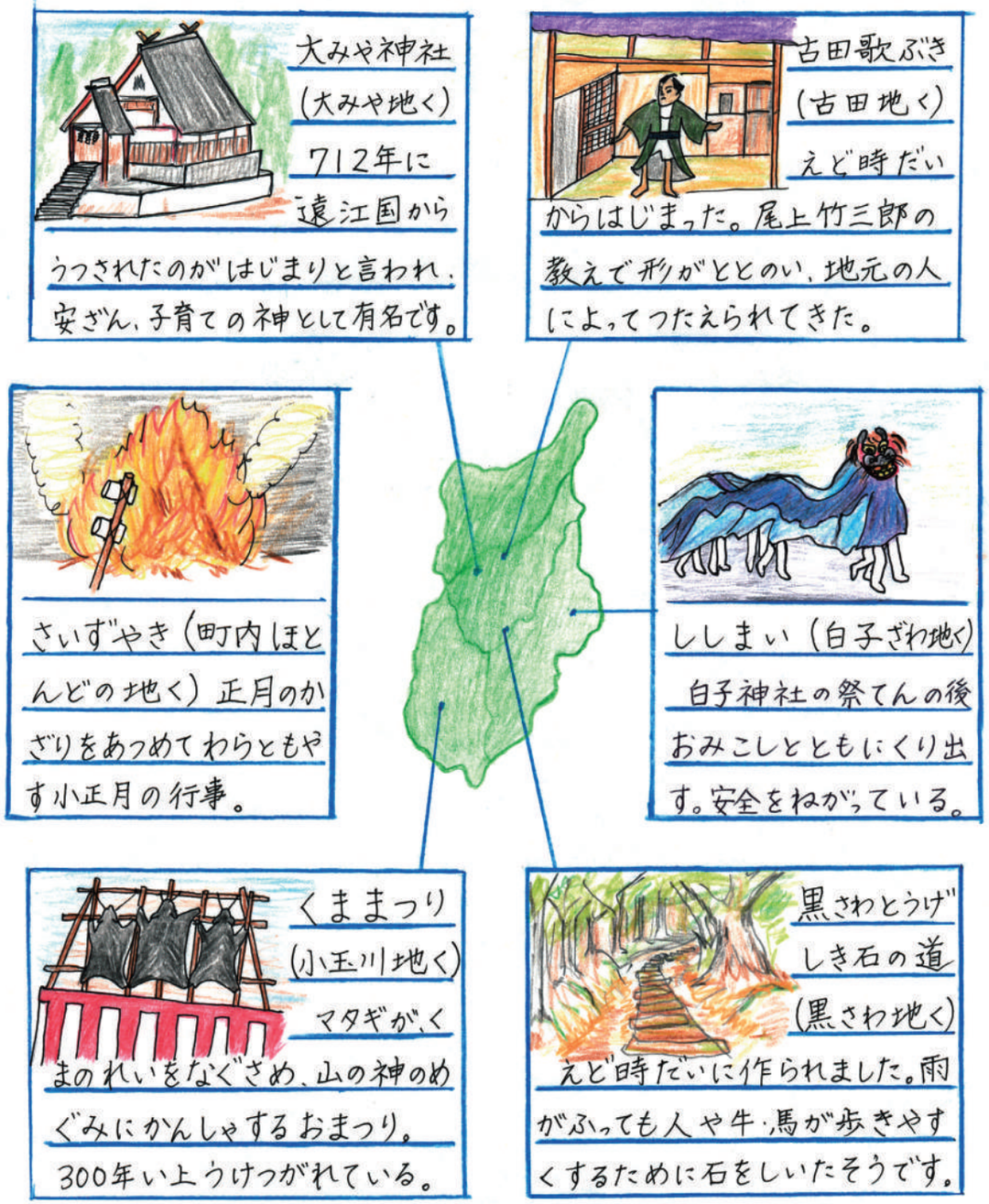
小国町のれきしをきざむ道
～越後米沢街道・十三峠～

越後米沢街道は，越後地方と置賜地方を結ぶ道として、約500年前に作られました。後世にのこすために，地いきの人がほぞん活動を行っています。



学習のまとめ

れきしマップ



下林開こん記念ひ

増岡（ますおか）の開こん記念ひ

はてな？
水田の水は，どこから流れてくるのでしょうか？

調べよう
近くの用水路をたんけんしてみましょう。

2　用水を開いた人々

(1)　用水たんけん

沖庭地区から，中央地区にかけて，広い水田が広がっています。しかし，水田の西側を流れる荒川は，がけの下を流れていて，とても田に水を引けそうにありません。

「この広い水田に入る水は，どこから流れてくるのかな？」

わたしたちは，水田のわきを流れている用水路をたんけんすることにしました。

用水路をたどっていくと，東側の山のふもとの大きな用水路から分かれて流れてきていました。

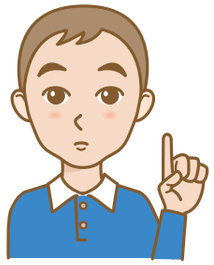
そして，近くには「開こん記念ひ」がありました。わたしたちは，近くで畑仕事をしていたおばあさんに，この記念ひについてたずねてみました。

近くのおばあさんの話

この記念ひは，ずいぶん古くからたっていて，何年にたてられたのかもわからなくなってしまった。ちょうど，わきを流れている「井の下堰（ぜき）」から用水路ができたことを記念してたてられたものだよ。この用水のおかげで，水がなくて田んぼがつくられなかったこの辺（あた）りでも，たくさん米がとれるようになったんだよ。

調べよう

用水路は，どこを流れ，どんなことに利用されているのか，たんけんしてみましょう。



(2)　井の下堰

わたしたちは，おばあさんから聞いた「井の下堰」について，もっとくわしく調べることにしました。

用水路をかんりしている方にお願いして，水の取り入れ口を見せてもらい，話を聞きました。

井の下堰の取水口

川を横切る水路（樋）

おじさんの話

この取水口は，昭和54年に完成しました。全長が26メートル，高さがおよそ17メートルあります。水を取り入れる門は，電動式になっています。

ここから取り入れた水は用水路を流れ，若山，舘，釘生，新屋敷，小渡，団子山，下林，大宮，増岡地区の194ヘクタールの水田で使われています。また，防火用水，ざつ用水としても使われています。

井の下堰かんがい地図と記念碑

調べよう
人々のどんな願いで，井の下堰はつくられたのでしょうか。

「代官」
江戸時代，各地方の土地を支配した役人。

(3) 井の下堰の歴史

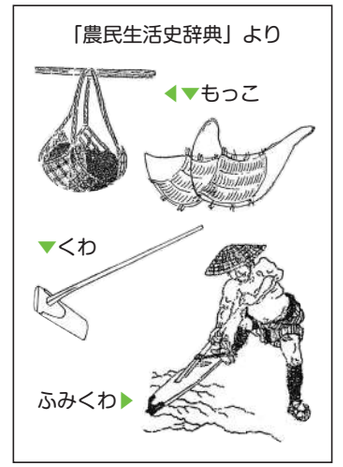
今から４００年ほど前，上杉景勝が置賜地方をおさめるようになり，さかんに水田が開発されるようになりました。当時，代官として小国にきた笹生源右エ門とその子笹生久兵衛は，横川と荒川の合流地点で，平地が広がっている団子山付近の土地に目をつけました。しかし，川に対し土地が高い所にあるため，水田を開くには，水を引いてくる必要がありました。

そこで，金目川に水をたくわえる小さなダム（堰）を作り，そこから金目川にそって山田ー大河内ー舟場と下り，舘付近で貝少川にも堰をつくり，その水を合わせて原田ー大宮ー湯花までの６キロメートルにおよぶ，水路（用水堀）を完成させました。これを，増岡堀（後に井の下堰）といいます。

この完成によって，広い地域がみごとな水田となり，人々も移り住むようになりました。この功績により，久兵衛はとの様からほうびとして，町原，小渡などの土地をいただいています。

笹生代官屋敷あと

用水工事のようすと使われた道具



むかしの工事用具

現在，小国町の地名に，増岡，松岡，泉岡といった「岡」がつく地名や，「原」のつく地名がありますが，これらも久兵衛の努力によって開かれたところです。

久兵衛が住んでいた屋敷あとは増岡にあり，現在は公園になっています。

やってみよう
井の下堰年表をつくってみましょう。見学した代官屋敷や記念ひがいつごろつくられたか下の年表に書き込みましょう。

井の下堰年表

1600	1700	1800	1900		2000	
江戸時代			明治時代	大正	昭和時代	平成	令和

調べよう
江戸時代につくられた増岡堀は，どのようにかわってきたのでしょうか。

はてな？
人々の堰と用水路をつくる努力は，どの記念ひからわかるのでしょうか。

「開墾（かいこん）」
荒れ地を田畑に作りかえて，作物を作れるようにすること。

(4) 新たなねがい

久兵衛がつくった増岡堀は長年使われていましたが，水田がますます広がっていくとともに，水が足りなくなってきました。

「もっとたくさんの水があれば，さらに水田を広げ，たくさんの米がとれるようになるのだが……。」

こんな声が村人から聞かれるようになりました。

そこで，村人たちは何度も堰や用水路をつくりなおし，十分な水が流れるように努力してきました。

しかし，江戸時代には，土地の高さを測るための道具などありませんでした。水がうまく流れるようにするには，土地の高さを測ることが，とても大切なことだったのです。

ちょうちんで高さをはかる

そこで，人々は，夜，あたりが暗くなってから，たくさんのちょうちんを堀にそってつけて，反対側の山の上から高さを測りました。そして，そのあかりをたよりにして，元の堀の高さを調べ，また，新しい水の取り入れ口も調べました。このような努力が実を結び，今の下林（したばやし）のあたりの広い土地が開墾（かいこん）され，水田も広がり人々のくらしも豊かになっていきました。

しかし，この堰と堀は，たびたび洪水（こうずい）で流されたり，こわれたりしてしまいました。そこで，大正３年（今からおよそ１００年前），村人達は下林地区の小関熊之助（くまのすけ）を中心として，さらに大きくてがんじょうな堰と堀をつくることにしました。ダイナマイトでかたい岩をくずし，コンクリートでかためて，じょうぶな堀が完成しました。

村人たちは，この工事を指導して下さった西置賜郡長（ぐんちょう）井ノ下民雄（いのしたたみお）の名にちなんで，この堰を井の下堰と名づけました。こうしてできあがったのが，井の下堰です。熊之助たちの努力により，さらに水田が広がり，たくさんの米ができるようになりました。その後，何度か作り直されて，井の下堰は，今も多くの水田をうるおしています。

「西置賜郡長」……西置賜郡の政治（せいじ）の責任者（せきにんしゃ）

井の下堰年表

1598年	上杉景勝が置賜地方をおさめるようになる。
1601年	笹生源右エ門が初代代官となる。
1865年	増岡堀を作り直し、下林地区の水田を広げる。
1918年	小関熊之助が先頭に立ち、新しい堰を開く。
1962年	コンクリートで新しい堰を開く。
1967年	羽越水害により、堰の一部がこわれる。
1976年	県が現在の堰を作り始める。
1979年	現在の井の下堰が完成する。

その後六十数年にわたり、笹生源右エ門、久兵衛親子は、増岡堀をはじめ、多くの堰や堀を作り、水田を広げていく。

3　じまんできる先人をさがそう

井の下堰は，久兵衛や熊之助といった人たちが，村人の生活をよりよくするために努力したことによりできたことがわかりました。そこで，わたしたちのまわりに，同じようにかつやくした人がもっといないか，調べてみることにしました。

(1)上杉鷹山……きょう土をすくった米沢藩主

上杉鷹山は，上杉家十代の藩主です。貧しかった米沢藩を，見事に建て直したことで，知られています。

また，興譲館という学校を開いたり，鯉，蚕，うるしなど特産物をつくったり，水田を開発することに努力しました。

小国町にも，鷹山に関係するものがいくつか残されていることがわかりました。小国町に関係のある上杉鷹山について，もっとくわしく調べてみましょう。

（小国高等学校　所蔵）

(2)金　儀右衛門……小国町のきょう土研究者

１９２４年，小国町の小渡に生まれた儀右衛門は，工業高校を卒業後，さらに勉強したいと思い，東京で働きながら大学に通いました。しかし，あとで病気になり小国に帰ってきますが，病気とたたかいながら，「小国歴史伝説集」という本を完成させました。これは，小国町の大昔から，現在までの歴史と伝説をまとめた本で，５０年以上たった今でも，専門家から教科書のように大切にされています。

また，「小国方言集」「年中行事読本」といった本も，不自由になった体で調査を続け，青年会の人に協力してもらいながら完成させました。これも，「民俗学」という学問からするととても大切な研究であったのです。

この他，「小国町史」の編集委員として活やくし，小国町の遺せきを調査するなど，すばらしい研究をたくさんしました。

儀右衛門が出した本

（本間とみ『風花の人』より）

はてな？
忠徳はどのようにしてつつが虫病から人々の命をすくったのだろうか。

毛だに明神

(3)芳賀忠徳……つつが虫病から命を救う

芳賀忠徳親子
（『学習まんが山形人物館』より）

つつが虫
（『学習まんが山形人物館』より）

最上川の河原

白鷹町荒砥の住宅地のかたすみに，小さなほこらが建っています。地域の人たちは，この神社を「毛だに明神」と呼んでいます。今から１４０年くらい前に建てられました。毛だにというのはつつが虫のことで，この虫にさされると４０度ほども熱を出し，苦しみもがいて死ぬ人が多かったと言います。近くの最上川の河原は病河原と呼ばれ，この毛だにがたくさん住んでいました。その頃はまだ，病気の原因や治療法もよくわからず，村の人々はどうすることもできず明神様をまつったのです。

芳賀忠徳の記念碑

村に医術を心えた芳賀忠徳という百しょうがいました。役所に何度も願いにいきましたが，百しょうのために治療にあたることを許されませんでした。それでも忠徳はあきらめませんでした。

忠徳には医学をこころざし，米沢の医学校で修行を積んでいる忠庵という子どもがいました。忠庵が修行を終えて村に帰ってくると，親子で治療に当たりました。広野村の藩の医者新野広隆などとともに治りょう法を研究しました。

そして，この病気の原因が，目に見えないほどの小さなつつが虫であることを知りました。自分の足にわざとこの虫をくいつかせたりしながら，とうとう治療法を見つけ出しました。忠徳たちの努力により，１４００人もの命が救われたと言います。人々は忠徳のこのような行動に感謝し，東田尻に記念ひを建設しました。

8 自然災害からくらしを守る

1 「羽越水害」を知っていますか？

はてな？
羽越水害とはどのような災害だったのでしょうか。

昭和４２年８月２８日から２９日にかけて，小国町にはたくさんの雨がふりました。２日間だけで，いつも８月にふる雨の３倍に近い量の大雨になりました。

そのため，あちこちの山がくずれて，土石流がおきました。

土石流とは，山からくずれた土や石が大雨とまじりあって，ものすごいいきおいで川を流れくだることをいいます。流れの先頭には大きな石がたくさん集まり，自動車と同じくらいのスピードで町をおそったのです。

さらに，横川や荒川の堤防が切れて，だく流がおそってきました。土石流や川のはんらんによって，死者やけが人がでたり，あちこちで家や橋や道路がこわされたりするなど，小国町や下流の市町村に大きな被害をあたえました。

家も橋も道路も，たくさんこわれてしまったんだね。

みんな，どうやってにげたのかな。

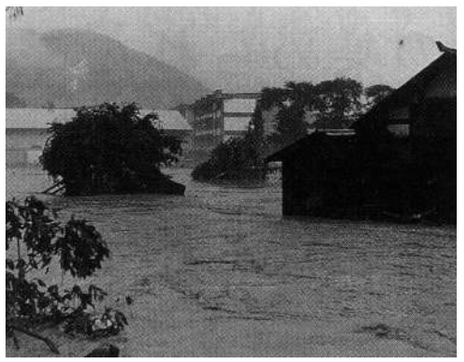
羽越水害による被害（小国町）

死者	2人
けがをした人	20人
こわれた建物	約530むね
こわれた道路	約520かしょ
こわれた橋	約100かしょ
被害金がく	約77億円

2 被害の様子

玉川にかかっていた鉄橋は，だく流と流木のためにこわされてしまいました。

小国橋にはたくさんの流木が山のように積みあがってしまいました。


小国小学校はどろ水につかってしまいました。

調べよう
災害を体験した方に，お話を聞いてみましょう。

土石流がおそった県道は，通れなくなりました。

みんなとてもこわい思いをしたんだね。

3　「羽越水害」を調べてみよう

いま、おなじような災害がおきたら，どうしたらいいの。

調べよう

小国町のどこでどんな被害があったのでしょう。

この地図は羽越水害のときに、みんなの住む地域でおきた、川のはんらんや土石流の場所をあらわしたものです。

●土砂くずれ※

大雨がふったとき，たくさんの雨が地面にしみこむと，山のしゃ面などがとつぜんくずれることがあります。とても速いスピードで，岩や土砂が落ちてきます。

山のいたる所で発生する土砂くずれ

●土石流

山からくずれおちた土や砂，大きな岩などが，大雨の水といっしょになっておし流されると土石流になります。車と同じくらいのスピードになり，家などをいっしゅんではかいします。

参考動画「羽越水害アーカイブ」
（東北地方整備局山形河川国道事務所ホームページ）
https://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/river/uetsu50/

※ここでは、山地の上の方で発生した“山くずれ”や“がけくずれ”のことを“土砂くずれ”としています。

●川のはんらん

土石流などで運ばれた土砂が川にたまると，川の底があさくなって，川があふれることがあります。これをはんらんといいます。

川のはんらんによって道路や畑も水びたしになりました。

4　災害からくらしを守るために

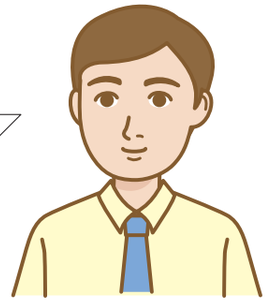
調べよう
　写真に写っている大きな石ひには，どのような思いがこめられているのでしょう。

　町中に大きなひ害をもたらした羽越水害でしたが，小国町民みなさんの努力と全国からのたくさんの手助けにより，町はふっこうをとげることができました。

おぐに開発総合センター前の石ひ

　おぐに開発総合センターの前には，羽越水害からのふっこうを記ねんしてつくられた大きな石ひがあります。また，町の図書室には，災害からたちあがり今の小国町をつくりあげた町民みなさんのすがたを記した資料があります。

　昭和４５年に発行された「おおみず　羽越水害の記録」には，記録写真や体験者の手記などがまとめられています。
　「おおみず」をもとに，ひ災からふっこうまでのようすを，年表に整理してみよう。



　役場のすぐ近くには，飯豊山系砂防事務所があります。どのような仕事をしているのか，所長さんに聞いてみましょう。

調べよう
　災害を防ぐために，国や町役場では，どのような取り組みをしているでしょうか。

所長さんの話

　この事務所では，土石流をふせぐための砂防えん堤や，流路工（けい流保全工）などをつくっています。しかし小国町には，土石流が起きそうな場所が148ヶ所もあって，全部の場所に，砂防しせつをつくることはできません。ですからみなさんも，ふだんから大雨やあぶない場所に気をつけるよう心がけましょう。

玉川スーパー暗渠砂防えん堤

横川ダム

　また，役場に行って，町では災害にそなえてどのような取り組みをしているか，話を聞きました。

町役場　総務課の方の話

　町では，災害を防ぎ，ひ害を最小限にくいとめるため「防災計画」をつくっています。防災計画には，住民のみなさんにいち早くじょうほうをとどける方法や，ひなん所運営，消防やけいさつとの協力，日ごろからの訓練やびちくについてなど，さまざまな対さくを定めています。
　きん急時には，町や県，国が協力して対応することになっています。

調べよう

災害を防ぐために，住民はどのような取り組みをしているでしょうか。

小国町総合防災訓練のようす

地区や各家庭では，どのような取り組みをしているでしょう。

「町の防災ラジオがなったらしっかり聞くようにしているよ。」

「『ハザードマップ』をさんこうにして，大雨がふったらどこにひなんするかを家族でたしかめたよ。」

「ひなん所には，災害にそなえたびちくもあるそうだね。」

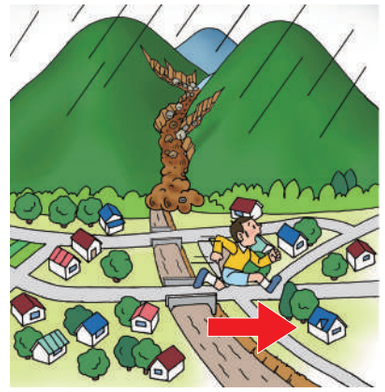
「ぼくは，地区のみなさんといっしょに小国町総合防災訓練にさんかしたことがあるよ。」

「地区の自主的な取り組みも大切なんだね。」

「自分の身は自分で守りながら，地区にはお年よりの方や小さい子もいるから，近所どうしで助け合いたいな。」

地区の自主防災組織や家庭でのそなえについてかくにんしよう。
また，これまで学習したことを，「自助」「共助」「公助」「互助」の４つに整理して，自分にできることを考えよう。

《土砂災害から、身を守ろう。》



- 大雨がふったら、川に近よらないようにしましょう。
- 土石流におそわれたら、流れてくる方向の、横の方向へにげましょう。
- 家の人とはぐれたとき、あつまる場所をきめておきましょう。
- 家の人のれんらく先を、かくにんしておきましょう。
- 近くにきけんな場所があるか、あらかじめ調べておきましょう。
- いざというときのひなん場所を、あらかじめたしかめておきましょう。
- ひなんするようにいわれたら、すみやかに安全な場所に移動しましょう。
- そのほかにも、災害のときにこまらないように、準備できることをみんなで話しあいましょう。

9 特色ある地域と人々のくらし

はてな？
山形県にはどのような特色をもった地域があるのでしょうか。

1 県内の人々のくらし

まなみさんたちは，これまで行ったことのある山形県各地の写真を持ちよって，地域の特色や人々のくらしについて話し合いました。

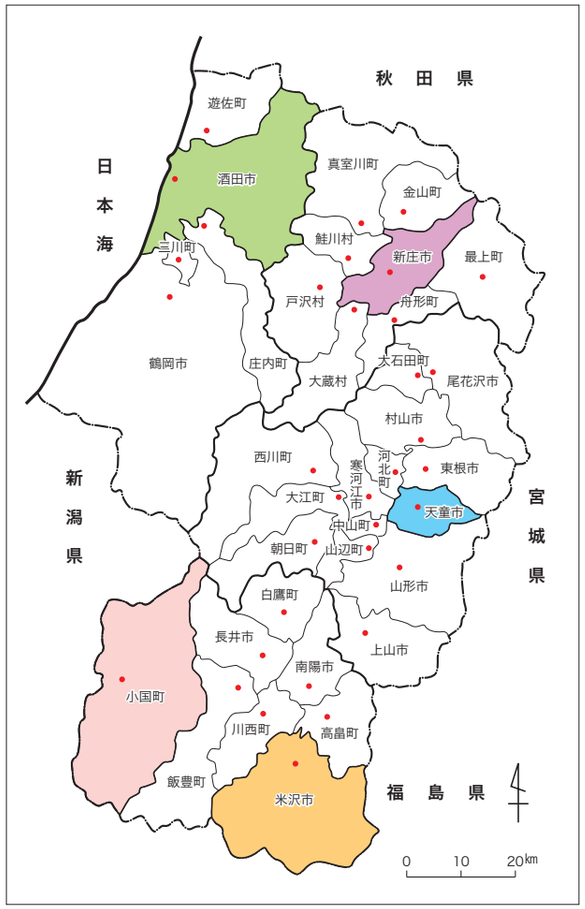
「夏休みに家族と米沢市の小野川にホタルを見に行ってきたよ。」
「新庄市では，昔から新庄まつりが開かれているわ。」
「酒田市では国際交流に力を入れていると聞いているよ。」
「天童市では，町のあちこちに将棋の駒があるよ。」

米沢市小野川のようす

新庄まつりのようす

酒田市の国際交流のようす

天童市のようす



まなみさんたちは，同じ山形県内でも，地域によって特色がちがうことに気づきました。

そこで，山形県の人々が，それぞれの地域の特色を生かしてどのようなくらしをしているか調べることにしました。

2　ホタルを保護（ほご）するまち・米沢市小野川

調べよう

米沢市小野川の人々は，ホタルをふやすために，どんなことをしているのでしょうか。

水田のまわりで
飛んでいるホタル

ゆうやさんは，野生のホタルをふやす取り組みをしている米沢市小野川について調べてみたくなりました。

そこで，写真などを見ながら，ホタルと町の人々のつながりについて調べました。

「ホタルは，田や小川，用水路のまわりに出てきます。民家のそばにも出てくるよ。」

「ホタルはきれいな水があるところに住んでいるので，農家では農薬をへらして米を育てているそうです。」

「水田のまわりもきれいに整備（せいび）されているね。」

米沢ホタル愛護会　蔦（つた）さんのお話

米沢市小野川は，1200年前に発見されたといわれる温泉のまちです。少なくなったホタルを守るため，40年前からかんきょうを整え始め，今ではたくさんのホタルが見られるようになりました。でも，ホタルが住めるかんきょうを整えるのはかんたんではありません。ホタルがふえてきたのは，地域の人たちが協力し，たくさんのお客さんにいってみたいと思ってもらえるまちづくりをしてきたからです。美しいホタルは，わたしたちのまちの宝です。

小野川温泉ほたるまつりのようす

調べよう

小野川の人々は，ホタルなどの地域の宝をどのように生かしているのでしょうか。

おみやげ屋で売られる
ホタルを生かした特産物

小野川温泉のかまくら

温泉もやし

小野川では，多くの人にホタルを知ってもらうために，ホタルの名前をつけたおみやげをたくさん売り出しています。また，７月に行われる「ほたるまつり」は，地元の人だけでなく，たくさんの観光客など，大ぜいの人でにぎわいます。

ゆうやさんたちは，ほかにもまちのじまんがないか調べてみました。

「きれいな水を生かした，安全で安心な米が人気なんだって。」

「整った田がとてもきれいだよ。」

「温泉を生かした温泉もやしや，雪を生かしたかまくらラーメンなども有名だね。」

新庄まつりのようす

調べよう
まつりは，どのようにして長く受けつがれているのでしょうか。

新庄まつりのはじまり

江戸時代の1756年，人々を元気づけ，豊作をいのるためにとの様が，お城の神社のみこしを出して町中をねり歩かせました。また，人々によびかけてかざり物などを出させ，にぎわいをもたせたのが始まりです。

まい年8月24日から3日間，歌舞伎や物語の場面を表現した山車（やたい）と神社のみこしを中心としたまつりとして受けつがれ，国の重要無形民俗文化財やユネスコの無形文化遺産になりました。

3　まつりを受けつぐまち・新庄市

あきらさんは，新庄まつりについてインターネットで調べてみました。

「にぎやかでごうかなやたいがたくさん出るんだね。」

「２６０年以上もどのようにして続けているのだろう。」

大正町若連代表の方の話

町内には，やたいを作る「若連」という会があります。子どものころからやたいを引っぱっていたので，自然と若連に入りやたい作りに参加するようになりました。先ぱいに話を聞きながら，すばらしいやたいを作りたいとがんばっています。

まつりが終わるとすぐに，先ぱいから引きついだしりょうや歌舞伎のことを調べたりして，来年のやたいについて考えます。2月にはやたいの題目が決まり，7月になると仕事が終わってから毎ばん集まり，若連みんなで力を合わせてやたいを作ります。

やたいができるまで

①下絵をかく

②やたいのほね組み

③動物や大道具をつくる

④組み上げる

⑤色をぬる

⑥かんせい

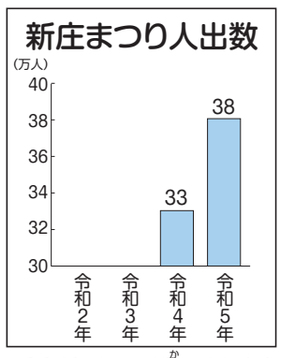
新庄市役所商工観光課の方の話

市内の中心部にやたい若連があり，農村部にはお囃子の若連があります。大人はやたいを作り，幼稚園児や小学生はやたい引き，中高生は電線上げや舵取り、お母さんたちはまつり料理を作ったり小さい子と一緒にやたいを引いたりします。お囃子は夏になるとまいばん練習しますが，楽譜がないので先輩から教えてもらいます。子供から大人まで，いろんな地いきのたくさんの人がまつりにかかわり，まつりを守っています。

見物客でにぎわう町

新庄まつりの３日間は，新庄市の学校や会社は休みになり，市民みんなでまつりを楽しみます。通りには，出店がならびます。１９台のやたい行列のほかに，みこし行列，鹿子踊，お囃子のえんそう会などもあり，大ぜいの見物客でにぎわい，新庄の町全体が活気にあふれる日です。

大正町若連のやたい



※令和2年はコロナ禍により中止
令和3年は縮小開催で集計なし

4　国際交流にとりくむまち・酒田市

外国の方を乗せた客船をおむかえする人々

酒田市は，港町として知られています。ふみやさんは，おうちの人と酒田港に行きました。港には，外国の方を多く乗せた船がとまっていました。

「どこの国からきた人たちだろう。」

「最近，まちのいろんなところで外国の人をよく見かけるね。」

「酒田市の国際交流まつりに行ったら，いろんな国の人がいたよ。」

そこで，ふみやさんは酒田市の国際交流について，話を聞きました。

調べよう

酒田市は,外国とどのように交流しているのだろう。

外国の人と酒田市の人は,どのような交流をしているのだろう。

国際交流

国境をこえておたがいに行き来することを「国際交流」といいます。人やものだけでなく,スポーツや文化の交流など,様々な国際交流が行われています。

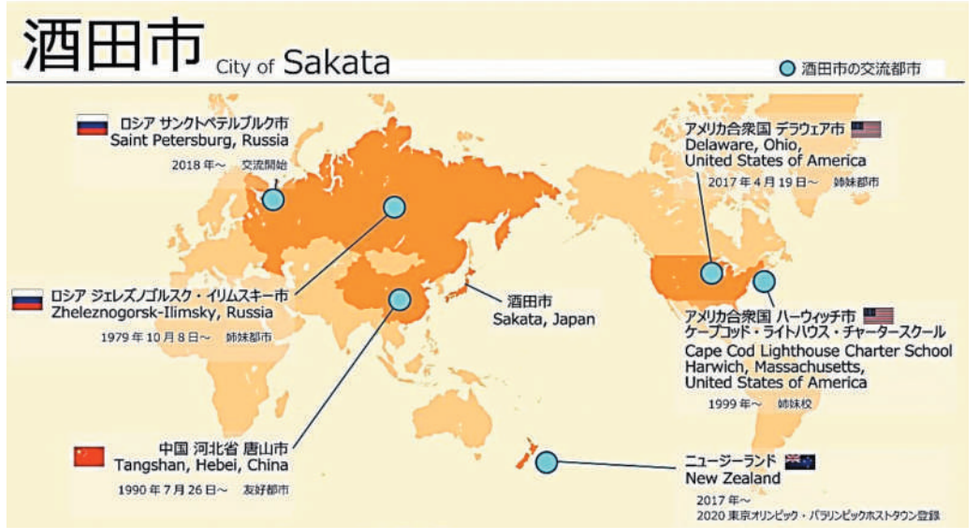
国際交流をすることで,おたがいのちがいを知り,自分たちのことを見つめることが大切です。

国際交流協会の方の話

酒田市には姉妹都市や友好都市があり、外国の都市と交流しています。姉妹都市と酒田市の生徒同士で絵の交換や展示会を行ったり、姉妹都市やホストタウンの代表選手団に応えんメッセージを送ったりしています。また、観光PR動画コンテストの賞を選んでもらうなど交流を続けてきました。

令和5年度からはクルーズ船の寄港が再開し、観光でおとずれた多くの外国のお客様をおもてなしする活動をするなど、市民同士の交流を活発に行っています。

姉妹都市デラウェア市
(アメリカ:オハイオ州)
へ贈るクリスマスカード作り



酒田市に住む外国の人も増えてきました。そこで，「国際交流サロン」をせっちして，市民のさまざまな国際交流活動や，外国人住民がくらしやすくなるような取り組みをしています。

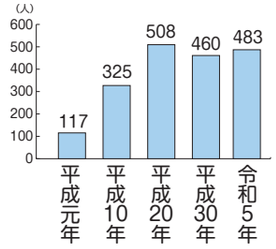
国旗

国旗はその国を表す印として使われる旗です。世界のどの国にも国旗があり,人々は自分の国の国旗をほこりにしているので,おたがいに大切にしています。

国際交流サロンの方の話

わたしたちは，日本語教室を開いたり，生活じょうほうをていきょうしたりするなどの活動を通して，外国出身の方が酒田市でくらしやすくなるようなかんきょうづくりを進めています。また，異文化交流として，多くの方に国際交流をしてもらえるよう，さまざまなイベントも行っています。

酒田市の外国人登録者数



国際交流まつり

酒田市だけでなく，いろんな市町村でも国際交流がさかんに行われています。

5　将棋の駒のまち・天童市

町中で見つけた将棋

ゆうたさんは，天童市に行った時に見つけたものを発表しました。

「将棋のかざりをのせたポストや橋があったよ。」

「天童市は，将棋の駒が有名なのかな。」

先生は，天童市は，将棋の駒の生産量が日本一であることを教えてくださいました。

そこで，天童市の将棋の駒づくりについて，「天童市将棋資料館」に行って調べてみることにしました。

調べよう

天童市では，なぜ将棋の駒づくりがさかんなのでしょうか。

将棋駒のしゅるい

木から駒をとる

字をほる「彫駒」

字を書く「書駒」

字をもり上げる「盛上駒」

駒づくりのれきし

今から190年ほど前の江戸時代の終わりに，生活が苦しいさむらいの仕事として始まりました。

文字のほりかたや，文字の形などを工夫し，生産額日本一になりました。

平成８年に，国から「伝統的工芸品」の指定を受けました。

彫師の冨沢さんの話

私は，将棋をさすのが好きで，彫師になりました。

このごろは，「かざり駒」といって，子どもの名前などをほった駒の注文があります。字の形を調べ，よい形の字をほるようにがんばっています。

天童には，30人ほどのしょく人さんがいます。このぎじゅつを若い人にも受けついでほしいです。

「将棋をさかんにするために，どんなことをしているのかな。」

天童市では，将棋にかかわるイベントをたくさんもよおしています。春の「人間将棋」には，たくさんの観光客がやってきます。また，市民将棋大会や子ども将棋教室を行っています。さらに，プロの棋士のタイトル戦が行われます。

駒づくりの技を引きつぐために，将来駒づくりのしょく人になりたい人に対して勉強会を開いています。

「むかしからの駒づくりの技をしっかりとひきついでいるんだね。」

「将棋をさかんにしながら，生き生きした町をつくっているんだね。」

調べよう

天童市では，将棋をさかんにするためにどんなことをしているのでしょうか。

人間将棋

タイトル戦

駒づくりの勉強会

学習のまとめ

表に書いてまとめよう

まなみさんたちは，県内の特色ある地域について調べたことをもとに，表にまとめてくらべてみることにしました。

まとめの例

	宝　　物	地域の特色	守るための活動 （人々の願い）
米沢市小野川			
新庄市			
酒田市			
天童市			

世界とつながる山形県

調べよう
山形県と日本の各地や外国とのつながりは，どのようになっているのでしょうか。

山形県内の市や町は，たくさんの道路や鉄道でつながっています。道路や鉄道は，わたしたちのふだんの生活だけでなく，県内の農業や工業をはじめとするあらゆる産業にとっても大事な役わりをはたしています。

県内でとれたりんごやさくらんぼは，東京や大阪などの日本各地にトラックで運ばれていきます。交通の便がよくなり，新せんなうちにとどけることができるようになりました。

そこで，山形県とつながりがある国内のほかの地域や外国について，空港や港で働く人たちに手紙でたずねることにしました。

1ぱん　～山形空港について～

① 県内でつくられたさくらんぼを早く運ぶため，ひこうきで東京や大阪に運ばれていく。

② 台湾などの外国の都市からもときどきひこうきが来ている。

2はん ～酒田港について～

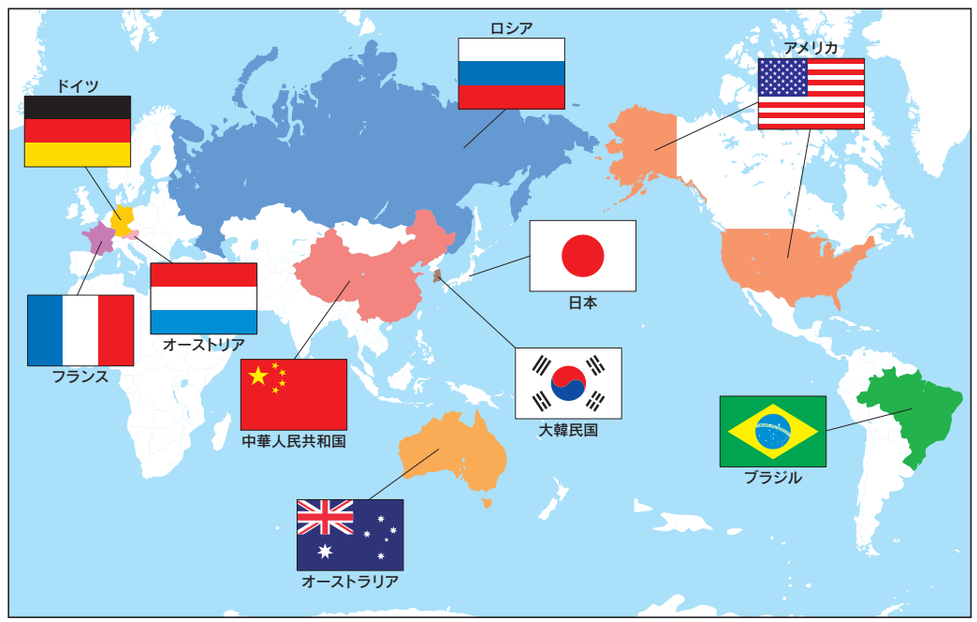
① 北海道からは石油製品，となりの新潟県からはセメントなどを運んでくる船があることがわかった。

② オーストラリアやロシアから石炭を積んでくる船や大韓民国に鉄くずを運んでいく船もある。

このほかにも，山形県の人びとは，芸術，教育，文化，スポーツなどで外国とつながっています。

小国高校とアメリカの高校の交流

外国とつながる航路



山形県および県内各市町村と姉妹・友好ていけい先のある主な国とその国旗

学習のまとめ

「旅マップ」をつくろう！

旅マップのつくり方

1　調べるはんいを決める

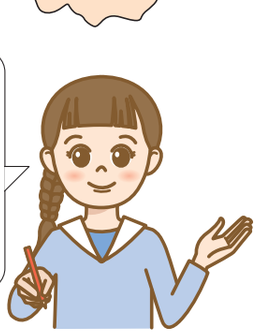
〈どの地域を調べるのか〉

- ◆ 庄内地域
- ◆ 最上地域
- ◆ 村山地域
- ◆ 置賜地域

2　中心になる交通路を決める

- ● 利用するのは自動車？列車？それとも船？
- ● どの道路や鉄道を通るのか？

3　調べる方法を決める



4　マップを書く

① 中心になる交通路（道路名，鉄道名）を決めて書く。
② 主な市町村や山の名前などを書く。
③ 説明することを書く。
- ● 文章や絵などで
- ● パンフレットや絵はがきをはる

④ わかったこと，おどろいたこと，ふしぎに思ったことなど，自分の考えで書く。
⑤色をそめて，きれいに仕上げる。

年号	明治	大正	昭和	平成	令和

今から何年前

町のできごと

4年　豪雨に見まわれた（8月）
29年　防災行政無線ができた。
27年　ミライノ国際博覧会参加。
25年　屋内運動場「あいべ」オープン。
23年　東日本大震災起きる。
22年　新小国町誕生50周年記念。
20年　横川ダムが竣工した。
19年　森林セラピー基地ブナの森「温身平」グランドオープン。
18年　豪雪に見まわれた。
16年　豪雨に見まわれた。（7月）
15年　国民文化祭やまがた2003が開催された。
11年　大滝・叶水線が通れるようになった。
11年　健康管理センター・町立小国病院が完成オープンした。
9年　白い森ショッピングセンター「アスモ」がオープンした。
6年　町のいろいろな施設が完成した。
5年　新宇津トンネルができた。
4年　べにばな国体が開催された。
4年　町政50周年・町民憲章制定。
3年　町営バスが運行された。
2年　「白い森構想」が策定された。
元年　スポーツ公園に野球場ができた。
63年　町のスキー場ができた。
61年　町役場が新しくなった。
54年　小国町民総合体育館ができた。
50年　中央地区の上水道ができた。
50年　国道一一三号をよくする工事が終わった。
43年　おぐに開発総合センターができた。
42年　羽越水害にあった。
38年　NHKテレビを見ることができるようになった。
38年　大雪になった。
35年　津川村が小国町といっしょになった。
29年　小国本村、南小国村と北小国村といっしょになり、小国町となった。
25年　国鉄バスが通るようになった。
20年　太平洋せんそうが終わった。
17年　小国本村が小国町になった。
16年　太平洋せんそうがはじまった。
13年　日本電興小国製造所ができた。
11年　電話や鉄道が開通した。
9年　大きょう作（作物が少ししかみのらない）。
15年　足野水に発電所ができ、はじめて電灯がついた。
22年　小国郷は、四つの村（小国本村、北小国村、南小国村、津川村）にまとまった。
18年　県道山形―新潟線―、小国まで開通した。

学校のできごと

3年　一人一台端末が整備された。
元年　各学校にエアコンが設置された。
26年　小国小学校新校舎が完成し移転した。
26年　沖庭小学校が小国小学校に統合した。
25年　北部中学校が小国中学校に統合した。
25年　北部小学校が小国小学校に統合した。
24年　白沼中学校が小国中学校に統合した。
24年　白沼小学校が小国小学校に統合した。
23年　文部科学省より、教育課程特例校の指定を受ける。
23年　伊佐領小学校が小国小学校に統合した。
22年　玉川小学校が小国小学校に統合した。
20年　小玉川小学校が小国小学校に統合した。
18年　小玉川中学校、玉川中学校が小国中学校と統合した。
18年　小中高一貫教育公開研究発表会が行われた。（6年目）
15年　北部小・中学校体育館が完成した。
15年　小中高一貫教育公開研究発表会が行われた。（3年目）
14年　学校完全週休五日制が実施された。
13年　文部科学省より小中高一貫教育研究の指定を受ける。
7年　沖庭小学校特別室が新しくできた。
4年　北部小学校校舎が新しくなおされた。
3年　伊佐領小学校校舎が新しくなった。
元年　沖庭小学校校舎が新しくなおされた。
元年　玉川小学校校舎が新しくなった。
60年　小玉川小学校校舎が新しくなった。
58年　足中小学校が玉川の分校となった。
55年　白沼小学校校舎が新しくなった。
54年　叶水小学校校舎が新しくなった。
48年　北部小学校校舎が新しくできた。
41年　小国小学校校舎が新しくなった。
35年　沖庭小学校校舎が新しくなった。
24年　小学校とよばれるようになった。
16年　国民学校とよばれるようになった。
25年　じんじょう小学校とよばれるようになった。
4年　小国郷学校がひらかれた。

▲小国郷学校

▲むかしの五味沢小学校

▲むかしの玉川小学校

▲むかしの舟渡小学校

▲むかしの小玉川小学校

▲むかしの伊佐領小学校

▲むかしの叶水小学校

▲むかしの白沼小学校

この本を作ることにたずさわった方々

題　字　「わたしたちの小国町」　小国町長　仁科洋一

表　紙　「朝霧と赤芝峡」　鈴木　亮氏

令和2年度「白い森の国ふるさとおぐにフォトコンテスト」受賞作品より

裏表紙　小国町では，町の特産品や観光地を「白い森ブランド」として全国にＰＲしていけるように，このデザインの「白い森」という言葉を，特許庁という国の機関に「商標」として登録しました。

編　集　委　員

編集部長	小国町立小国小学校	校長	**浅井　和**
編集委員長	小国町社会教育委員	委嘱	**渡部眞治**
編集委員	小国町立小国小学校	教頭	**加藤郁子**
〃	小国町立叶水小学校	教諭	**佐藤裕介**
〃	小国町立小国小学校	教諭	**曽根原隼**
〃	小国町立小国中学校	教諭	**戸村誠**
事務局	小国町教育委員会		**髙野佳樹**

資料提供

山形県庁・山形県教育委員会・山形県観光物産協会・遊佐町教育委員会
長井市教育委員会・新庄市商工観光課・新庄市大正町若連・天童市将棋資料館
酒田市地域創生部・米沢ホタル愛護会・千代田クリーンセンター・小国町役場
小国警察署・西置賜行政組合消防本部小国分署・置賜森林管理署・横川ダム管理事務所
共同作業所まんまる・古田歌舞伎保存会・クアーズテック㈱・アスモ・大谷農園・栄町市場
㈱コメリ・セブンイレブン・丸清・東北自然エネルギー㈱小国水力建設所・㈲中央清掃
日本重化学工業株式会社・東北地方整備局山形河川国道事務所・飯豊山系砂防事務所
（順不同・敬称略）

小学校第３・４学年社会科副読本

わたしたちの小国町

著作者　小学校3・4年社会科副読本編集委員会
発行者　山形県西置賜郡小国町教育委員会
印刷所　㈲　加　藤　印　刷

昭和55年３月31日　初版　発行
昭和59年３月31日　改訂版発行
平成２年３月31日　改訂版発行
平成８年３月31日　改訂版発行
平成14年３月31日　改訂版発行
平成19年３月31日　改訂版発行
平成24年３月31日　改訂版発行
平成29年３月31日　改訂版発行
令和２年３月31日　改訂版発行
令和６年３月31日　改訂版発行